



平成25年度  
事業報告書



社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団

## 経営の理念

利用者の意思及び人格を尊重し、その尊厳を守るとともに、自立に向けた質の高いサービスの提供を通じて、活力のある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与することを経営の理念とします。

## 実践的理念

### 「よりそう想い つながる心」

私たちは、ご利用者への支援を第一に、「よりそう想い つながる心」の精神のもとで、ご家族、地域社会とのつながりを大切に、活力のある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与するため、次のことを実践いたします。

私たちは、ご利用者が自ら望む暮らしを実現し、安心・安全な生活を送れるよう、以下のことに取り組みます。

- ご利用者の個別性を大切にし、必要とされるサービスを必要な時に提供します。
- 優しく、誠実で、丁寧な対応に努め、心を込めて「喜ばれる」サービスを提供します。
- ご利用者一人ひとりの思いに心を寄せ、持てる力を十分に発揮できるよう支援します。
- ご利用者の生活の継続性に着目し、快適な居場所づくりに努めます。

私たちは、自らの能力を十分に発揮し、いきいきと働ける職場を作るため、以下のことに取り組みます。

- チームワークを育みながら自己研鑽に努め、絶えず業務推進・改善を試みます。
- 夢と志を持って、新たな活動に果敢にチャレンジしていきます。
- 私生活と仕事のバランスを保ち、健康で笑顔いっぱいの職場を作ります。
- 誰もが安心して働くことができる安全で清潔な職場環境を作ります。

私たちは、地域社会を構成する一員として、事業団が有する資源を最大限活用し、積極的に地域福祉を推進するため、以下のことに取り組みます。

- 誰からも信頼される透明性の高い施設を目指し、多くの人々が集える環境づくりに努めます。
- セーフティネットの一翼を担い、社会的要援護者を積極的に支援します。
- 経営基盤の安定に努め、豊かな地域社会の構築に貢献します。
- 常に喜びと感動を共有し、将来の福祉・介護を担える人材育成に努めます。

私たちは、これらの実践を通して社会に貢献していきたいと思いをします。



# 平成 25 年度 事業報告書

## 目 次

I 法人概要	3
1. 沿革	4
2. 基本財産	14
3. 役員	15
4. 理事会	15
5. 施設整備委員会	17
6. 事業内容	19
II 平成 25 年度事業執行概要	25
III 中長期経営計画	27
IV 管理	29
1. 建物・設備管理	30
2. 事業管理	32
3. 労務管理及び研修	35
V 各施設事業執行状況	39
特別養護老人ホーム美原荘	40
軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘	
特別養護老人ホーム春日丘荘	45
特別養護老人ホーム四條畷荘	50
特別養護老人ホーム光明荘	53
特別養護老人ホーム高槻荘	56
特別養護老人ホーム白島荘	60
東大阪養護老人ホーム	64
豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか	67
軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘	69
特別養護老人ホーム豊寿荘	
特別養護老人ホーム永寿園とよなか	
軽費老人ホーム万寿荘	72
軽費老人ホーム河南荘	74
事務局	78

VI 資 料	81
1. 入所者・利用者状況	82
(1) 入退所状況	82
(2) 年齢別状況	83
(3) 居住地別状況	84
(4) 日常生活状況	85
(5) 要介護度状況	86
(6) 給食状況	90
(7) 定期健康診断状況	91
(8) 医療ケア実施状況	92
2. 事業実績状況	93
(1) 施設サービス事業	93
(2) 在宅サービス事業	95
(3) 老人福祉センター事業	100
(4) 市町村委託事業	101
(5) 地域貢献活動	102
(6) 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度	103
(7) ボランティア受け入れ状況	104
(8) 実習生受け入れ状況	105
(9) 認知症高齢者数（在宅サービス利用）	106
(10) 認知症サポーター養成講座及びキャラバンメイト数	106
3. 労務管理状況	107
(1) 職員状況	107
(2) 採用状況	108
(3) 離職状況	109
(4) 昇任状況	110
(5) 職員表彰状況	110
(6) 職員研修	111
(7) 職員資格取得状況	116
(8) 職員配置状況	117
4. 各種会議開催状況	122
5. 法人指導監査・実地指導状況	123
6. 第三者評価受審状況	124

# I 法人概要

## 1. 沿革

昭和46年	3月11日	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団設立発起人会開催。 大阪府民生部長畑中豊作氏を設立代表者に互選、設立準備に入る。
昭和46年	3月11日	設立認可申請書を厚生大臣に提出
昭和46年	3月11日	役員定数を理事「9名」監事「2名」とする。
昭和46年	3月25日	厚生省社第204号をもって認可される。
昭和46年	3月30日	設立登記完了
昭和46年	3月30日	第1回理事会開催 初代理事長に大阪府副知事湯川宏氏が就任
昭和46年	4月1日	特別養護老人ホーム泉南特別養護老人ホーム(入所定員100名)、養護老人ホーム東大阪養護老人ホーム(入所定員150名)、軽費老人ホーム和風荘(入所定員70名)、同豊寿荘(入所定員100名)、婦人保護施設たまも寮(入所定員55名)、同あかね寮(入所定員50名)、精神薄弱者授産施設大東園(通所定員50名)の7施設の受託経営
昭和46年	4月1日	軽費老人ホーム使用料収納事務の受託
昭和46年	5月17日	初代理事長湯川宏氏退任
昭和46年	5月18日	二代理事長畑中豊作氏就任
昭和46年	5月20日	軽費老人ホーム万寿荘(入所定員50名)の受託経営
昭和47年	5月26日	第二種社会福祉事業「医療社会福祉事業振興対策資金の貸付事業」の受託運営
昭和48年	4月1日	補助金方式を委託料方式に改める。
昭和48年	4月1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員
昭和48年	8月1日	附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営
昭和49年	7月24日	老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員養成事業」の追加受託
昭和50年	4月1日	軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営
昭和50年	10月1日	泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事業」の実施
昭和51年	3月31日	二代理事長畑中豊作氏退任
昭和51年	4月1日	三代理事長大阪府民生部長榊居孝氏就任
昭和51年	7月31日	三代理事長榊居孝氏退任
昭和51年	8月1日	四代理事長浅海浩氏就任

昭和52年	7月	1日	特別養護老人ホーム美原荘（入所定員120名）の受託経営
昭和53年	8月	1日	特別養護老人ホームにおける「ねたきり老人短期入所事業」の実施
昭和52年	10月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘（入所定員120名）の受託経営
昭和53年	7月	1日	精神薄弱者授産施設白鷺園（通所定員50名）の受託経営
昭和53年	11月	18日	特別養護老人ホーム四条畷荘（入所定員120名）の受託経営
昭和54年	2月	1日	第二種社会福祉事業「老人総合センター」の受託経営
昭和54年	3月	31日	附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」を老人総合センターに移管し廃止
昭和54年	6月	19日	四代理事長浅海浩氏退任
昭和54年	6月	20日	五代理事長板東義雄氏就任
昭和55年	3月	1日	特別養護老人ホーム光明荘（入所定員120名）の受託経営
昭和56年	4月	1日	役員定数、理事「9名」を「11名」とする。
昭和56年	4月	1日	附帯的公益事業「社会福祉会館」の受託経営
昭和56年	4月	1日	精神薄弱者授産施設白鷺園の通所定員「50名」を「60名」に増員
昭和56年	12月	31日	婦人保護施設あかね寮（入所定員50名）の廃止
昭和57年	2月	1日	特別養護老人ホーム高槻荘（入所定員100名）の受託経営
昭和57年	6月	1日	五代理事長板東義雄氏退任
昭和57年	6月	1日	六代理事長福田順一氏就任
昭和60年	4月	1日	特別養護老人ホーム白島荘（入所定員90名）の受託経営
昭和62年	6月	15日	六代理事長福田順一氏退任
昭和62年	6月	16日	七代理事長山中治氏就任
昭和63年	2月	1日	事業の経営を「大阪府の委託を受けて」を「大阪府等の委託を受けて」に定款変更
昭和63年	3月	1日	高槻市から第二種社会福祉事業高槻市老人デイ・サービスセンターの受託経営
平成2年	3月	31日	「老人総合センター」の受託経営廃止
平成2年	10月	1日	特別養護老人ホーム光明荘において「家庭奉仕員派遣事業」の実施
平成3年	5月	24日	七代理事長山中治氏退任
平成3年	5月	25日	八代理事長竹内壮彦氏就任
平成3年	11月	1日	婦人保護施設たまも寮において「婦人保護施設退所者自立支援事業」の実施
平成3年	12月	1日	高槻市老人デイ・サービスセンターにおいて「高槻市ホームヘルプサービス事業」の実施

平成	4年	4月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて「虚弱老人短期入所事業」の実施
平成	4年	6月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「老人入浴サービス事業」の実施
平成	4年	7月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「茨木市ホームヘルプサービス事業」の実施
平成	4年	7月	15日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンターにおいて「在宅サービス供給ステーション事業」及び「在宅介護支援センター運営事業」の実施
平成	5年	4月	15日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンター「B型からA型」に移行に伴う「訪問事業」「配食サービス事業」の実施
平成	6年	1月	1日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンターにおいて「高槻市身体障害者デイサービス事業」の実施
平成	6年	10月	1日	特別養護老人ホーム光明荘において「光明荘老人デイサービスセンター」、「和泉市在宅サービス供給ステーション事業」及び「和泉市在宅介護支援センター事業」の受託経営（身体障害者デイ事業も含む）
平成	7年	10月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「勤労意欲助長事業」の実施
平成	8年	3月	14日	特別養護老人ホーム高槻荘において「高槻市身体障害者短期入所事業」の実施
平成	8年	3月	31日	八代理事長竹内壮彦氏退任
平成	8年	4月	1日	九代理事長永井貞三郎氏就任
平成	8年	5月	27日	役員定数、理事「11名」を「13名」とする。
平成	8年	10月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町ホームヘルプサービス事業」の実施
平成	9年	3月	31日	婦人保護施設たかも寮受託経営廃止
平成	9年	4月	1日	婦人保護施設「女性自立支援センター」（入所定員150名）の受託経営 茨木市より第二種社会福祉事業「茨木市立老人福祉センター沢池荘」「茨木市立沢池老人デイサービスセンター」の受託経営
平成	9年	4月	21日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町在宅介護支援センター事業」の受託経営
平成	9年	7月	1日	泉南市より第二種社会福祉事業「泉南市立老人デイサービスセンター」の受託経営



平成10年	3月31日	九代理事長永井貞三郎氏退任
平成10年	4月1日	十代理事長 家常恵氏就任
平成10年	4月1日	軽費老人ホーム和風荘をケアハウスに建て替えケアハウス和風荘として受託経営
平成10年	4月1日	茨木市立沢池老人デイサービスセンターにおける「ホリデイサービス事業並びに時間延長事業」の実施
平成10年	4月1日	特別養護老人ホーム美原荘・春日丘荘における「24時間対応（巡回型）ホームヘルパー派遣事業」の実施
平成10年	4月1日	特別養護老人ホーム美原荘において「ナイトケア事業及び父子家庭介護人派遣事業」の実施
平成10年	4月1日	特別養護老人ホーム光明荘において「和泉市身体障害者短期入所事業」の実施
平成10年	4月1日	特別養護老人ホーム四条畷荘において「福祉自動車送迎サービス事業」の実施
平成10年	6月15日	高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「訪問看護ステーション事業」の実施
平成10年	10月1日	泉南特別養護老人ホームにおいて「泉南市在宅介護支援センター事業」の実施
平成11年	5月7日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町給食サービス事業」の実施
平成11年	9月1日	泉南特別養護老人ホームにおいて「社会生活適応訓練事業」の実施
平成11年	10月1日	11の居宅介護支援事業所において「要介護訪問調査事業」の実施
平成12年	1月6日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町老人デイサービス事業」の実施
平成12年	3月1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施
平成12年	3月31日	知的障害者授産施設大東園・白鷺園の受託経営廃止
平成12年	3月31日	十代理事長 家常恵氏退任
平成12年	4月1日	介護老人福祉施設、短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、訪問看護事業における32介護保険事業所の指定を受け事業実施
平成12年	4月1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「春日丘荘在宅介護支援センター事業」の実施
平成12年	4月13日	十一代理事長 興津進康氏就任

平成12年	5月	1日	特別養護老人ホーム白島荘において「配食サービス事業」の実施
平成12年	6月	22日	特別養護老人ホーム美原荘において「高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業」の実施
平成13年	3月	15日	特別養護老人ホーム四条畷荘において「配食サービス事業」の実施
平成13年	10月	1日	女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助事業の実施
平成14年	3月	1日	特別養護老人ホーム白島荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
平成14年	3月	29日	事業団出資額 40,000,000 円を加え、基本金を 50,000,000 円とする。
平成14年	3月	31日	大阪府立施設の条例改正により 6 特養、1 軽費の受託経営廃止 泉南特別養護老人ホームの施設廃止、及び、これに伴い、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援（2ヶ所）の事業の廃止 特別養護老人ホーム高槻荘における訪問看護事業の廃止
平成14年	4月	1日	役員定数、理事「13名」を「9名」とする。 特別養護老人ホーム美原荘、特別養護老人ホーム春日丘荘、特別養護老人ホーム四条畷荘、特別養護老人ホーム光明荘、特別養護老人ホーム高槻荘、特別養護老人ホーム白島荘、経費老人ホーム(ケアハウス)和風荘の設置経営の為、土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する。 高槻市立郡家老人デイサービスセンターにおいて「精神障害者居宅介護事業」の実施
平成14年	8月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「精神障害者居宅介護事業」の実施
平成15年	4月	1日	短期入所、居宅介護、デイサービス、地域生活援助における 15 支援費事業所の指定を受け事業実施
平成15年	4月	1日	高槻市立郡家デイサービスセンターの建物を高槻市から無償譲渡を受け、大阪府より同施設の土地を購入
平成15年	4月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
平成15年	7月	1日	特別養護老人ホーム高槻荘において福祉用具貸与事業の指定を受け事業実施
平成16年	2月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて訪問介護事業の指定を受け事

		業実施
平成16年	4月 1日	軽費老人ホーム豊寿荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する。 茨木市立南茨木老人デイサービスセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施 南茨木居宅介護支援事業所において居宅介護支援事業の指定を受け事業実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「知的障害者デイサービス事業」の実施
平成16年	4月 1日	特別養護老人ホーム6施設、養護老人ホーム1施設軽費老人ホーム3施設の計10施設において社会貢献事業実施
平成16年	12月 1日	特別養護老人ホーム高槻荘において訪問介護員養成研修事業の許可を受け事業実施
平成17年	3月31日	女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助事業の廃止 大阪府医療社会福祉事業振興対策資金借入金利子補助事業の廃止 十一代理事長 興津進康氏退任
平成17年	4月 1日	東大阪養護老人ホーム及び軽費老人ホーム万寿荘、軽費老人ホーム河南荘、の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する。 十二代理事長 中村幹雄氏就任
平成17年	5月 1日	四条畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」において「身体障害者」「知的障害者」「障害児」支援費訪問介護事業実施 豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」において「精神障害者居宅介護等事業」の実施
平成17年	7月 1日	軽費老人ホーム豊寿荘をケアハウスに建て替えケアハウス豊寿荘として事業実施
平成17年	10月 1日	軽費老人ホーム（ケアハウス）豊寿荘において特定施設入所者生活介護事業実施
平成18年	3月 1日	軽費老人ホーム（ケアハウス）和風荘において特定施設入所者生活介護事業実施
平成18年	3月31日	大阪府立女性自立支援センター事業運営終了 大阪府社会福祉会館の会館運営終了
平成18年	4月 1日	特別養護老人ホーム「豊寿荘」（入所定員50名）事業実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「短期入所生活介護事業」の実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「通所介護事業」の実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「診療所ゆたか」の開設

特別養護老人ホーム四條畷荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム光明荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム高槻荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施

白島荘グループホーム「華の家」において「短期利用共同生活介護事業」の実施

美原荘訪問介護事業所において「自家用自動車有償運送事業」の実施

四條畷荘訪問介護事業所において「自家用自動車有償運送事業」の実施

光明荘訪問介護事業所において「自家用自動車有償運送事業」の実施

白島荘訪問介護事業所において「自家用自動車有償運送事業」の実施

短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与事業における24介護予防事業所の指定を受け事業実施

平成18年 6月 1日 東大阪養護老人ホーム訪問介護事業所において「自家用自動車有償運送事業」の実施

豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」において「介護予防通所介護事業」の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「介護予防短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施

平成18年 9月30日 光明荘デイサービスセンターにおいて実施していた「介護予防通所介護事業」の廃止

平成18年 9月30日 美原荘、四條畷荘、高槻荘、豊寿荘において実施していた障害福祉サービス事業「外出介護事業」の廃止

平成18年10月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」「外部サービス利用型介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施

		美原荘、春日丘荘、四條畷荘、光明荘、高槻荘、豊寿荘の訪問介護事業所にて障害福祉サービス「重度訪問介護」の指定を受け事業実施
		光明荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
		美原荘訪問介護事業所において「地域生活支援事業移動支援事業」の指定を受け事業実施
平成19年	3月 1日	白島荘グループホーム「華の家」において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
平成19年	3月31日	特別養護老人ホーム美原荘における「訪問入浴事業」の廃止
平成19年	3月31日	美原荘、光明荘、光明の郷ケアセンターにおける「障害者デイサービス事業」の廃止
平成19年	4月 1日	美原荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
平成19年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
平成19年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「地域活動支援センター事業」の実施
平成19年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「入浴サービス事業」の実施
平成19年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「日中一時支援事業」の実施
平成19年	6月 1日	春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「産前・産後ホームヘルパー事業」の実施
平成19年	11月26日	特別養護老人ホーム四條畷荘竣工
平成20年	1月 1日	特別養護老人ホーム四條畷荘において「デイサービス事業・介護予防デイサービス事業」の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム四條畷荘において「老人ホーム四條畷荘診療所」の開設
平成20年	2月 1日	養護老人ホーム四條畷荘（入所定員50名）事業実施 養護老人ホーム四條畷荘において「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
平成20年	3月31日	高槻荘における障害福祉サービス「経過的デイサービス事業」の廃止
平成20年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「白島荘小規模多機

平成20年	8月	1日	能型居宅介護事業所「ひねもす」の指定を受け事業実施
平成20年	8月	1日	軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘において「介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
平成21年	3月	31日	特別養護老人ホーム白島荘における「配食サービス事業」の廃止
平成21年	4月	1日	万寿荘において池田市立敬老会館での老人福祉センター事業の指定管理者指定を受け事業実施。
平成21年	4月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施
平成22年	3月	31日	特別養護老人ホーム美原荘における「配食サービス事業」の廃止
平成22年	3月	31日	十二代理事長 中村幹雄氏退任
平成22年	4月	1日	十三代理事長 高木哲夫氏就任
平成22年	3月	15日	特別養護老人ホーム春日丘荘リニューアルオープン
平成22年	5月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において保険診療の開始
平成22年	5月	1日	高槻荘において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所事業」の指定を受け事業実施
平成22年	6月	1日	春日丘荘グループホームにおいて「介護予防認知症対応型共同生活介護事業」「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
平成22年	6月	1日	春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「茨木市高齢者ごいっしょサービス事業」実施
平成22年	9月	1日	特別養護老人ホーム美原荘、ケアハウス和風荘リニューアルオープン
平成22年	9月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において保険診療の開始
平成23年	3月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「地域密着型介護福祉施設入所者生活介護事業」「小規模多機能型居宅介護事業」「認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
平成23年	4月	30日	高槻荘における「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与事業」の廃止
平成24年	3月	31日	美原荘における「在宅介護支援センター運営事業」の廃止
平成24年	3月	31日	東大阪養護老人ホームにおける「居宅介護支援事業」の廃止
平成24年	4月	2日	東大阪養護老人ホーム移転先土地の購入
平成24年	8月	1日	光明荘デイサービスセンター、在宅サービス棟リニューアルオープン
平成24年	9月	21日	大阪府よりサービス管理責任者等研修事業者の指定を受ける

平成24年10月1日	美原荘において定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の指定を受け事業実施
平成25年1月15日	特別養護老人ホーム永寿園とよなか新築工事の竣工
平成25年3月1日	永寿園とよなかにおいて地域密着型特別養護老人ホーム、通所介護、短期入所生活介護の指定を受け事業実施
平成25年2月8日	特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事着工
平成25年3月27日	基本金の一部10,000,000円を大阪府へ返還し、基本金40,000,000円とする
平成25年3月31日	特別養護老人ホーム光明荘リニューアル工事の竣工
平成25年4月1日	豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか事業の指定管理者の指定を受け事業実施
平成25年4月1日	春日丘荘において茨木市立老人福祉センター南茨木荘、茨木市立老人福祉センター桑田荘での老人福祉センター事業の指定管理者の指定を受け事業実施
	大阪府より介護員養成研修（介護職員初任者研修課程）事業者の指定を受け事業実施
平成25年7月17日	大阪府より相談支援従事者（初任者及び現任者）研修事業者の指定を受け事業実施
平成25年10月31日	東大阪養護老人ホーム建替え工事の竣工
平成25年12月1日	東大阪養護老人ホームにおいて通所介護事業の指定を受け事業実施
平成26年2月1日	東大阪養護老人ホームにおいて居宅介護支援事業の指定を受け事業実施

## 2. 基本財産

現金	40,000,000 円		
土地	美原荘	(8,595.58 平方メートル)	
	春日丘荘	(10,368.95 平方メートル)	
	四條畷荘	(5,569.30 平方メートル)	
	光明荘	(8,507.31 平方メートル)	
	高槻荘	(7,200.82 平方メートル)	
	白島荘	(4,371.25 平方メートル)	
	東大阪養護	旧施設分(11,552.92 平方メートル) 現施設分(3,279.00 平方メートル)	
	和風荘	(4,765.58 平方メートル)	
	豊寿荘	(5,034.78 平方メートル)	
	万寿荘	(3,303.42 平方メートル)	
	河南荘	(6,155.60 平方メートル)	
	建物	美原荘	(5,474.93 平方メートル)
		春日丘荘	(4,446.89 平方メートル)
春日丘荘「彩の家」		(2,455.66 平方メートル)	
四條畷荘		(8,660.22 平方メートル)	
光明荘		(5,300.91 平方メートル)	
高槻荘		(4,420.31 平方メートル)	
白島荘		(3,446.72 平方メートル)	
東大阪養護		旧施設分(3,131.96 平方メートル) 現施設分(6,424.29 平方メートル)	
和風荘		(3,338.85 平方メートル)	
豊寿荘		(8,056.02 平方メートル)	
永寿園とよなか		専有部分(1,194.49 平方メートル) 共有部分(1,131.37 平方メートルのうち 10000 分の 3354)	
万寿荘		(1,639.07 平方メートル)	
河南荘		(3,066.06 平方メートル)	



### 3. 役員

#### (1) 役員（平成26年3月31日現在）

理事長	高木哲夫
理事	山上幸雄
〃	生田正幸
〃	岩田敏郎
〃	藤田綾子
〃	井手之上優
〃	荒田房生
〃	行松英明
監事	武本勝司
〃	葭矢忠

#### (2) 役員退任

役職名	氏名	在任期間
理事	羽原義人	平成21年4月1日～平成25年11月30日

### 4. 理事会

定款第9条による理事会は、平成25年度中に次のとおり開催しました。

回	開催年月日	出席者数	議案項目
1	平成25年4月1日	9名	1、理事長の互選について 2、常務理事の同意について
2	平成25年5月29日	9名	1、平成24年度事業報告について 2、平成24年度収入支出決算について （平成24年度資金運用の状況報告を含む。） 3、堺市における施設整備事業者の公募への応募について 4、定款の一部変更について 5、慶弔見舞金に関する取り扱いの制定について 6、東大阪養護老人ホーム新築工事及び白島荘建替え等工事の進捗状況について 7、社会福祉法人大阪府共同募金会配分金の完了について
3	平成25年8月6日	9名	1、池田市立敬老会館及び池田市立養護老人ホーム白寿荘指定

			<p>管理者公募への応募について</p> <p>2、箕面市立光明の郷ケアセンター指定管理者公募への応募について</p> <p>3、豊中市障がい福祉・地域密着型サービス等事業者公募への応募について</p> <p>4、東大阪養護老人ホーム新築工事及び白島荘建替え等工事の進捗状況について</p>
4	平成 25 年 11 月 27 日	9 名	<p>1、公募への応募にかかる選考結果について</p> <p>2、東大阪養護老人ホーム新築工事及び白島荘建替え等工事の進捗状況について</p> <p>3、東大阪養護老人ホームの跡地事業計画について</p> <p>4、平成 2 5 年度収入支出予算の補正について</p> <p>5、基本財産の増加に伴う定款の一部変更について</p> <p>6、新規事業追加に伴う経理規程の一部改正について</p>
5	平成 26 年 3 月 26 日	8 名	<p>1、平成 2 5 年度収入支出予算の補正について</p> <p>2、平成 2 6 年度事業計画について</p> <p>3、平成 2 6 年度収入支出予算について</p> <p>4、事業団中長期経営計画の見直しについて</p> <p>5、独立行政法人福祉医療機構への融資申請について</p> <p>6、給食委託業者との契約について</p> <p>7、事業団事務局の組織改正について</p> <p>8、処務規則の一部改正について</p> <p>9、職員就業規則の一部改正について</p> <p>10、給与規則の一部改正について</p> <p>11、経理規程の一部改正について</p> <p>12、役員の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>13、評議員の選任について</p> <p>14、常務理事選任の同意について</p> <p>15、事務局長及び施設長の任免について</p> <p>16、各種工事の進捗状況について</p> <p>17、施設整備委員会の開催報告について</p>

## 5. 施設整備委員会

理事会より付託され、平成 25 年度の施設整備のために委員会を次のとおり開催しました。

開催日時	議案内容	
平成 25 年度 第 1 回施設整備委員会 平成 25 年 4 月 17 日(水)	第 1 号議案	東大阪養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム白島荘施設整備に係る介護用ベッド契約候補者選定方法(案)について
	第 2 号議案	介護用ベッド納入等業務契約候補者選定スケジュール (案) について
	第 3 号議案	介護用ベッド納入等業務契約候補者選定にかかる公告 (案) について
	第 4 号議案	公告の方法 (案) について
	第 5 号議案	介護用ベッド納入等業務契約候補者選定にかかる、見積提案参加業者の決定方法 (案) について
	第 6 号議案	介護用ベッド納入等業務概要説明内容 (案) について
	第 7 号議案	介護用ベッド納入等業務契約業者の決定方法 (案) 及び契約内容の決定方法 (案) について
平成 25 年度 第 2 回施設整備委員会 平成 25 年 5 月 28 日(火)	第 1 号議案	特別養護老人ホーム白島荘建て替え等工事に伴う厨房設備機器納入及び設置工事請負契約業者の決定について
	第 2 号議案	特別養護老人ホーム白島荘建て替え等工事に伴う特殊浴槽納入及び設置工事請負契約業者の決定について
平成 25 年度 第 3 回施設整備委員会 平成 25 年 12 月 12 日(木)	第 1 号議案	四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事及び特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事入札スケジュール (案) について
	第 2 号議案	四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札公告 (案) について
	第 3 号議案	特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事入札公告 (案) について
	第 4 号議案	公告の方法について
平成 25 年度 第 4 回施設整備委員会 平成 25 年 12 月 26 日(木)	第 1 号議案	四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札参加業者の決定について
	第 2 号議案	特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事入札参加業者の決定について
	第 3 号議案	四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事概要説明の内容について
	第 4 号議案	特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事概要説明の内容について
	第 5 号議案	予定価格の決定方法について
平成 25 年度 第 5 回施設整備委員会 平成 26 年 1 月 24 日(金)	報告案件	四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札結果について
	第 1 号議案	特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事工事請負契約業者の決定について
	第 2 号議案	特別養護老人ホーム高槻荘職員寮解体等工事工事請負契約内容について
	第 3 号議案	旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修、四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札スケジュール (案) について
	第 4 号議案	旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修、四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札公告 (案) について
	第 5 号議案	公告の方法について

<p>平成 25 年度 第 6 回施設整備委員会 平成 26 年 2 月 6 日 (木)</p>	<p>第 1 号議案 旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修、四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事入札参加業者の決定について</p> <p>第 2 号議案 旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修、四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事概要説明の内容について</p> <p>第 3 号議案 予定価格の決定方法について</p>
<p>平成 25 年度 第 7 回施設整備委員会 平成 26 年 3 月 3 日 (月)</p>	<p>第 1 号議案 旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修及び四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事工事請負業者の決定について</p> <p>第 2 号議案 旧東大阪養護老人ホーム耐震補強・一部改修及び四條畷荘デイサービスセンターほほえみ一部改修工事工事請負契約内容について</p>

## 6. 事業内容

### (1) 入所事業所

種別	施設名	所在地	事業開始	定員	形態
特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	美原荘	堺市美原区平尾 595 番 1 号	昭和 52. 7. 1	120	設置経営
	春日丘荘	茨木市南春日丘 7 丁目 11 番 22 号	昭和 52. 10. 1	120	設置経営
	春日丘荘 「彩の家」	茨木市南春日丘 7 丁目 11 番 48 号	昭和 23. 3. 1	29	設置経営
	四條畷荘	四條畷市北出町 28 番 1 号	昭和 53. 11. 18	120	設置経営
	光明荘	和泉市伏屋町 3 丁目 8 番 1 号	昭和 55. 3. 1	120	設置経営
	高槻荘	高槻市郡家新町 48 番 7 号	昭和 57. 2. 1	100	設置経営
	白島荘	箕面市白島 3 丁目 5 番 50 号	昭和 60. 4. 1	90	設置経営
	豊寿荘	豊中市新千里西町 2 丁目 7 番 2 号	平成 18. 4. 1	50	設置経営
	永寿園 とよなか	豊中市新千里南町 3 丁目 2 番地の 122	平成 25. 3. 1	29	設置経営
	特養計				778
養護老人ホーム (特定含)	四條畷荘	四條畷市北出町 28 番 1 号	昭和 20. 2. 1	50 (特定 20 名)	設置経営
	東大阪養護	東大阪市上六万寺町 13 番 47 号	昭和 46. 4. 1	150 (特定 70 名)	設置経営
	永寿園 とよなか	豊中市新千里南町 3 丁目 2 番地の 122	平成 25. 4. 1	70 (特定 30 名)	設置経営
養護計				270 (特定 120 名)	
軽費老人ホーム (特定含)	和風荘	堺市美原区平尾 2196 番	昭和 38. 3. 1	70 (特定 30 名 介護予防含)	設置経営

	豊 寿 荘	豊中市新千里西町2丁目7番2号	昭和45.7.1	100 (特定50名 介護予防含)	設置経営
	万 寿 荘	池田市井口堂3丁目4番1号	昭和46.5.20	50	設置経営
	河 南 荘	南河内郡河南町白木905番	昭和50.4.1	90	設置経営
	軽費計			290 (特定80名)	
合		計		1,239	

## (2) 在宅福祉サービス

### ① 介護保険事業

事業名		所在地		事業開始
通 所 介 護 事 業	美 原 荘 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	堺市美原区平尾595番1号	平成12.1.6 平成18.4.1
	春 日 丘 荘 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	茨木市南春日丘7丁目11番22号	平成12.3.1 平成18.4.1
	茨木市立沢池老人 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	茨木市南春日丘5丁目1番8号	平成9.4.1 平成18.4.1
	茨木市立南茨木老人 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	茨木市東奈良3丁目16番14号	平成16.4.1 平成18.4.1
	四 條 畷 荘 デイサービスセンターほほえみ	介護事業 予防事業	四條畷市北出町28番1号	平成20.1.1
	光 明 荘 デイサービスセンター	介護事業	和泉市伏屋町3丁目8番1号	平成6.10.1
	高 槻 荘 郡 家 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	高槻市郡家新町48番21号	昭和63.3.1 平成18.4.1
	箕面市立光明の郷 ケアセンター	介護事業 予防事業	箕面市栗生新家三丁目12番5号	平成16.4.1 平成18.4.1
	デイサービスセンター 「ふれあい」	介護事業 予防事業	大阪府東大阪市新上小阪11番2号	平成25.12.1 平成25.12.1
	豊 寿 荘 デイサービスセンター	介護事業 予防事業	豊中市新千里西町2丁目7番2号	平成18.4.1 平成18.6.1
	永 寿 園 と よ な か デイサービスセンター	介護事業 予防事業	豊中市新千里南町3丁目2番地の122	平成25.3.1 平成25.3.1

事業名			所在地	事業開始
訪問介護事業	光明荘ヘルパーステーション	介護事業	特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町3丁目8番1号	平成2.10.1
	郡家・高槻荘ホームヘルパーステーション	介護事業	特別養護老人ホーム高槻荘	平成3.12.1
		予防事業	高槻市郡家新町48番21号	平成18.4.1
	春日丘荘ヘルパーステーション	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成4.7.1
		予防事業	茨木市南春日丘7丁目11番22号	平成18.4.1
	美原荘訪問介護事業所	介護事業	特別養護老人ホーム美原荘	平成8.10.1
		予防事業	堺市美原区平尾595番1号	平成18.4.1
	四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」	介護事業	特別養護老人ホーム四條畷荘	平成12.4.1
		予防事業	四條畷市北出町28番1号	平成18.4.1
	白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成12.4.1
		予防事業	箕面市白島3丁目5番50号	平成18.4.1
	豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」	介護事業	軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘	平成14.4.1
		予防事業	豊中市新千里西町2丁目7番2号	平成18.4.1
	ホームヘルパーステーション「ふれあい」	介護事業	東大阪養護老人ホーム	平成16.2.1
予防事業		東大阪市上六万寺町13番47号	平成18.4.1	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業			堺市定期巡回・随時対応ケアサポートOSJ	平成24.10.1
短期入所生活介護事業	介護事業	特別養護老人ホーム 9施設 ※9施設全てで送迎サービス実施	昭和53.8.1	
	予防事業	特別養護老人ホーム 8施設 (光明荘を除く特養施設にて実施)	平成18.4.1	
訪問入浴事業	介護事業	特別養護老人ホーム高槻荘	平成5.4.1	
	予防事業	高槻市郡家新町48番21号	平成18.4.1	
	介護事業	特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町3丁目8番1号	平成12.4.1	
居宅介護支援事業	特別養護老人ホーム 7ヶ所		平成11.10.1	
	軽費老人ホーム 1ヶ所			
	養護老人ホーム 1ヶ所	南茨木居宅介護支援事業所	平成16.4.1	

認知症対応型 共同生活介護	白島荘グループ ホーム「華の家」 (短期利用含)	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成 14. 3. 1
		予防事業	箕面市白島3丁目5番50号	平成 18. 4. 1
	春日丘荘 グループホーム	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成 15. 4. 1
		予防事業	茨木市南春日丘7丁目11番22号	平成 22. 6. 1
認知症対応型 通所介護	白島荘グループ ホーム「華の家」 デイサービス	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成 19. 3. 1
		予防事業	箕面市白島3丁目5番50号	
	高槻荘「やすらぎ」 デイサービス	介護事業	高槻荘郡家デイサービスセンター	平成 22. 5. 1
		予防事業	高槻市郡家新町48番21号	
	春日丘荘 グループホーム	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成 22. 6. 1
		予防事業	茨木市南春日丘7丁目11番22号	
デイサービスセンター 春日丘荘 「彩の家」	介護事業	茨木市南春日丘7丁目11番48号	平成 23. 3. 1	
予防事業				
小規模多機能 型居宅介護	白島荘小規模多機能型 居宅介護事業所 「ひねもす」	介護事業	箕面市立光明の郷ケアセンター	平成 20. 4. 1
		予防事業	箕面市粟生新家三丁目12番5号	
	小規模多機能センター 春日丘荘 「彩の家」	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘彩の家	平成 23. 3. 1
予防事業	茨木市南春日丘7丁目11番48号			
地 域 包 括 支 援 セ ン タ			美原第1地域包括支援センター	平成 24 年 4. 1
			四條畷第2地域包括支援センター	平成 18. 4. 1
			光明荘地域包括支援センター	平成 18. 4. 1
			郡家地域包括支援センター	平成 18. 4. 1
			茨木市地域包括支援センター春日丘荘	平成 21. 4. 1

② 障がい福祉サービス・地域生活支援事業

事業名	所在地	事業開始
基準該当生活介護事業 (経過的デイサービス含)	光明荘老人デイサービスセンター 和泉市伏屋町3丁目8番1号	平成 6. 10. 1
	美原荘デイサービスセンター 堺市美原区平尾595番1号	平成 12. 10. 1



	箕面市立光明の郷ケアセンター 箕面市栗生新家三丁目 12 番 5 号	平成 16. 4. 1
短期入所事業	特別養護老人ホーム高槻荘 高槻市郡家新町 48 番 7 号	平成 8. 3. 14
	特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町 3 丁目 8 番 1 号	平成 10. 4. 1
	特別養護老人ホーム美原荘 堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 13. 4. 1
居宅介護事業 (重度訪問介護事業含)	郡家高槻荘ホームヘルパーステーション 高槻市郡家新町 48 番 8 号	平成 4. 7. 15
	光明荘ヘルパーステーション 和泉市伏屋町 3 丁目 8 番 2 号	平成 3. 4. 1
	美原荘訪問介護事業所 堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 10. 4. 1
	春日丘荘ヘルパーステーション 茨木市南春日丘 7 丁目 11 番 22 号	平成 10. 7. 13
	四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」 四條畷市北出町 28 番 1 号	平成 17. 5. 1
	豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」 豊中市新千里西町 2 丁目 7 番 2 号	平成 17. 5. 1
移動支援事業	美原荘訪問介護事業所 堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 18. 10. 1
日中一時支援事業		
入浴サービス事業	箕面市立光明の郷ケアセンター 箕面市栗生新家三丁目 12 番 5 号	平成 19. 4. 1
地域活動支援センター事業		



## Ⅱ 平成 25 年度事業執行概要

## 平成25年度事業執行概要

平成25年度は、当法人の中長期経営計画の見直しの年であり、地域包括ケアシステムの構築とオレンジプランの推進を視野に入れ、生活支援や医療系サービス、認知症ケアの充実を目指して計画の修正を行いました。また、障がい者福祉サービスの提供についても新たに計画の内容に加えるとともに、事業の円滑な実施に欠かせない人材確保に関する内容についての見直しも行いました。

東大阪養護老人ホームにおいては平成25年10月に新築工事が無事竣工し、各施設からの協力を得て無事に引っ越しを完了するとともに、旧施設の跡地については、新たな障がい者福祉サービスへの取り組みを検討しその準備を開始しました。また、白島荘建て替え工事については、白島荘入居者に仮住まい先の永寿園に引っ越しして頂き、その後解体工事・新築工事を順調に進めることができました。

経営面においては、平成26年度からの介護報酬の一部改正と、消費税増税が支出に及ぼす影響について検討を行い、新規施設整備にかかる当法人全体の資金計画を含めた収支目標を設定し、平成26年度の当初予算作成に反映させることとしました。また、平成24年度に引き続き法人一括契約を積極的に進め、スケールメリットを生かしたコスト削減を図るとともに、平成27年度当初予算から導入予定の新会計基準にかかる情報収集や研修等を行いました。さらには、各市町村からの介護保険サービスや障がい者福祉サービス等の新規事業についての公募、そして、既に受託している指定管理事業の継続についての公募も含め、当法人が果たすべき使命を踏まえて応募しました。

人材確保の取り組みについては、推薦採用制度やブロック別採用試験の導入、法人が実施する介護職員初任者研修の受講者を採用に結び付けるための制度検討など、働きがいのある職場づくりと職員の安定した確保について特に力を注ぎました。さらには、新たに参画する障がい者福祉事業において、スムーズにサービスが提供できるよう外部登用制度を導入しました。そして、3年目となるOSJぷらざの開催に加え、新たな企画として在宅サービスの職員を中心としたOSJ在宅サービスネットワークを開催し課題を共有するとともに、職員の帰属意識を高める取り組みを進めました。

研修体制の強化については平成26年度の（仮称）OSJ研修・研究センター開設に向けて、その事業内容の検討を進めるとともに、OSJ経営塾やリーダー養成自己啓発研修など、法人の将来を担う人材を育成するためのプログラムの実施、個々の職員がそのスキルに応じた研修を受けられるようにする個別研修プログラムの作成にも着手しました。

また、外部研修として、認知症介護実践者研修や認知症対応型サービス事業管理者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修を堺市から受託するとともに、身体拘束ゼロ推進員養成研修も大阪府から受託し実施しました。さらには、介護職員初任者研修についても法人内4か所で開校し、府内の介護人材の資質向上に資することができました。

# Ⅲ 中長期経営計画

### Ⅲ 中長期経営計画

#### 1. 自己評価結果について

平成25年度取り組んだ実施計画は合計62項目となり、その項目ごとに中長期経営計画推進PTによる自己評価を行いました。その、評価結果については以下のとおりです。

##### (1) 平成25年度進捗状況一覧

	A	B	C	D	合計
介護・生活支援サービスの充実	9	2	1	5	17
経営基盤の安定化に向けた取り組み	6	3	2	0	11
人材育成と環境の整備	13	4	3	3	23
地域社会との連携	8	1	2	0	11
合計	36	10	8	8	62

(A：計画どおり進んでいる B：概ね計画どおり進んでいる C：やや遅れている D：遅れている)

#### 2. 中長期経営計画の見直しについて

計画の見直し案の作成については、中長期経営計画推進PTにおいて、計画策定時以降の介護保険法の改正や法人を取り巻く環境の変化について検討し、現行の計画の軌道修正と新たに実施していく必要がある内容の追加を行いました。計画の見直しについての経過と主な新規追加計画については以下のとおりです。

##### (1) 見直しの経過について

平成25年5月	第1回中長期経営計画推進PT	スケジュールの確認 等
平成25年7月	第2回中長期経営計画推進PT	見直し案作成 等
平成25年9月	第3回中長期経営計画推進PT	見直し案作成 等
平成25年11月	第4回中長期経営計画推進PT	見直し案作成 等
平成26年1月	有識者会議	見直し案検討
平成26年3月	理事会	見直し内容の承認

##### (2) 新規追加計画について

- ・平成27年度の生活困窮者自立支援法の施行をにらみ、市町村の動向の調査を踏まえ生活困窮者支援を目的とした事業の推進。
- ・地域包括ケアシステムにおける、介護・予防・医療・住まい・生活支援についての取り組みの推進。
- ・旧東大阪養護老人ホーム跡地及び豊中市における、障がい者福祉サービスの展開にあたり、障がい者の就労課題解決に向けた事業の推進。
- ・快適な労働環境の整備を行うにあたり、IT環境の見直しによる業務の効率化やワークライフバランスの調査を含めた職員の働きやすい環境面の検討。
- ・高齢者の生きがい、やりがい支援や高齢者の社会参加が急務の課題となっている現状を鑑みて、高齢者の社会参加をサポートし、地域の高齢者が活躍できる場の提供についての検討。

# IV 管 理

1. 建物・設備管理

(1) 敷地及び建物状況一覧

名 称	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	構 造
特別養護老人ホーム 美原荘	8,595.58	5,474.93	R.C 3階建(一部鉄骨)
特別養護老人ホーム 春日丘荘	10,368.95	4,109.77	R.C 2階建(一部平屋建)
春日丘荘グループホーム		337.12	R.C 2階建
特別養護老人ホーム 春日丘荘「彩の家」		2,455.66	R.C 3階建
特別養護老人ホーム 四條畷荘	5,569.30	8,660.22	R.C 4階建
特別養護老人ホーム 光明荘	8,507.31	5,300.91	R.C 平屋建(一部2・3階建)
特別養護老人ホーム 高槻荘	6,420.80	3,937.03	R.C 2階建(一部平屋建)
高槻荘郡家デイサービスセンター	780.02	483.28	R.C 2階建
特別養護老人ホーム 白島荘	4,371.25	3,196.91	R.C 3階建(一部2階建)
白島荘グループホーム「華の家」		249.81	R.C 2階建
東大阪養護老人ホーム	3,279.00	6,424.29	R.C 5階建
旧東大阪養護老人ホーム	11,552.92	3,131.96	R.C 2階建(一部平屋建)
軽費老人ホーム(ケアハウス) 豊寿荘	5,034.78	8,056.02	R.C 4階建(一部鉄骨)
豊中市立養護老人ホーム 永寿園とよなか	2,354.82	5,104.15	R.C 地下1階、地上4階建
特別養護老人ホーム 永寿園とよなか			R.C 地下1階、地上4階建
軽費老人ホーム(ケアハウス) 和風荘	4,765.58	3,338.85	R.C 地下1階、地上4階建
軽費老人ホーム万寿荘	3,303.42	1,639.07	R.C 2階建(一部3階建)
軽費老人ホーム河南荘	6,155.60	3,066.06	R.C 2階建(一部3階建)
茨木市立沢池老人デイサービスセンター	3,193.62	601.93	R.C 2階建の1階部分
茨木市立老人福祉センター沢池荘		1,017.64	R.C 2階建の2階部分
茨木市立南茨木老人デイサービスセンター	2,320.87	755.15	R.C 2階建の1階部分
茨木市立老人福祉センター南茨木荘		987.65	R.C 2階建
茨木市立老人福祉センター桑田荘	2,742	890.22	R.C 1階建
池田市立敬老会館	8,062	1,731	R.C 2階建



箕面市立光明の郷ケアセンター	936.01	418.99	R.C 3階建（2階部分の一部）
堺市立北老人福祉センター	4,202	1,368.65	R.C 地下1階地上2階建
堺市立東老人福祉センター	東区区役所の一部	1,086.78	R.C 地下1階地上4階建ての1階及び2階の各一部
堺市立美原総合福祉会館・美原老人福祉センター	5,156.55	2,505.82	R.C 地下1階地上2階建

## （2）施設整備・改修工事状況

東大阪養護老人ホームの建替え工事、白島荘建替え工事については設計監理業者・工事請負業者との調整を行い、計画どおり進捗することができました。

また、新規事業にかかる施設整備については、公募による選定を受けた時点から設計業者の選定と市町村との建築及び補助金にかかる協議を進めるとともに、高槻市地域密着型サービス施設については、その建設予定地である高槻荘内の職員寮の解体工事を完了することができました。さらには、旧東大阪養護老人ホームの一部改修・耐震補強工事については、地域住民の理解を得ながら工事を着工することができました。



新築の東大阪養護老人ホーム

設 施	容 内
東大阪養護老人ホーム	建替えによる新築工事 平成25年10月31日竣工
特別養護老人ホーム白島荘	建替えによる新築工事中 平成26年3月31日現在、出来高36%
高槻市地域密着型サービス施設	平成26年3月24日職員寮解体工事完了 平成26年3月31日現在、実施設計・市町村との補助金協議中
堺市地域密着型サービス施設	平成26年3月31日現在、実施設計・市町村との補助金協議中
豊中市地域密着型サービス・障がい者福祉サービス施設	
旧東大阪養護老人ホーム	新規障がい者福祉サービス実施のため、一部改修・耐震補強工事 平成26年3月26日着工

## 2. 事業管理

### (1) 新規事業への取り組み

平成25年度は各市町村からの介護保険サービス・障がい者福祉サービス・指定管理事業への公募があり、それらに対して当法人の果たすべき使命を踏まえながら、応募について積極的に検討を進めました。応募の状況とその結果については以下のとおりです。

応募月	内容	結果
5月	高槻市地域密着型サービス整備事業	整備事業者として選定
5月	堺市認知症予防教室運營業務	運営事業者として落札
7月	堺市地域密着型サービス整備事業	整備事業者として選定
8月	池田市立敬老会館（指定管理の継続）	指定管理者として選定
8月	池田市立養護老人ホーム（新規指定管理）	不採用
8月	豊中市障害福祉事業・介護保険事業	整備事業者として選定
9月	箕面市立光明の郷ケアセンター（指定管理の継続）	指定管理者として選定
12月	豊中市高齢者外出支援（送迎）サービス業務委託事業	委託事業者として選定

### (2) 介護・生活支援サービスの向上

#### ①個別ケア内容の充実

ケアプランの充実への取り組みを進める為、美原荘と春日丘荘にて施設介護支援専門員の正規職員専任化を実施し、ケアプラン作成にかかる体制を強化しました。また、施設介護支援専門員会議において、ケアプラン作成の標準化について検討を進め、「ケアプラン作成の手順書」を作成することができました。

居宅介護支援事業所会議においては在宅利用者の多様化するニーズに適切に対応できるよう、困難事例として課題となることの多い難病利用者についての理解を深める事を目標に、事例検討・外部講師における研修会を実施することができました。

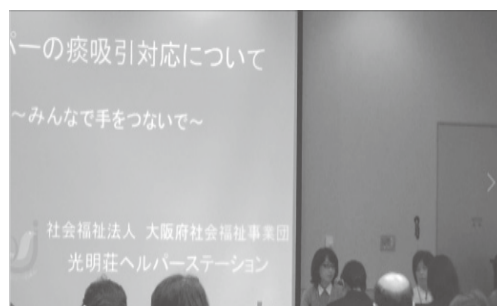
#### ②認知症ケア対策

平成24年度に立ち上げた「大阪大学・OSJ認知症ケア研究会」においては、高槻荘の入居者の具体的な事例検討を通じて認知症高齢者の行動や職員の関わり方、そして、職員のモチベーション向上に向けての共同研究を進め、平成26年1月からは美原荘においても、同様の取り組みを開始しました。また、大阪大学・OSJ認知症ケア研究会においては、大阪府から府内の福祉関係機関に配布することを目的とした認知症ケアにおける事例集の作成についての委託を受け、両施設入居者の事例をもとに完成させることができました。

また、各施設において認知症ケアを推進しその質の向上を図る為、認知症介護実践者研修、リーダー研修、指導者養成研修について、計画的に受講を行い各施設における認知症ケア推進に向けた人材育成にも力を入れることができました。

#### ③医療的ケアへの取り組み

東大阪養護老人ホームにおいては、施設の建て替えに伴い保険診療所を開設し、日々の健康管理はもちろんのこと、入居者への医療的な処置を適時に行えるようになるとともに、各特別養護老人ホームにおいても、昨年度に引き続き医療的ニーズのある入居者の受け入れを積極的に行うことができました。また、光明荘ヘルパーステーションにおいては、東京で行われた国際福祉機器展において、在宅利用者に対しての介護職員によるたん吸引の実践発表を行い、その取り組み内容について高い評価を受けることができました。



光明荘ヘルパーステーションの発表の様子

#### ④サービス内容の標準化への取り組み

サービス内容の標準化への取り組みについては、春日丘荘において、平成26年3月にISO9001認証取得し、四條畷荘・美原荘に次いで3施設目の取得となりました。また、平成24年度に作成した法人独自のサービスチェックリストについては、新たに市町村の自主点検表の内容を整理し加えるとともに、施設のサービス提供環境に関するチェック内容についてさらに具体的に見直しを行い、そのチェックリストを活用しながらの内部監査を実施することができました。

#### ⑤虐待防止への取り組みと介護事故減少への取り組み

福祉施設等における虐待が問題となるなか、新たに虐待防止マニュアルを策定するとともに、各施設において虐待防止委員会を設置し、具体的な予防対策についての検討等を行いました。介護事故減少については各施設のリスクマネージャーが中心となり、安全管理委員会において前月の評価と課題をもとに、当月の目標と具体的な計画を策定するなど取り組みを進めましたが事故の減少には至らず、今後さらに要因分析を深め、方策を検討する必要があります。

### (3) 経営基盤の安定に向けた取り組み

#### ①健全経営への取り組み

経営戦略会議において、月々の予算執行状況を確認し、課題解決に向けた対応策を検討することで、施設改修・整備計画の財源となる施設整備等積立金を予定通り確保することができました。

また、平成26年度以降に予定されている地域密着型サービスや障がい者福祉サービスの新規施設整備を加えた施設改修・整備計画を更新するとともに、その計画が実行できるよう消費税増税や将来の介護報酬の改定にともなうリスクを踏まえた資金計画の見直しを行いました。

#### ②施設整備への取り組み

東大阪養護老人ホーム建替え工事、白島荘建替え工事については、補助金の手続きを

適切に進めながら予定どおり進捗するとともに、市町村公募における新規施設整備についても、設計業者を選定し市町村との協議を含めた基本設計を進める事ができました。高槻荘の大規模改修計画については、高槻市が市内に所在する施設の改修にかかる補助金に関する意向調査を実施予定とのことでしたが、その調査は実施されず次年度以降の課題となりました。

### ③経営戦略とコスト管理

法人一括契約については、新たに車両とカーテンリースの一括契約を実施し、スケールメリットを生かしたコスト削減に繋げることができました。また、エネルギー使用量削減の一環としてLED電灯の導入について検討を行い、平成26年度には春日丘荘・四條畷荘において試行及び検証を行うこととしました。

### ④新会計基準に向けての取り組み

平成27年度当初予算から導入される新会計基準についてスムーズに導入できるよう、顧問公認会計士による集中勉強会を開催するとともに、外部研修にも積極的に参加しその情報収集に努めました。また、各施設の経理事務担当者に対して定期的な勉強会を実施するとともに、具体的な導入準備としてモデル経理規程を参考に新しい経理規程の検討と拠点区分設定・勘定科目の検討を行うことができました。

## (4) 地域社会における施設の役割と連携

### ①低所得者支援について

社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度については、施設入居者や在宅サービス利用者に広く周知できるように当法人のホームページにおいて制度をわかりやすく示したり、各施設において機関紙への掲載やポスター掲示をするなどして広報を行いました。その利用者数は増えることが無く、利用者の増加へのさらなる取り組みが今後の課題となりました。

### ②地域の高齢者を支える取り組みの推進

堺市における新たな取り組みとして、市内3か所で延べ90回の認知症予防教室を定期的で開催し施設と法人の研修推進室が連携しながらその運営を行いました。認知症サポーターの養成については、各施設の地域包括支援センター等が中心となり、認知症キャラバン・メイト養成研修を受講し、地域住民や施設の職員を対象とした認知症サポーター養成への取り組みを積極的に進めることができました。



認知症予防教室の様子

### ③災害時の拠点作りへの取り組み

総合防災訓練については、平成24年度の課題を踏まえながら年度初めからその計画を検討することができました。各施設の訓練では、地元消防署との連携による火災発生時の

想定訓練、独居高齢者の安否確認訓練、スムーズな職員の確保のための自宅からの参集訓練、災害対策本部を設置した事務局においては、新たに当法人と災害時協定を締結している大阪府障害者福祉事業団との協力における連絡・連携を訓練に組み入れ実施することができました。

また、大規模災害の発生時に大阪府内で既に協定を結んでいる法人施設も同時に被害を受ける可能性を考慮し、10月には鳥取県厚生事業団と大規模災害の発生時における物資の支援や職員の派遣などの協力についての連携協定を締結することができました。

#### ④NPO法人との連携について



自立支援事業における車椅子洗浄の様子

当法人の訪問介護事業所の利用者が、NPO法人なにわ和楽日の会が提供する介護保険外サービスを利用できるよう連携を深め、利用者の住み慣れた地域での生活を支える体制を整えました。

また、軽費老人ホームの入居者の自立支援と生きがい作りの一環として、ボランティアを活用しながら、近隣の特別養護老人ホームで使用する車椅子の洗浄業務に取り組み、入居者に労働の機会を提供することができました。

### 3. 労務管理及び研修

#### (1) 労働法規遵守と職員の健康管理

##### ①労働法規遵守への取り組み

所定労働時間の適切な管理に努めるため、施設長会議や法人衛生委員会などで、業務・事務の改善の提案を行い、長時間労働が抑制されるよう周知し、各職員の所定時間内労働を意識した業務遂行が定着しました。

##### ②衛生委員会における取り組み

施設・法人衛生委員会では、労働災害発生状況についての検証を行い、その減少に向けて課題の集約を行うとともに、機能訓練指導員会議において腰痛予防のための「腰痛予防マニュアル」を作成しました。また、通勤災害の減少に向けて安全運転を徹底するため、車両の運転に関する取り扱いの制定について検討しました。

健康診断については、法律では受診の対象とはならない所定労働時間が週20時間未満の職員に対しても、衛生委員会を通じて受診についての積極的な声掛けを行ったところ、正規職員・非正規職員合わせての受診率は春97.0%、秋99.1%を達成することができました。

#### (2) 職員の確保と働きがいのある職場づくり

##### ①職員採用方法の充実に向けた環境整備



介護・福祉業界の人材不足傾向が進んでいる中で、優秀な人材を確保することがますます重大な課題となっていますが、近年求職者が自宅近辺での就職を希望するケースが増えており、採用エリアを北摂・北河内・堺泉州の3つに分け、自宅に近い施設に配属する仕組みを整え、多くの人に応募してもらえよう環境整備に努めました。

また、介護職員の安定した確保に向け、法人内で実施する介護職員初任者研修受講者を採用に繋げられるよう受講料の給付制度について検討し、平成26年度からの実施が実現しました。

## ②大学・専門学校との連携

四條畷荘に続き、春日丘荘と光明荘でも実習指導者を専任化し、今まで以上に大学や専門学校との連携を強化することができました。その結果、推薦採用制度が導入され、優秀な学生の採用に繋げることができました。

## ③働きがいのある職場づくり

在宅サービスを支える非正規職員を対象にモチベーションと帰属意識の向上を目的とした「OSJ在宅サービスネットワーク」を開催し、各在宅事業所での実践発表などを通じて、交流を深めることができました。

また、3年目となるOSJぷらざにおいては、ケアプランコンテストや写真コンテストの実施など、各施設で行われているサービス向上の取り組みが参加者に伝わるようプログラムを工夫し、多くの職員の参加がありました。



OSJ在宅サービスネットワークの様子

## ④新規事業にかかる人材の育成と確保

旧東大阪養護老人ホーム跡地及び豊中市における障がい者福祉サービスのスムーズな開設に向けて、障がい者福祉サービスを実施している他法人への実習を行いました。また、平成26年3月には東大阪新規事業開設準備室を設置し、事業開始に向けて具体的な準備に着手しました。さらに、その障がい者福祉サービスを担う優秀な人材を確保するため、外部登用制度についての検討を行い、平成26年度4月からの採用を実現することができました。

## (3) 職員の育成と研修体制の強化

### ①法人経営を担う人材の育成と確保

法人の将来を担う人材の育成に向け、各施設から対象者を選出し毎月定期的にOSJ経営塾を開催しました。理事長や常務理事を交えた講義やディスカッション、事例演習などを通じて、管理者及び経営者に必要な視点や知識、スキルの習得に努めました。

また、主任級・総括主任級・科長級職員の中で自ら希望した職員を対象に、リーダー

養成自己啓発研修を実施し、リーダーに求められる知識の習得と各施設の課題解決に向けた取り組みを行いました。

#### ②個別研修プログラムの実施

職員の学習状況を研修受講台帳で確認しながら、入所施設の介護職員全員を対象に個別研修プログラム（通称：わたしプログラム）を策定し、職員一人ひとりの能力に応じた研修を実施しました。

#### ③外部委託研修への取り組み

平成24年度に大阪府より指定を受けた障害者総合支援法に基づくサービス管理責任者等研修事業を着実に実施するとともに、新たに、相談支援従事者研修・介護職員初任者研修の指定を受け実施しました。さらには、委託事業として大阪府から身体拘束ゼロ推進員養成研修事業、堺市からは、堺市認知症介護実践者等養成研修実施事業を受託し、大阪府内の福祉従事者の人材育成を担うことができました。

#### ④研修・研究センター設置に向けての検討

平成26年度に設置を予定している、(仮称)OSJ研修・研究センターについては、当法人職員の人材育成を行う「内部研修機能」、大阪府内の福祉従事者を対象に行う「外部研修機能」、地域住民等対象とした介護技術や認知症等の講座を実施する「地域啓発機能」、大学や専門的分野の関係機関との「研究・開発機能」、福祉や介護に関する情報収集を行い、書物等の貸し出し等を行う「情報提供機能」の5つの機能についての検討を行い、設置に向けた準備を進めました。





# V 各施設事業執行状況

## 特別養護老人ホーム美原荘 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘

### 1. 事業の執行概要

平成 25 年 4 月 12 日に、特養で取り組んでいた ISO 9001 : 2008 の認証取得ができました。新規事業として、堺市認知症予防教室の事業者選定を頂き、平成 25 年 6 月から平成 26 年 3 月にかけて、堺区・北区・東区、美原区の 3 会場で 90 回の教室運営を行い、どの会場からも好評を得ました。また、堺市地域密着型特養および認知症対応型共同生活介護事業の公募があり、応募の結果選定され、平成 27 年 4 月開設に向けて準備段階に入っており、地域より信頼される施設運営に努めました。特養介護では、医師との連携のうえ看取り 3 ケースに対応し、高リスクの利用者は 1 日 5 回の口腔ケアの実施ができました。軽費老人ホームについては、入居される段階で既に支援が必要な状態である利用者について、入所直後のアセスメントをより細かく行った上でサービス調整を早期に実施することで、生活の早期安定化を図りました。また、特定施設入居者生活介護事業においては、ツールとして学習療法を導入し、気づきの力を養うなど、生活介護支援の更なる質の向上を図りました。

### 2. 平成 25 年度ステップアップ事業

#### (1) 品質マネジメントシステム (ISO 9001 : 2008) の認証取得と適正な運用

平成 25 年 4 月に「特別養護老人ホームにおける介護サービスの提供」で認証取得しました。内部監査員研修は 7 月に四條畷荘・春日丘荘と合同で開催し、新たに 3 名養成できました。9 月から 10 月にかけて内部監査を実施し、四條畷荘との監査交流を行う事で、意見交換も実現しました。2 月に外部機関の維持監査を受審し、クローバーカードの取り組みや品質マニュアルの運用がおおむね良好との結果をいただきました。当初の目標については達成できましたが、来年度は特に、人材の力量評価と育成面の強化に取り組めます。

#### (2) 認知症ケアの推進

美原荘では、認知症介護実践者研修や指導者養成研修等を受講した職員が中心となり、事例検討を始め、困難ケースへの取り組みを行いました。「認知症とは」から研修を行い、声かけの仕方等、非常勤職員も含め皆で一丸となって取り組んできました。各グループがそれぞれに対象者を決め、取り組みに力を入れてきました。業務の中で何気なくやっている事を記録に取り、職員全体で周知し、取り組みが見えるように実施してきました。また、1 月より「大阪大学・OSJ 認知症ケア研究会」に参画し、1 グループの実践について月 1 回、事例検討の機会を設定しました。職員が認知症の方と向き合い、専門的指導を仰ぎながら取り組みを行った事は、今後のケアにいかせる大きな成果であったと思います。

和風荘では、学習療法を導入し、年間を通じて取り組みました。当初は対象者を 6 名からスタートしましたが、12 名まで拡大することができました。職員 20 名が学習スタッフ養成研修を受講し、課題と目標を定めながら実施したことで、生活サイクルの改善、周辺症状の緩和、入院者数の減少などの効果が見られました。

#### (3) E・S・S 事業の推進

今年度の目標として、特養は廊下、食堂等の共用部分の環境美化、通所介護事業所や和風荘にも導入拡大を図っていくことを目標として取り組みました。シルバー人材センターの派遣職員に加え、新たに清掃業務職員を 3 名配置し、また早出職員や夜勤職員等一体となって環境美化に努めました。一定の成果はありましたが、各清掃職員の役割分担等において、管理体制に不十分な点がある為、来年度は体制の整備を行っていきます。

和風荘に関しては、2月に専門指導事業者来荘にて現状把握を実施し、効果的な清掃方法について、3月に研修を実施しました。来年度は、効果的な清掃体制に向けて検討が必要です。通所介護事業所については、清掃道具を再整備し、サービス提供終了後に毎日清掃を行っており、効率良く時間短縮にもつながっています。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

美原荘では、特養の臥床式特殊浴槽の老朽化に伴い11月に交換しました。また、GHP方式の空調システムで故障が相次いでおり、修繕費による支出が予定よりも多くありました。また、電動ギャッジ式ベッドを10台入れ替えました。

和風荘では、吸収冷温水機の冷却塔部、及び循環式小浴槽に関するろ過機がいずれも経年劣化により損傷した為、修繕作業を実施しました。また、事務所機能の向上を目的に、ネットワークの再構築も含めて、事務所レイアウトの改修工事を行いました。併せて、特定利用者の重度化に伴い、介護ベッドを新たに11台導入しました。一方、1階共用部に居室を増設することを検討しましたが、共用スペースの減少に伴う運営面での課題について更なる検討が必要となり、今年度の実施は見送りました。

##### ②建物の衛生管理

専門業者による共用部、及び、浴場のクリーニングを実施しました。各居室設置分の加湿器について、メンテナンスを実施しました。

#### (2) 事業管理について

##### ①危機管理

6月に、堺市主催の福祉協力避難所のシュミレーション事業に参画し、和風荘で福祉避難所の役割についての研修を開催しました。

##### ②サービスの維持向上

7月には特別養護老人ホーム、2月に通所介護事業所がそれぞれ第三者評価を受審し、前回より高い評価結果をいただきました。

また、苦情解決第三者委員として新たに1名参画していただき、4名体制としました。併せて、虐待防止委員会の設置に伴う外部委員にも加わっていただきました。

#### (3) 労務管理について

##### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

和風荘では、業務量の見直しを図り、人員配置の充足に向けて取り組みました。年度途中ではなかなか雇用に繋がらない状況が見られましたが、年度後半には、適正な人員配置を確保することができました。

##### ②職員の健康管理

美原荘では、メンタルヘルスの一環として、毎月第1金曜日に「よろづ相談コーナー」を開設し、衛生管理者が対応し、気軽に相談できるように環境設定しました。また、2月と3月には、敷地内禁煙に向けた取り組みとして、辻本病院の協力のもと肺機能検査を実施しました。

和風荘では、堺地域産業保健センターを積極的に利用し、産業医による個別訪問指導を年3回に拡大するとともに、非正規職員を中心にメンタルヘルス（セルフケア）に関する研修会を実施しました。

### 4. 事業・サービスの推進

#### (1) 特別養護老人ホーム

### ①介護・支援サービスについて

I S O 認証取得により、グループ目標を明確にし、取り組みを具体化した事により、職員一人一人の役割意識が高まり、質の向上につながりました。クローバーカード導入については、少しの不安や疑問を見逃すことなく解決に繋げていく取り組みは、施設全体の質の向上に大きく貢献しています。また「言われたからやる」ではなく、「利用者様の為にどうしたらよいのか」と、個々の職員が利用者の思いに心を寄せ、行動に移す事が出来るようになりました。

### ②医療ケア

I S O 取得により、目標管理（誤嚥をなくす）を定め、作業療法士によるポジショニング指導、毎日の口腔ケア実施、嚥下指導受診、適切な食事形態、吸引指導と活動計画を明確にすることで、職員間の連携、意識も高まり、誤嚥性肺炎減少、入院者減少と目標の達成につながりました。

また、看護職員が週1回宿直業務に入ることにより、夜間における医療体制の充実を図ることができました。

### ③機能訓練

機能訓練は、作業療法士を2名配置し、介護職員をはじめ各職種間の連携を図りながら、早期に介入し、その人に適したポジショニング検討を行い褥瘡・拘縮・誤嚥予防に努めました。

### ④栄養

管理医師、歯科医師、歯科衛生士をはじめ、施設職員全員の連携を密に一人ひとりの利用者の体調を把握し、個々に適した食事内容の確立に取り組みました。無理なく摂取して頂けるように利用者の状態に合わせ、ハーフ食対応とし、栄養補助食品で補うことで嘔吐の軽減に繋がりました。また、嚥下困難な利用者には処方された経腸栄養剤に適度なとろみをつけて、確実に摂取して頂くことで必要栄養量の確保ができました。水分補給の為に茶ゼリーの粘度や汁物のとろみの改善をすることで咽無く飲んで頂けるようになったこと等、安定した食事を提供することで施設での安心な暮らしに繋げることができました。

### ⑤利用率達成に向けた取り組み

協力病院との連携を図る為に、入退院の窓口担当者と病院へ行った時や美原荘に来られた時に、できるだけコミュニケーションを図る事で、入院者の情報を把握しやすい状況を確認でき、病院からの入所希望の紹介や病院看護師長による食事介助研修などを行う事ができました。入院者は年間49名となり、月平均4.1名であり目標の一日4名以内には到達できませんでした。利用率は目標である96.6%を越え97.5%でした。

## (2) 軽費老人ホーム

### ①介護・支援（事故予防含）

利用者の認知症から来る周辺症状の改善、認知症の進行抑制を目的に、学習療法に取り組みました。また、介護事故においては、事故検証及び具体的対策の早期化を図ると共に、居室内での転倒事故予防を目的に新たな専用のチェックシートを作成・活用し、住環境の見直しを行いました。結果、特定利用者の入院延日数、介護事故件数共に大幅に減少しました。併せて、機能訓練分野にも正規職員を配置することで、脳トレや創作活動などのメニューに取り組むことができました。

### ○短期利用特定施設入居者生活介護について

新規事業である短期利用特定施設入居者生活介護事業については、延べ11日の利用に留まりました。今後、周辺事業所への制度周知と共に、受入体制の整備を行っていきます。

### ②利用率達成に向けた取り組み

入院者については、医療機関、ご家族と早期からコンタクトを密にすることで、退院、退所について早期の対応を図りました。また、各セクションが連携する中で、利用者へのケアを充実させることで、入院者自体を減少させることができました。

### (3) 短期入所生活介護（介護、予防、障がい）

#### ①利用率達成に向けた取り組み

家族の急な用事や介護者の入院など、また役所からの緊急一時入所を含め積極的に入所調整を行い、同時に新規の利用者獲得も力を入れてきました。目標利用率は 112.6% でしたが、111.3%に留まりました。特養の入院者が比較的少なかった事もあり、特別養護老人ホーム・短期入所の利用実績は 99%強の結果を得ました。

### (4) 訪問介護

今年度は特定事業所加算算定に伴い、派遣前後の登録ヘルパーとの指示メール、報告メールでのやり取りを行い、サービス提供責任者及び登録ヘルパーが利用者の状況、状態をいち早く把握出来る体制になりました。また、全てのヘルパーが毎月のヘルパー会議に参加し、個別研修計画を各々策定し研修を行って、事業所全体の質の向上を目指しました。派遣件数及び時間についてはヘルパーの退職により大幅な減少となりました。今後の課題として、指示メール・報告メールの内容の充実を図り、また、個別研修計画の見直しを行い、より一層の充実した研修体制にします。また、一人でも多くの登録ヘルパーが体調を崩さず、長く働いて頂ける職場環境づくりに努め、また、新規の登録ヘルパー獲得に努力したいと考えています。

### (5) 通所介護

今年度は4月より、利用定員を40名から42名に増員し、前年度と比較してもより多くの方にご利用頂く事ができました。個別機能訓練加算Ⅱの算定については、機能訓練指導員の人員を確保する事により、年間延べ人数130名ほどとなっています。

サービスの向上については、平成21年度以来の第三者評価を受審し、現在のサービスを見直す機会となりました。また、個別的ケアの取り組みを進めるべく、フロアサービスの充実や事務所奥のスペースを個別に対応する場として提供するなど、次年度のステップアップ事業に繋げる取り組みを行いました。

利用率に関しては、新規利用者や増回希望の依頼も数多くありましたが、年度の始まりから利用中止となるケースも多くみられ、年間の利用率は90%程度に留まり、当初の利用率目標であった93.5%は達成できませんでした。平均介護度は1.80程度となり、今年度の目標値であった1.85をやや下回る結果となりました。

送迎に関しては、大きな事故こそありませんでしたが接触事故等もみられた為、送迎に関する研修を個別に行うなど安全運転指導に努めました。

### (6) 居宅介護支援

#### ①医療との連携強化

医療ニーズの高い方の積極的な受け入れとして、ターミナルケアの方や難病の方の援を行ってきました。医療連携強化の一貫として実務2年以上の介護支援専門員を対象とした、堺市拠点病院の実習に参加し、入院が必要な時期を過ぎてもスムーズに在宅サービスに繋がるように、医療との連携に努めました。

#### ②平成25年度実施目標達成に向けた取り組み

利用者の方の状態悪化に繋がるケースにも迅速に対応、適切な時期に区分申請を心がけました。予防給付の方も介護給付に移行される方が多く、必要な支援に繋がるように調整し、虐待及び困難なケースは基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センターと連携しました。事業所内でも事例検討を行いながら介護支援専門員の人材育成を図り、信頼される事業所作りを行いました。

(7) 地域包括支援センター

地域住民や介護保険事業所、医療機関との顔の見える関係作りを目的に、「見守りネットワーク連絡会」「いきいきサロン・ボランティアビューロー訪問」「老人福祉センター出張相談会」「介護保険事業所連絡会」「居宅介護支援事業所巡回訪問」「Ms カフェ」等の様々な事業を開催し、包括的・継続的ケア体制の構築に取り組みました。

また、年々増加する認知症高齢者がいつまでも地域で安心して暮らせるよう、一般市民を対象とした「認知症サポーター養成講座」を積極的に開催し、認知症ケアの推進に努めました。

(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

開設1年と6ヶ月を迎えました。職員一丸となり事業展開に取り組み、りゅうじん訪問看護事業所と連携の下、徐々にではありますが地域への認知度が拡がりつつあります。予定利用者数15名に対し、今年度は東区や美原区の他事業所を含め15名の方にご利用いただきました。研修については、月に1回、新規利用者に関わる研修を行い、スキル向上に努めました。

(9) 老人福祉センター

①相談（生活相談・健康相談等）

要支援又は要介護状態にて利用上の安否確認や健康面の注意が必要な方については、家族や関係機関と協議し、情報交換にて連携体制で継続利用に努めました。

また、健康面で注意を要すると思われる方が、入浴や体操系のクラブ活動を行う際には、必ずバイタルを測定するように働きかけ、健康意識の助長に努めました。

②機能回復訓練

今年度も作業療法士、看護職員の企画・運営で折り紙、紙細工、大人の塗り絵等季節感のあるテーマを設定して実施し、好評にて参加者も増加し、ラジオ体操もあわせると、3センターで年間14562名の参加がありました。

③教養講座の実施

健康増進、安全、防災をテーマに指定管理事業として「健康教養講座」を月一回の割合で実施し、3センター年間で1205名の参加がありました。

④自主事業の実施

市のふれあいバスが昨年6月で制度廃止となったことで、一部の利用者が減ったこともあり、利用者促進にむけての企画を実施しました。今年度は、「3センター合同作品展」を専用の展示スペースが設定されて広く、交通便も良い堺市立東文化会館にて、実施することになりました。老人福祉センターのクラブ関係利用者のみならず、近隣の一般地域住民の方々も多数ご来場してもらえ、各活動の成果をご覧頂けたことで、老人福祉センターの機能や存在そのものを知ってもらえるよい機会になりました。平成26年3月7日～平成26年3月10日正午までの4日間で、延べ1,038名の来場者がありました。

⑤広報・情報の発信

東老人福祉センターでは、市広報課の協力により、堺のまちの様子や歴史、ひと、施設など市民の皆様に分かりやすく紹介する番組として堺動画チャンネル（堺シティレポ）の放送を、毎日2回行いました。

## 特別養護老人ホーム春日丘荘

### 1. 事業の執行概要

今年度は昨年度に引き続き職員の接遇向上に力を入れました。取り組みは全事業所で行い、職員の意識向上の為「接遇マイスター制度」を取り入れて、職員の気づきを大切にすると同時にモチベーションアップも目指しました。また、特別養護老人ホーム春日丘荘で「ISO 9001」（2008年版）の認証取得に取り組み、マニュアル整備から実践を踏まえて継続的改善を図り、より良いサービスの提供に努めました。結果、認証取得することが出来ました。

今年度新たに茨木市より指定管理を受けた老人福祉センター南茨木荘、桑田荘は1年目が過ぎ、沢池荘を含む3老人福祉センターの今後の在り方の検討や茨木市の方針の動向を伺う必要がある中で今年度は順調に運営することが出来ました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 接遇向上の取り組み

接遇の特に良かった職員を選出し、「接遇マイスター」として表彰しています。既存のワンダフルカードをアレンジし、接遇マイスターの投票用紙として活用しました。春日丘荘全事業所の職員が毎月一枚以上を目標に、「思いやり」「笑顔」「挨拶」「言葉遣い」「チームワーク」の5つに特化した内容で提出し、枚数の多かった職員を5部門の「接遇マイスター」と認定、また、提出枚数の多かった職員を、「気づきマイスター」として表彰式を行いました。

ワンダフルカードの提出枚数は551枚となりました。職員の中で、お互いの接遇を気に掛け、注意しあう姿勢が見られるようになっていきます。昨年度と比べ、事故件数の減少という効果にも繋がりました。

#### (2) ISO 9001 認証取得

ISO 認証取得準備委員会を発足し、毎月 ISO 認証取得専門コンサルタントと相談、検討を重ねながら、内部監査員研修、キックオフ宣言、一次審査（1月6日）、二次審査（2月12日、13日）を経て、3月12日に ISO 9001（2008年版）の認証取得ができました。

事業所：特別養護老人ホーム春日丘荘

認証範囲：特別養護老人ホームにおける介護サービス

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

利用者の重度化の進行に伴い春日丘荘本体2階に特別機械浴槽の新設設置をしました。経年劣化により使用不能となった春日丘荘デイサービスセンター及びグループホームの給湯器の入れ替えを行いました。また厨房機器においては業務用冷蔵庫、食器洗浄機の入替もを行いました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

春日丘荘、春日丘荘「彩の家」特養において、今年度短期入所生活介護事業と合わせて100%の利用率を保つことが出来ました。デイサービスセンターにおいても高利用率の維持に努力しました。

##### ②危機管理



感染症については、日頃からの職員の心がけを十分に行い予防に努めることを徹底したことにより、ノロウイルス、インフルエンザの発症はあったものの大きく蔓延することはありませんでした。また、事故に関しては、虐待防止の観点からも検証を十分に行い、事故の減少に努めました。

### (3) 労務管理について

#### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

長時間勤務の抑制に努めましたが、非常勤職員の不足から止むを得ず時間外勤務で調整することが続きました。非常勤職員雇用に努めるとともに時間外勤務の内容を精査し長時間勤務の減少に努めました。

#### ②職員の健康管理

衛生委員会が中心となり、腰痛予防のために、毎日時間を決めてラジオ体操を全館放送することでその場での体操を奨励しました。併せて腰痛予防パンフレットを全職員に配布し自己管理を促しました。また、健康維持のため敷地内全面禁煙に取り組み、お知らせ文の掲示及び周知、意見集約を経て3月31日をもって敷地内全面禁煙を実施しました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (1) 特別養護老人ホーム春日丘荘（短期入所生活介護を含む）

#### ①介護・支援サービス

特養への特浴槽の導入に伴い、時間帯の制約なく、入居者（特養・短期入所含む）の身体状況にあわせた入浴形態での入浴を行う事ができました。また、導入に伴い、オーレツチャーやスライディングボードの使用を推奨し、事故の予防と、職員の腰痛の軽減につなげています。

感染症予防として、介護職員により食事前・後にテーブルやイスなど手の触れる部分を中心に次亜塩素酸希釈液での拭きとり消毒・換気に努めました。利用者に感染症の発症はなく、職員・入居者とも食事・配膳前の手指消毒を徹底したことも効果を表したと考えられます。

短期入所生活介護については、利用者数の増加に伴い、各部署とショートステイ担当の職員でショートステイ会議を開催し、ご利用いただくに当たり、各部署間での疑問点や改善点を話し合い、より良いサービスにつなげられるよう努めました。

#### ②健康管理・機能訓練

利用者の重症化及び医療ニーズが高まる中、看護職員間の情報共有を強化し、疾病の早期発見に努めました。前半では、入退院が多く管理医師をはじめ相談員、介護職員と連携を密に行いながら、利用者、家族の意向を尊重し、医療体制の充実を図りました。後半では、入退院も少なくなり感染予防に努めた結果、感染症の発症者はありませんでした。看取り対応については、7名の利用者を看取ることができました。

個別機能訓練は、各職種と連携し個別プログラムを作成のうえ、関節拘縮や筋力低下及び褥瘡などの予防を含めた身体機能の改善を図ること、離床し、寝たきりなど廃用を予防、残存機能を引き出していくことを軸としたADLの維持向上に努めました。また、嚥下・口腔機能について、専門医・歯科衛生士・介護職員等と連携しながら食事姿勢・動作・口腔ケアに介入し、誤嚥性肺炎の予防・摂食量の確保などに取り組みました。

#### ③給食サービス

クックチル製法での食事提供が3年を経過し、一次過熱、二次過熱において最終的な料理の仕上りを加熱方法（温度、時間、スチーム％）で最適な状態にする為の標準作業マニュアルの充実を図ることができました。



衛生面では毎月の外部機関実施の拭き取り検査において、結果をデータ分析し菌数減少に取り組み成果を上げました。

また、新たに「給食業務専用インシデント・アクシデント報告書」を設置し、誤配膳や異物混入等の検証及び予防に努めました。

#### (2) 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」(短期入所生活介護を含む)

地域密着型特養として地域交流スペースを活用し初心者向けの介護講座やガーデニング、認知症サポーター養成講座などを開催し地域に開かれた福祉施設となるよう努めました。

「彩の家」で最期を迎えたい利用者が増えてきており、今年度は3名の方を看取りました。課題も多くあるため、今後も利用者が安心して最期を迎えられるよう他職種協働のもと体制を整えていきたいと思えます。

短期入所は利用者、家族との信頼関係の構築に努めました。利用者の情報を職員、家族と共有できるようフェイスシートの変更や介護職員もサービス担当者会議に出席しました。

#### (3) 訪問介護事業

9月頃より施設入所や体調不良等による長期中止者が多くみられた為、新規利用者の獲得に努めるとともに、利用者の派遣内容や派遣時間の見直しを適宜行い、利用者の状態に応じて対応しましたが、派遣回数や派遣時間を回復するまでには至りませんでした。

介護保険以外のサービスとして「ひとり暮らし高齢者日常生活支援」「高齢者ごいっしょサービス」「産前・産後支援」に加え、平成25年4月より自費サービス(NPO法人なにわ和楽日の会)と連携を取りながら、利用者様からの様々なニーズに対応することができるようになりました。

障害訪問介護では、現在「移動支援事業」の申請の手続きを行っており、次年度より活動を開始する予定です。今後は障害訪問介護にも力を入れて取り組みたいと思えます。

#### (4) 通所介護事業

##### ①春日丘荘デイサービスセンター

朝食・夕食サービスや、個々の希望の利用時間等を柔軟に受け入れ出来る体制を確保し、各居宅介護支援事業所への案内を行った結果、朝食サービスについては少数であるものの夕食サービスご利用者については増加することが出来ました。また、月ごとの行事の充実や、中庭を菜園として活用しデイサービスの内容の充実に努めました。

##### ②沢池老人デイサービスセンター

今年度は、各居宅介護支援事業所への情報提供を迅速に行った結果、新規利用者増が顕著に現れました。利用時間及び送迎時間、クラブ活動、機能訓練等、利用者ニーズに対し柔軟な対応を推進してきた事により利用率が上がり、当初の目標を達成する事ができました。また、多数のボランティアの協力を得て、多種多様なプログラムを提供し、中でも、専門の講師を招いた、「そろばん」「書道」「はがき絵」教室は、利用者より大変好評を得ることができました。

##### ③南茨木老人デイサービスセンター

「朝食・夕食の提供や、短時間利用などの個々のニーズに対応したサービス」が徐々に地域に浸透したことで後期にかけて利用率は少しずつ回復しました。個別機能訓練の充実及び利用者のペースに合わせて落ち着いた雰囲気や開放的な環境をつくり、利用者にとって居心地の良いデイサービスとなるように努めました。手作り作品の制作にも取り組み、評判を得る

ことができました。

(5) 認知症対応型通所介護事業

在宅利用者の重度化及び家族負担が増加している中、利用者が安心安全に過ごして頂けるように職員間での情報共有を強化し事故軽減に努めました。又認知症対応型通所介護として利用者個々に合った個別プログラムの充実を計り提供してきました。家族負担の軽減においては家族のニーズに対して柔軟な対応を行い、家族にとっても安心して頂けるように努め、都度の連絡を細目に行いました。

(6) 認知症対応型共同生活介護事業（共用型認知症デイを含む）

今年度は地域の関係機関と協同し、地域社会の発展に寄与できるような取り組みを行いました。具体的には、大阪大学現代心理学教室との認知症ケアに関する連携を進めていく中で、グループホームの事業内容や利用者の暮らしを知り、認知症を理解してもらうための講座用DVD（題名：高齢期の認知・注意・記憶の発達と支援）制作に協力しました。プライバシーにももちろん配慮しつつ、利用者・家族も納得のいく内容となり、福祉教育の一翼を担うことができました。

(7) 小規模多機能型居宅介護事業

住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるように、利用者のニーズを把握し、小規模多機能型居宅介護が求められている「通い」「宿泊」「訪問」のサービスを組み合わせることで、新規利用者を増やし、常に登録者数は目標値を達成しました。職員のスキルアップのためにも毎月のスタッフ会議では認知症についての研修もおこない知識の向上にも努めました。

(8) 居宅介護支援事業

①春日丘荘居宅介護支援事業所

地域包括支援センター、近隣病院からの紹介、デイサービス見学者など新規を獲得しました。研修に積極的に参加し伝達研修を行い知識や情報の習得に努めました。

②南茨木居宅介護支援事業所

外部研修の参加とケアマネ会議での伝達研修、困難事例検討を行いながら介護支援専門員の質の向上を図り、利用者自身の「こうなりたい」「こんな生活がしたい」と望む暮らしを支援し、安心・安全な生活が送れるよう努めました。また、地域包括支援センター、CSW、病院との連携を取りながら新規利用者獲得に努めてきました。当初4月より介護支援専門員4名での予定でしたが、11月まで3名での稼働、12月より4名になり利用者数の増加に努めました。

(9) 在宅介護支援センター（CSW）

社会貢献事業や、福祉委員、民生委員と協力し地域の要援護者の発見に、積極的なアウトリーチを行い、要援護者が地域で安心した生活を送る為に個別援助業務を行いました。

(10) 地域包括支援センター

茨木市では平成26年度から各圏域で地域ケア会議を開催するにあたり、今年度は試行会議を行いました。春日丘荘では、総合相談で増加している虐待・困難ケースを題材にし、三師会・福祉委員・サービス事業所・行政等と連携の振り返りを行いました。

従来行っている交流会も各地区へ出向き地域住民と話をすることで顔の見える関係を作ることに努めました。これらは地域包括ケアや地域力の強化の一端となったと考えます。

(11) 老人福祉センター

沢池荘・南茨木荘・桑田荘

年間計画としての介護予防教室、教養講座を予定どおり実施することができました。同好会及び団体利用も順調に利用して頂く事ができました。

また、相談業務については、地域包括支援センターと連携をとり、福祉サービス等への支援に繋げる役割を果たすことができました。

映画会や音楽会などの新たな行事を実施し、利用者から好評を得ました。また、平成27年度からの老人福祉センターの再編に向けての事業案策定に関する取り組みを開始すると同時に3老福の所長を交え今後の在り方について定期的に会議を開催しました。

## 特別養護老人ホーム四條畷荘

### 1. 事業の執行概要

特養部門では、「ユニットリーダー実地研修施設指定」にむけて、「理念ブック」を作成し、職員全員に配布することで、法人実践的理念と合わせて、4つのモットーを基本とした四條畷荘品質方針を徹底させることができました。利用者本位を貫き、個別ケアの更なる充実に向けて24時間シートを見直し、意識的に取り組みましたが、残念ながら、指定を取得することはできませんでした。しかし、平成26年度指定に向けて、再チャレンジへの大きなステップを踏むこととなりました。

在宅部門では、地域へのアプローチとして、四條畷市内にサテライト的な拠点づくりへの検討を始め、平成26年度の実施に繋がりました。

養護部門では、市町村の措置控えが進む中での待機者確保に苦戦しながら市町村との連携を強化しました。

収支については、そのバランスを保ちながら、ほぼ予算通りの執行として一定の成果を上げることができました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 外部監査受診

I S O 9001 認証取得後3年が経過し、初回の更新監査を通過して認証の更新を行うことができました。また、法人内他施設との協力体制を取り、美原荘・春日丘荘とは内部監査員研修を合同で実施し、美原荘とは互いの内部監査に参加して、次年度以降の内部監査体制構築の基盤を作りました。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

(ア) 利用者居室エアコン69台分と1階共用部分全てのガスヒートポンプ室内機分解洗浄を実施しました。

(イ) 利用者の重度化に伴う入浴介助の負担軽減の為、特養ユニット個浴槽にリフトを設置しました。

(ウ) 特養ユニットの内装について、より家庭的な雰囲気となる様な家具を配置しました。

(エ) 各ユニットに配置していた家庭用プリンターの使用を止め、各フロアにネットワーク対応レーザープリンタを配置し、ランニングコストの低減を図りました。

(オ) 衣類乾燥機は随時修理していましたが、利用頻度の高いデイサービスと養護について各2台ずつ買換えを行いました。

##### ②建物の衛生管理

(ア) 法定検査や定期的な点検・清掃・薬剤散布を計画的に実施しました。

(イ) ガスヒートポンプ保守について、無償対応可能運転時間を越える室外機がでてきたため、対象機器については無償対応運転時間の延長を行いました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

(ア) 収入面では特養・短期入所で実績が予定を下回りましたが、養護・居宅介護支援・通所介護等で予算をプラス補正出来、最終的に全体でもプラス補正を行うことが出来ました。

(イ) 光熱水費削減の取組について、電気使用量は前年度比約4.6%の削減が出来、20%増と見込んでいた使用料金を16%増で終えることが出来ました。水道使用量は昨年度比約1.3%、16万円程度の削減、ガスについては、前年度比5.6%削減出来ました。単価高騰により使用料金は前年度比約4.6%増加となりました。

(ウ) 人件費については、予定していた配置人員を確保出来ず、当初予算をマイナス補正することとなりました。その他事務費・事業費支出についてはおおむね当初予算の範囲

で運営することが出来ました。

## ②危機管理

(新) 災害時対応マニュアルを活用し、避難訓練を3回実施しました。法人全体での総合防災訓練では、地域との連携、地域住民の安否確認等を行うことができました。地域の関係事業所との協力体制を整えるため、連絡体制を整え、連携に向けた通報訓練を行いました。

## (3) 労務管理について

### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

職員配置及び記録の残し方などの業務内容を見直すことで、時間内勤務を遂行できるように配慮しました。

### ②職員の健康管理

職員健康診断について、受診意識の向上に努め、対象者全員が受診できました。また傷病者については産業医との連携のもと、1名が長期入院を経て、職場復帰できました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (1) 特別養護老人ホーム

#### ①相談

地域制度の活用について、法人減免の申請、措置入所者受け入れ等を行いました。また、家族連絡会や入居者総会を開催し、家族や入居者の意見を頂く機会を設け、様々な要望や不安に思っていることなどの意見交換を行うことができました。ボランティアに関しては、交流会を2回開催し、計90名を超える方のご参加を頂きました。介護保険についての講義やボランティア同士の交流、災害備品についての講義や試食などを行い、地域における四條畷荘の存在や役割をご理解頂くことができました。

#### ②介護・支援

入居者の重度化と医療ニーズに対応し、施設内で医療ケア研修を行うと共に、介護職員の喀痰吸引等の外部研修にも参加しました。また、個浴にリフトを取り付けて入居者の状態に合った安全快適な入浴体制を整え、併せて介護職員の腰痛予防が図れました。

#### ③機能訓練

入居者の心身機能の評価を基に、入居者のニーズと併せて各々に適した訓練を行いました。また、ケアプラン会議を通して他職種と連携し、生活リハビリの共有を行いました。

#### ④給食

委託業者が変更した4月当初は、味付けや硬さなどについての意見が多くあがりましたが、嗜好調査や楽食会議での話し合いを重ねて個別の意見はケアプランに反映させることで「美味しくなった」と評価は改善されています。ただし、目標としていたプリン食の形態の改善については実行できず次年度への課題となりました。

### (2) 養護老人ホーム

#### ①相談

入居者総会を毎月1回定例化し、定期的に利用者の意見を受け止めたうえで、施設からのお知らせ・考えを浸透することができました。バスツアーや外食会に取り組み、生きがい支援を行いました。

#### ②介護・支援

利用者の重度化に伴い、ヘルパー業務がかなり増加した上、中度の認知症の新入居者への対応が困難でしたが、看護師等と連携し日々の業務改善、ち密な申し送りが行われ、問題を解決していきました。

### (3) 短期入所生活介護

#### ①介護・支援

24時間シートを充実させ、自宅での生活リズムや習慣等の把握に努めたことにより、安心して過ごして頂ける環境づくりができました。

#### (4) 訪問介護

利用者の生活に密着し、訪問先でみられる利用者の状態をきめ細かく居宅介護支援事業所に報告したり、サービス担当者会議開催を依頼することで、必要なサービスを迅速に提供できるように努めました。ヘルパーの人材確保ができず目標時間数に至りませんでした。毎月のヘルパー会議にて困難事例検討、苦情や失敗の課題分析を参加者全員で行う事で問題意識を共有でき同じ過ちをおこさないようになりました。また、サービス責任者が介護保険外サービスを行う NPO 法人の紹介を行う事で、安心、安全の切れ目のないサービス提供にもつながりました。

#### (5) 通所介護

10月より定員を35名に増やし、ぜひ四條畷荘デイサービスを利用したいという家族の要望に応える事ができました。施設入所、死亡、長期入院等の理由で中止者が数多く出た反面、体験前の面談・訪問を積極的に行う事で、新規利用獲得をスムーズにしました。ただし、目標に掲げていた個別サービスの提供は人材育成不足から新たな取り組みに着手できずじまいになりました。サテライトデイの開設については場所の確保に向けて動きましたが部屋数、駐車場の問題等での確かな発見に至らず次年度への持越しとなりました。

##### ※配食

緊急時の対応、安全見守り、栄養の確保に地域包括支援センターとの連携を図ることができ、地域との信頼関係の構築に努められました。

#### (6) 居宅介護支援事業

常勤のケアマネを一名増員し、大東市、四條畷市のケアマネ部会に定期的に出席できたことで、医療関係とも情報交換が充実し難病、ターミナルケースを受け入れることにつながりました。地域包括支援センターから困難ケースの依頼や予防プランも積極的に受けたり、市内の他の居宅支援事業所からのプランの引き継ぎ、事業所間の協力体制を強化しています。チームアプローチを重視し、様々な角度からの見直しをおこない、生活環境の改善を図ることができました。

#### (7) 地域包括

##### ①包括的支援事業

高齢者にとって住みよい地域づくりの一環として、介護保険制度・地域包括支援センターの役割を知ってもらう為に高齢者、介護者を対象とした介護教室並びに認知症への理解を高める目的として地域住民や地域の関係者向けへの認知症の教室、食事・栄養から介護予防を考えていただく高齢者参加型の予防教室などを開催しました。各種教室から介護予防的視点を通して、地域への啓発活動に励みました。

##### ②地域との連携

高齢者虐待などの権利擁護に関するケースや複合的な支援を要する対応困難なケースにも地域包括支援センターとして主体的に関係機関、地域の関係者との連携を意識し、対応を行えました。また、地域の関係者とのネットワークを意識した地域ケア会議を開催し、新たな視点での関係作りへの構築を図ることができました。

#### (8) 居宅介護・重度訪問介護

重度訪問介護ではきめ細かな手順書を作成したうえでサービス担当責任者が同行訪問を重ねて指導を行い個々の技術の向上を得られ利用率が増加しました。更に障がいの病状研修をヘルパー研修に取り入れました。

## 特別養護老人ホーム光明荘

### 1. 事業の執行概要

大規模改修後のグループケアへの実施については、各棟の行事・外出や食事会、食堂の雰囲気作りなどで特色が感じられるようになってきました。施設全体の空調が保たれるようになり、保湿の効果も得られ、インフルエンザ等の感染症に関しては予防の効果がみられました。診療所の開設により、点滴等の処置がおこなえるようになり、脱水による入院を減少させることができました。ただ、生活空間が変化したためか、事故数の減少には至りませんでした。

エントランスホールにおいては、日常のクラブ活動や行事に多くのボランティアの方にお越しいただけるようになり、介護者家族教室や地域のものわすれ相談会を開催するなど、多くの地域の皆様にご集っていただくことができました。ご家族の面会も増え、改修で中断していた「喫茶」を近隣の障害者施設の協力を得て、開催することができました。地域の皆様に寄っていただくことで、地域の拠点施設となる第一歩となりました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) オムツなんてしたくない【オムツはずし】

人間性を重視した介護を目指し、利用者の自立排泄への支援を行い、生活機能回復の一環として、日中のおむつ外しに取り組みました。各職種との十分な連携を行い、引き続き対象利用者のオムツゼロをめざします。

#### (2) 痛い思いはしたくない、させたくない【転倒予防・重大事故の減少】

大規模改修が完了したことによりハード面が整ったのを機に、個別ケアに基づいた事故の削減に取り組みました。まずは光明荘の事故における傾向を分析し、どこに重点をおいた介護をすべきかを職員に意識づけするようにしましたが、全ての職員に情報を把握してもらえず、前年度より重大事故を減少させるに至りませんでした。

#### (3) 4S推進【無駄をなくし、すっきりした環境を目指す】

大規模改修後の環境を維持するために、毎月重点的に環境整備を行うようにしました。ゴミの無駄をなくすキャンペーンや資源ごみの空き部屋の再利用などを進めてきました。各所に残っていた、廃棄可能な書類の処分をおこないました。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス

大規模改修時に改修できなかった部分（給水管・下水管・機械浴槽・事務所前の廊下の手すり）の整備を行いました。

管理棟2階の旧会議室を整理し、現在、手狭になってきた男子更衣室を移動することで男女別の休憩室も確保しました。

##### ②建物の衛生管理

年2回のワックスがけや日常の手すりのハイター消毒、小まめな清掃で清潔で気持ちのよい建物維持に取り組みました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

改修工事のために10名に減数していた短期入所の定員を20名に戻し、特養・短期入所は安定的な利用率を得ることができました。また、通所介護においても、毎日の



登録者数を増やし、延長利用も増やして利用率をあげることができました。訪問介護についても痰・吸引等の医療ニーズに対応し、更に地域からの信頼を厚くしました。

### (3) 労務管理について

#### ①職員の勤務時間管理

今年度よりグループケアを重視し、夜勤帯の人数を1名増やしたことにより、職員確保のための求人活動を続けましたが、人員不足の状況が続いています。

#### ②職員の健康管理

随時、併設の診療所で入職時健診を受けてもらうことで産業医によるスムーズな管理となりました。出勤時の検温や就業時のストレッチ体操で腰痛予防や体調管理につながりました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (1) 特別養護老人ホーム

#### ①相談

介護科・看護科との連携を密にするとともに、20床になった短期入所事業においてロングショートステイの積極的な調整を図り、昨年度と比べ大幅な入院者減と安定的な利用率の確保に努めました。また、改修工事で新たに設けた地域交流スペースの有効活用として、工事期間中活動を見合わせていたボランティアの積極的受け入れに努めました。

#### ②介護・生活支援

グループケアによる少人数のケアの充実に取り組みました。特に認知症状を悪化させないためのプログラムを多様にし、個別計画、機能訓練計画を連動させ、症状維持、あるいは軽減への取り組みを行なってきました。しかし、すべての利用者の個別援助計画の充実にはまだまだ課題が残っています。「接遇」については意識啓発に努めました。

#### ③実習専任化と人材育成について

実習担当者の専従化を行い、実習指導を通し介護福祉士養成校との連携に取り組む事ができました。サポート体制を構築し、より充実した実習に繋ぐ事が出来ました。研修においては各個人の研修計画を更に細かく立てたこと、在宅部門と連携し施設全体で研修情報の共有を図る事で職員の自己研鑽の機会を増やすことが出来ました。

#### ④機能訓練

新たにできた機能訓練室では、身体面の訓練だけでなく認知面の訓練にも積極的に取り組み、個別や小集団をその方に応じて組み合わせることで、楽しみを持ち気軽に参加して頂ける方が多くなりました。また、以前からご家族及び利用者から要望のあがっていた、介護保険サービスでの短期入所利用者に対する個別訓練を開始しました。他職種との連携で車椅子やポジショニング変更をスムーズに行え、結果スキントラブルの早期治癒・褥瘡の発生減少及び治癒につながることができました。

### (2) 短期入所生活介護

年度当初は大規模改修時に定員数を減らしたことが影響してか、なかなか利用率が伸びませんでした。新規利用の相談があった場合にはすぐに対応をし、積極的にロングショートステイを受け入れることで、下半期の比較的安定した利用に繋がりました。また、障がい利用者も増えました。障がい利用者の場合ケアマネージャーが付かないため、細かい情報をつかみにくい状況にありましたが、新規の方の利用を通して社会福祉協議会と関係性もでき、困難ケースの相談を持ちかけることができました。

### (3) 訪問介護（居宅介護、重度訪問介護含む）



医療的ケアを含めた身体介護の依頼が多く、迅速かつ丁寧な対応ができるよう、ヘルパーの質の向上を目指して事例研修を中心に、スタッフ参加型のロールプレイを取り入れ、技術とモチベーションの向上を図りました。ヘルパー同士で研修を組み立てていく過程ではお互いのコミュニケーションもとれていきました。チームケアが進んでいることに大きな成果があります。

(4) 通所介護（基準該当生活介護含む）

他居宅介護支援事業所への積極的な営業活動と利用者に満足いただけるサービス提供が功を奏し、利用率を大きく伸ばしました。収支については、利用者のニーズに対応した結果、短時間利用者が多くなり長時間利用者確保の課題が残りました。利用者満足度向上のため、職員やボランティアによるイベントを増やし、レクリエーションの個別化を図りました。

(5) 居宅介護支援事業

特定事業所会議内での情報共有や外部研修等に積極的に参加することで、個々人のスキルアップを図りました。また、和泉市内関係機関が開催する研修会や会合にはできる限り出席し、顔の見える関係づくりを心がけました。

(6) 訪問入浴介護事業

医療依存度の高い重度利用者に対し、安心安全な入浴機会を確保するため、研修等を通してスタッフのスキルアップを図りました。新規利用者獲得のため、医療機関や居宅介護支援事業所等に営業活動を行いました。

(7) 地域包括支援センター

介護予防マネジメントについて、業務量の増加のため、事務の効率化、業務改善を図りました。地域包括ケアシステムの推進については、地域ケア会議の充実を図るため、個別レベルの地域ケア会議を新たに開催し、地域課題の抽出や新たな社会資源の開発等に向けて検討を行いました。

(8) いきいきネット相談支援センター

地域福祉の更なる推進のため、校区長会、教育委員会、民生児童委員会等に出向き、CSWの広報活動を行いました。個別相談については、メンタルヘルス不全者からの相談が多く、傾聴や感情の表出等の相談援助技術を活用し、適切な関係機関等へ連携しています。

## 特別養護老人ホーム高槻荘

### 1. 事業の執行概要

高槻市の地域密着型サービス整備事業の募集に応募し、グループホーム（2ユニット）と小規模多機能型居宅介護事業の整備事業者として選定されました。平成27年4月の開所に向けて、ハード面とソフト面の準備に取りかかりました。

また、昨年度に引き続き、大阪大学との共同研究を進め、対応によってどのように対象者の症状が変化するか等の事例研究を通して、認知症ケアの充実を図りました。これらの特養のみならず、在宅にも活かせるよう、やすらぎデイサービス（認知症対応デイサービス）にも広げ、家族交流会（認知症カフェ）等で情報提供することができました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 新生高槻荘検討グループ

大規模改修に向け、前年度の「夢を語る会議」から現実味のある内容へ移行し、ハード面・ソフト面での話し合いを行いました。ハード面では、大まかな配置図を作成し、それを基にメンバーの意識の共有を図りました。ソフト面では、認知症に特化したケアを充実させるため、リラクゼーションルームや屋上庭園などを活用したケアを検討しています。新規事業との連携も視野に入れ、高槻荘の持てる力を最大限活用できるように今後も活動していきます。

#### (2) 高槻荘エコ隊

電気使用量の前年比3%削減を目指し、経費の削減に取り組みました。デマンド監視装置を導入して、基本料金の削減を図りました。また、使用量、料金見える化に努めOSJミーティングで電気、ガス、水道の使用量の推移を報告して各部署への周知を行いました。8月、2月のピーク時には啓発ポスター、ステッカーの貼付等更なる協力を依頼し、結果として、前年比5.4%削減することができ、目標をクリアできました。

今後は、郡家デイサービスにもデマンド監視装置を設置して節電に取り組むことと、ガス、水道についても削減できないか検討していきます。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

築32年の建物ゆえに、雨水や水の配管関係の不具合が頻繁に起こり、その都度修繕に追われました。高槻市との大規模改修に向けた話合いをするも、具体的に進展できませんでした。新規事業の選定を機に、来年度に向けて本体施設の屋上防水や耐震強化の工事を検討しました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

持続可能な事業運営ができるように、各事業所の利用率や収支差額の管理を行い、サービス向上と利用率の向上と効率的な運営に努めました。その結果、高槻荘全事業所の収入が昨年度比約3.15%増加し、収支差額も約25.75%向上しました。特に、利用率が低迷していた「やすらぎデイサービス」の利用率が4月当初59.6%から、3月で88.5%にまでに上がり、多くの利用者にご利用いただけるようになりました。

#### (3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

各科長を中心に、各事業所の労働時間の適正化を図りました。特にヘルパー事業所については、非常勤サービス提供責任者や内勤ヘルパーの雇用をするなど、常勤職員の時間外勤務の抑制に努めました。ただ、サービス提供回数が昨年度比 8.6%増加したこともあり、時間外手当の支給額が増加してしまいました。（全事業所の時間外手当の支給額が昨年度比 25.6%増加してしまいました。）

②職員の健康管理

高槻荘の産業医と協力して、腰痛予防の啓発、ラジオ体操の推奨、「メタボ教室、喫煙教室」の開催など、衛生委員会が中心となって職員の健康管理に努めました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 特別養護老人ホーム

①介護・支援（事故予防含）

個別サービスの基本である24時間シートが定着し、利用者一人ひとりの人権と生活を尊重し、個々人の特性に焦点をあてた個別ケアが実践できました。また、接遇向上委員会が中心となって高槻荘の接遇向上の為に、全職員が個人目標を掲げ意識向上に努めました。

②健康管理（感染症対策含）

介護、看護、協力病院の連携により、感染症（インフルエンザ）の発症は1名、入院者数は2.67人/日でした。次年度は完全な看取りはできないが、できる限り最期まで過ごしていただける体制作りを整備していきます。

③機能訓練（レクリエーション含）

新たに非常勤の理学療法士を雇用したことで、機能訓練の内容と頻度が充実しました。また、新たに歩行器を導入したことで、導入前よりも利用者の歩行動作の安定性の向上・歩行距離の延長に繋がりました。立位困難な利用者に対して、移乗時の福祉用具を検討・使用したことで、利用者の安全及び職員の介助負担の軽減に繋がりました。

次年度も引き続き、利用者にあった機能訓練機器・福祉用具の導入をしていきます。

④給食

今年度に委託業者が変更となり、年度当初より綿密な連携をとって大きな混乱なく給食業務の遂行ができました。きざみ食や極きざみ食など、ばらついて食べにくい食事形態をゲル化剤でまとめることにより誤嚥性肺炎の予防に努めました。また、ディナー会やクリスマス等では、配膳する厨房職員が仮装で配膳を行い、施設職員と協力してイベントを盛り上げることで利用者の笑顔が多くみられ、食に対する「楽しみ」を増やすことができました。

(2) 短期入所生活介護事業

①相談

特養入所者・家族の了解のもと空床利用することで、特養とのバランスを考え居室の有効活用を行ってきました。また、サービス担当者会議への積極的な出席、利用状況の照会に対する即座の対応、状態の変化や事故があった際の連絡の徹底する等によりサービスの質の向上に努めました。

②健康管理（感染症対策含）

利用日の前日に健康状態の確認を行い、利用日や居室設定を考慮し直すことで感染症予防に努めました。また、病院から退院後は、看護サマリーや医師の意見書を同意の上で確認させていただくことで、健康状態の把握を行うことができました。

(3) 訪問介護事業

①介護・支援（事故予防含）

障がい福祉サービス（居宅介護・重度訪問）で特定事業所加算を算定し、サービスの質の向上に取り組みました。高槻市精神保健福祉関係機関連絡会議への出席の他、市内相談支援センターとの関係構築に取り組みました。

②利用率達成に向けた取り組み

契約利用者の約 25%がNPO法人「なにわ和楽日の会」の会員となり、介護保険事業と併せて切れ目ないサービス提供に取り組みました。

③人材育成

サービス提供責任者3名がキャリア段位制度におけるアセッサー資格を取得し、OJTに取り組みました。また特別養護老人ホーム高槻荘との交流研修も企画し、訪問介護員の内10名が受講しました。

(4) 通所介護事業

①介護・支援（事故予防含）

イベントボランティアを積極的に受け入れ、延べ受入れ人数を前年比12%増加できました。

②居宅サービス事業者との連携（居宅介護支援事業所・地域包括含）

居宅・包括への月次報告（看護・機能訓練含）の様式を改善し、居宅・包括との信頼関係構築に取り組みました。

③利用率達成に向けた取り組み

体調不良で休まれたご利用者に対し、毎日その日に体調伺いの連絡を入れるようにし、欠席率を2%低減することができました。

(5) 居宅介護支援事業

①ケアマネジメント

認知症疾患医療センター他、近隣医療機関が主催する研修会・勉強会の他、計画で挙げた5つのカテゴリについて年各20回の外部研修に参加し、関係機関との関係構築に取り組みました。

②居宅サービス事業者・介護保険施設・医療機関との連携

退院・退所加算、入院時情報連携加算等の医療系加算について前年比7倍で算定する中で医療機関との密な関係作りに取り組みました。

(6) 訪問入浴介護

①介護・支援（事故予防含）

OJTを充実させる中で中心静脈栄養法利用者等医療ニーズの高い利用者に対応できる体制作りに取り組みました。

また、引継書（個別のサービスマニュアル）を充実させることで、家族不在時にも対応できるように取り組みました。

(7) 認知症対応型通所介護事業

①介護・支援（事故予防含）

介護職員の専任化と認知症サポーター養成講座の全員受講をはじめ、認知症介護実践者研修に1名受講する中で、専門性の発揮に取り組みました。また日々の連絡帳の充実と家族交流会（年間3回開催）により個別ケア、家族を含めたトータルケアを推進しました。

②地域との交流

近隣小学校とのイベント交流や中学生の職場体験受け入れ、近隣商業施設への外出で

地域との交流機会を設けました。またボランティア受け入れを積極的に行い、延べ受け入れ人数前年比 10%増加を図ることができました。

③利用率達成に向けた取り組み

高槻荘・大阪大学認知症研究会に参加し、助言のある中、アセスメントシートを改善しました。

(8) 地域包括支援センター

①介護予防事業支援事業

「ますます元気教室（介護予防教室）」について近隣地域包括と連携し、対象地域の拡大を図りました。

②居宅サービス事業者・介護保険施設・医療機関・地域との連携

(インフォーマルサービスを含む)

認知症サポーター養成講座を高齢者施設、マンションまた圏域内小学校の教職員を対象に企画し、延べ 108 人の参加を得ました。

また圏域住民対象に認知症や障がいの有無を問わず誰でも参加し、集える場として「カフェラベンダー」と題したカフェを開催し、地域のネットワーク作りに取り組みました。

## 特別養護老人ホーム白島荘

### 1. 事業の執行概要

平成26年7月の竣工に向けて現在建替え工事を実施中ですが、入居者・家族や地域住民・水利組合・関係行政機関・工事関係者とのコミュニケーションを密にして都度調整を図ることで、入居者・地域住民等からの大きな苦情等なく円満な関係を築けました。

平成25年6月23日に法人職員他100名を超えるボランティアの協力のもと、仮住まい先である旧豊中市箕面市養護老人ホーム組合永寿園への引越しを、事故等混乱なく実施することができました。

光明の郷ケアセンターにおける指定管理者更新について、平成26年度から平成31年度まで引き続き指定管理者の指定を受けました。

地域連携強化について、地域住民合同での災害時訓練の実施や建替え後の白島荘を地域に有効活用してもらうべく、白島自治会と調整を図っています。また、各事業所のブログを年間で900件以上更新を行い、リアルタイムに白島荘の情報を提供していきま

した。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

仮住まい先による、重大事故ゼロ

#### ① テーマ

白島荘の新築建替え工事に伴い、仮住まい先である旧豊中市箕面市養護老人ホーム組合永寿園移転によるハード面の危険箇所を事前予知・対策を行い、利用者の安全確保のみならず職員に対しての職場環境向上を図ることをテーマとしました。

#### ② 内容及び結果

改築中及び引越し後にも継続的な住環境アセスメントや施設巡回・検討会議を行い、ハード面のリスク箇所の改善を行い、それらのデータを蓄積・フィードバックすることで事故防止に努めました。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ① 建物・設備のメンテナンス（修繕など）

仮住まい先の空調設備の老朽化があり、温度管理が難しい状況であったため、夏場は必要箇所に扇風機及び冷風機、冬場は石油ファンヒーターの設置を行い住環境保持に努めました。

##### ② 建物の衛生管理

全居室に空気清浄機の設置を行いました。また、玄関先には除菌剤を用いた噴霧による感染症対策を実施しました。

#### (2) 事業管理について

##### ① 経営

継続したコスト削減に取り組むことで、経費削減を図ることができましたが、仮住まい先の面積が旧白島荘の2倍近くあったことが影響し、水道光熱費が大きく増加する結果となりました。収入については、特別養護老人ホームが今年度で約40名の退所があり、またその他の事業においても利用率の微増に留まり、予算達成することができませんでした。

#### (3) 労務管理について

##### ① 障がい者雇用

清掃業務を業務委託から直接雇用に移行することにより雇用の幅を広げることができ、職業支援センターからの実習訓練を充分に行った上で障がい者雇用を行い、本人にとっても混乱なく雇用につなげることができました。

② 職員の健康管理

衛生コンサルティングによる安全衛生診断を受けて職場環境の再確認を実施することで、危険個所の再確認を行うことができました。また、準備運動の徹底の周知や機能訓練指導員による体操に職員も参加することより、腰痛予防を図りました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 特別養護老人ホーム

① 相談

仮住まい先引越し前から入居者・家族へ面談を行い、仮住まい先や建替え後のユニット型特養でのサービスや料金についてそれぞれ詳細に説明を行うことで、入居者や家族の選択肢が増え、退所希望者の混乱やトラブルなく転居手続きが行えました。

海遊館等遠方への外出機会も増やすことで、入居者の仮住まい先での精神的負担軽減に努めました。

② 介護・支援（事故予防含）

各部署より接遇向上委員を選出し、施設全体で接遇向上に向けて取り組みました。職員自身の接遇をそれぞれで振り返り、反省・改善策をまとめ、個別に取り組みを行ったことで接遇向上に繋がりました。

③ 人材育成

スムーズなユニットケアの導入に向け、ユニットリーダー研修を受講した職員が中心となって、全職員を対象とした全5回のユニットケア研修を実施しています。また、研修を少人数制で行うことで、職員それぞれのユニットケア移行に伴う疑問や不安の共有や解決についての話し合いができ、職員一人ひとりの意識が変化し、実践的理念に沿ったサービスに結びついています。

『無資格』、『無経験』の方でも、安心してスキルアップが出来るように、マンツーマンでの指導体制を整え研修体制を構築することにより、非常勤職員の定着に繋がっています。また、介護福祉士資格取得を目指す職員に対しては介護技術に関する実技指導の勉強会を行いました。

④ 健康管理（感染症対策含）

たん吸引に関して、日中に看護師と共に繰り返し実地研修を行うことで、夜間帯看護師が不在の場合であっても適切なたん吸引が実施できる体制づくりを行うことができました。また、胃ろうの事前セッティングに関しても、介護職でも行えるよう個別に看護師とマンツーマンでの研修を行なっています。

(2) 短期入所生活介護

① 利用率安定に向けた取り組み

利用申し込みからショートステイ利用終了までの感想を利用後にアンケート調査し、利用者・家族のニーズの拾い出しに努めています。年2回、利用中の写真と共に直筆の季節のあいさつ文を発送し、家族との信頼を強化することで、実利用者数も増加しました。

仮住まい先への引越し後は、個室の増加により男性利用者の人数制限がなくなり、昨年度に比べ約4倍に男性利用者が増加しました。

(3) 訪問介護

① 介護・支援（事故予防含）



ヘルパーの退職や休職が続き、サービス提供責任者による利用者への月2回以上のサービス提供確認の訪問は不十分でしたが、担当ヘルパーとの連携を密にとることで、利用者個々の目標・実施状況及び満足度の確認を行いました。

ヘルパー研修の内容を実践的な研修を多く取り入れることで、ヘルパーの身体介護の質を高め、身体介護訪問の拡大・充実ができました。

② 利用率達成に向けた取り組み

障がい訪問介護事業のサービス提供に向けて、介護保険適用の障がい者へのサービス提供を積極的に行いました。

(4) 居宅介護支援事業

① 医療機関との連携

医療機関との連携強化を図ることで、受診困難な利用者に対して訪問看護や訪問リハ等の医療サービスの確保ができ、在宅生活の維持が図れるようになりました。また、そういったケースを医療機関と密に共有することで、医師からの信頼を得ることができ、新規利用者の紹介件数が増加に繋がりました。

(5) 認知症対応型共同生活介護事業

① 介護・支援（事故予防）

仮住まい先に引越し後は、旧グループホームで使用していた家具や調度品を引き続き配置することで、利用者が環境変化に戸惑わず不安軽減が図れました。また、非常口については、利用者が自由に開けられるため、介護室でのみ開錠できるように改善し、無断外出などの危険を回避しました。

② 地域との交流

地域行事（地域の花見・いきいきサロン・れんげ祭り・作品展・コミセン祭り・被昇天修道院クリスマス会・高齢者の集い）には利用者と職員が参加し、楽しく地域の方々との交流を図りました。また、「華の家」主催で園芸教室やクリスマスコンサート、餅つき、おやつ作り教室を催して白島地区と石丸地区の住民の方に参加して頂き、更なる親交を深めることが出来ました。ブログにおいては、生活場面や行事、外出などをこまめに掲載し、家族や地域の方に3日に1回のペースで活動内容とともに「華の家」の姿を発信することが出来ました。

(6) 通所介護

① 利用率達成に向けた取り組み

短時間利用サービスを開始し、利用者の選択肢を増やすことで利用者ニーズに即したサービスの充実を図りました。また、週に複数回利用している利用者からの要望から、食事を通常メニューだけでなく、少量で低額の食事提供をすることの検討を開始し、更に選択肢を増やしていきます。

曜日毎にそれぞれ地域の柔道整復師を雇用することで、「顔見知りの先生」からの機能訓練効果だけでなくリラクゼーション効果を得られるようになり、その「顔見知りの先生」からの機能訓練を受けることを目的とした利用者の増加が図れました。

(7) 小規模多機能型居宅介護

① 介護・支援（事故予防含）

1泊旅行の実施はできませんでしたが、利用者個々の希望に合わせて、モノレール等に乗っての遠方への小旅行を実施しました。

「訪問」に関しては、それぞれのアセスメントにより必要に応じて「通い」ではない日に1日2回訪問を行い、熱中症・脱水予防等自宅内での健康管理を行っていきま



② 地域との交流

近隣住民向けに箕面市及び地域包括支援センター協力のもとに、認知症サポーター養成講座を開催しました。また、その講座参加者で独居の方とのコミュニケーションを深めることで、台風等発生時に訪問による安否確認を行うことができ、地域の信頼を得ることができました。

年2回行われる地域清掃の参加や、近隣の独居世帯に定期的に訪問することで馴染みの関係を築くことができました。

③ 利用率達成に向けた取り組み

月に1回発行している「ひねもすだより」を近隣自治会回覧板への掲載や近隣・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等に配布し、小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」をアピールしました。また、箕面市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会において箕面市との協議の結果、小規模多機能型居宅介護の認知度を上げるために、市民が介護保険について市役所来所した際に配布する資料に小規模多機能型居宅介護事業のリーフレットを加えてもらうことになりました。

(8) 地域活動支援事業

① 支援

年齢・指向の異なる利用者が皆で楽しめる創作活動を展開しました。環境保護のテーマのもと、地域の清掃、ペットボトルによる創作活動を行い、体系付けた活動をしました。また、学習・レクの提供に努めると同時に、進路を考える取り組みもしました。

② 地域との交流

地域住民に日ごろの活動を理解してもらうために、利用者が主体となって提供する喫茶「ふれんど」を月に2回開店しました。

## 東大阪養護老人ホーム

### 1. 事業の執行概要

施設新築移転工事が終了し、150名の利用者が事故なく引っ越しを済ませることができました。新築移転に伴い12月からは定員10名のデイサービスセンター開設、2月からは居宅介護支援事業所を再開し、訪問介護事業と合わせて地域や関係機関等へ積極的にアピールを行いました。地域交流室では喫茶がオープンし、施設利用者と地域住民の交流ができる場ができました。

また新たに設置された作業室では、就労に向けた車いす清掃訓練を就労希望利用者へ実施し、就労へ向けての準備を開始しました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 「わくわくお引っ越しプロジェクト」

新施設エリアマップ、新施設周辺の見学会、モデルルームの設置、地域、福祉事務所をはじめとする各種関係機関へのPRを実施することが出来ました。また引っ越し前には、長年お世話になった上六万寺地区やボランティアを対象に、閉所式と合わせて感謝祭を実施しました。引っ越しは、法人他施設の協力、地域のご理解もあり11月30日、12月1日の2日間に渡り、安全に終わることができました。

引っ越し後、利用者、職員へ引っ越しを振り返ってのアンケートを実施したところ、新たな環境に移って旧施設が名残惜しいとの意見もありましたが、ほぼ皆様が引っ越し準備からの過程に満足しているという結果とこれからの施設生活に期待を込めた内容となりました。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

新築移転に伴い従来の4人部屋から個室となり、利用者一人ひとりのプライバシーが確保されました。またエレベーターの設置によって階段等の使用がなくなり、バリアフリー化を図ることができました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

月末月初150名の定員確保と、入退所時のスムーズな対応による措置機関との連携と、利用者の細かな状態変化に留意した結果、入院日数も減少し利用率も96%以上とすることができました。

##### ②危機管理

ノロウイルス・インフルエンザの蔓延予防のため、手洗い、うがい、マスクの着用を職員のみならず利用者へも協力を呼びかけ予防に努めました。また感染症の罹患者発生時には感染症会議を速やかに開催し、デイサービス事業、行事等を中止するなど拡大しないよう努めました。

#### (3) 労務管理について

##### ①職員の勤務時間の管理（所定外労働の抑制）

日常業務に加え移転の準備がありましたが、管理職員が職員の状況を把握し、事前報告を徹底することで時間外労働を抑制できました。

##### ②職員の健康管理

三ヶ月毎の面談を実施し、職員の健康面での把握を行うとともに、休職者等に対しては、復職委員会を通してサポートを行い、年度内に復帰することができました。

#### 4.事業サービスの推進

##### (1) 養護老人ホーム

###### ①相談

各種関係機関へは、移転後全室個室に変更すること、診療所設置による医療ニーズの高い方の積極的な受入を全面的にPRし、入所待機者が常にいる状態を維持することで、スムーズな退所、入所の受け入れが実施できました。また関係機関、各部署との連携が迅速かつ効率よく取ることが出来るようになったことと、職員間で入所者へのチームアプローチがよくなったことで、今までにない在所率を達成出来ました。

移転後は、自立支援の一環として就労訓練を就労希望対象者に実施し、来年度にむけて就労準備を開始することができました。

###### ②介護・支援

多床室から個室に向けての荷物整理を行い、12月の引っ越しは大きな混乱もなく無事に終える事ができました。全室個室化に伴い、閉じこもり予防、社会交流の場の提供等を目的にそれぞれ個別支援計画のもと、特定サービスを利用されている方40名のうち20名の方がデイサービスを利用されるようになりました。また利用者がよく利用される商店や、駅までの送迎サービスも再開し、外出支援も体制を整えることができました。引っ越し後は環境の変化等もあり、居室内・外出先での重大事故が数件ありましたが、巡回時間の見直しや外出希望者に対しては介護、事務所の2重チェックで対策をしっかりと行い、事故の件数を減らしていきように努めました。

###### ③健康管理

引っ越しに伴い、医療機関の移行が円滑に行えるよう早期に医療機関と連携をとることでスムーズに移転先の医療機関につなげることができ、安定した継続治療を行うことができました。診療所が開設したことで、利用者150名のうち128人が既に当ホーム診療所を利用しており、速やかに治療を受ける事や専門医療機関への紹介を行なうことができるようになったことで、医療サービス提供の強化につながりました。また入院者に対しては、入院中から各職種と退院後の生活に向けてのカンファレンスを行うことで、安心してホームに戻り生活できるよう支援を行いました。

###### ④給食

引っ越しに伴い利用者全員が食事できる大食堂から、デイサービス、二階、三階、四階フロア毎の食堂となって、厨房職員の増員が余儀なくされ、管理費の見直しを行いました。そのため、東大阪養護の特色であるカフェテリア方式や選択食は、フロア毎によりきめ細やかなサービスと適温給食が実施出来るようになりました。

##### (2) 居宅介護支援事業

移転建て替えにより、2月より事業開始となりました。東大阪市、八尾市の関係機関へのPRはもちろん、地域の自治会や高齢化が進んでいる府営住宅見守り隊の会合へも参加させていただき、事業所PRに努めました。

また東大阪市内ケアマネ連絡会に入会、地域交流会にも参加し、他の事業所との連携、地域のニーズ把握に努めました。

##### (3) 訪問介護事業

移転建て替えにより、新規利用者獲得に向けて地域自治会の会合参加や関係機関への挨拶回りを行いました。また市町村が実施する研修に参加することで、スキルアップに努めました。

#### (4) 通所介護事業

移転建て替えにより、12月より1日10名定員で事業開始となりました。養護老人ホーム利用者のうち、閉じこもり予防や日常生活動作訓練を必要とする方々を対象に機能訓練やレクリエーションを実施し、歩行状態や認知機能の維持向上を図りました。また、他者との交流を深めることで一日の楽しみを増やして頂く事ができました。

## 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか

### 1. 事業の執行概要

4月1日開所後豊中市を始め、吹田市、茨木市、東大阪市、大阪市からの措置入所者を随時受け入れました。豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの管理運営に関する基本合意書、並びに豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの管理運営業務サービス水準合意書の内容評価基準を順守することを目的として業務執行にあたりました。豊中市民入所において率は最高評価サービスレベルの年平均90%以上を目標といたしましたが、年平均80%を超えるに留まり、確保すべきサービスレベルを達成するに至りませんでした。

豊中市要援護高齢者短期入所における緊急受入につきましては、要請者に対しすべて受け入れを実施し、緊急入所要請者数に占める実際の緊急入所者数は100%に到達いたしました。本年度は、豊中市立養護老人ホーム条例（平成24年豊中市条例第52号）第5条の規定に基づき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者として施設管理運営を行った初年度であり、豊中市及び他市町村からの信頼を損ねることのないよう住民サービスの提供に努めてまいりました。入居者の生活満足の向上や、公費による運営であることからの費用節減の努力は欠かさずに行い、経営収支の適正化を図りました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 地域交流室の活用による地域連携の創造

地域との関わりがない新設の施設がどのように地域連携を創造していくのか、職員間でその礎を共有する目的として取り組みました。

地域連携会議を設置し、毎月定例で会議開催する中で、毎月1回地域交流室を活用しての地域住民や他の社会資源との連携を図ることの出来るイベント開催を企画してきました。屋上開放イベントのビアホールや夜店、小学校との餅つき大会により、地域と入居者をつなぎ、施設を開放することで、入居者の社会性を育むよう努めてきました。

また、地域社協のふれあい喫茶を月1回開催するほか、施設独自のボランティア導入による喫茶も開店いたしました。さらには、地域のサークル活動の場としても積極的な利用を促してまいりました。しかしながら、広報宣伝が十分にいき届かず、限られたグループが定期的に使用するに留まり活性までには至らず、次年度への課題となりました。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

瑕疵期間である1年目を迎え、日々の施設管理での不具合について調整しています。

現段階では修繕に至る事案は発生していませんが、今後修繕コストに費用を計上しないよう日々の使用について建物を傷めないよう努めてまいります。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

今年度措置費収入においては、定員確保を大前提とし入退所調整を行いました。最終月に至るも月初に定員確保することが出来ませんでした。これにより、当初予算との比較において減収月が発生致しました。

外部サービス利用型特定施設入居者生活介護においては、28名の契約に至り、外部の委託契約サービス事業所と連携しながら利用者の支援サービスの充実に努めました。これにより年間を通じて、減収月はありましたが安定した収入確保につながりました。

支出の面においては、収入の状況を確認し、最低基準と照らし合わせながら人員確保を調整し、かかる費用の状況を見ながらバランスを保つことで、収支結果はほぼ当初予算をクリアすることができました。しかしながら、入居者の教養娯楽に係る費用についてクラ

ブ活動や余暇活動の充実を図れたとは言えず、今後の支出に対して課題を残す結果となりました。

## ②危機管理

安全管理に対する職員意識の高揚に対して十分な結果は得られませんでした。個室化された弊害として見守りの視点が十分とは言えず、転倒による重大事故は発生していませんが、ベッド周りでのずり落ち、座り込みによる事故確認は多数見受けられ、安全確認の視点に対し、また機能訓練への取り組みに対して強化すべき点を多々残す結果となりました。

災害時訓練への取り組みに対しては、法人共同による災害時訓練に参加するほか、備蓄品の整備等について地域の児童民生委員の方々と協議を始め住民サービスの一環として、災害時の福祉拠点と認知していただけるよう働きかけてきました。

## (3) 労務管理について

### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

開所前後においては、受け入れに係る準備等により所定外労働時間の発生が多くみられましたが、時間の経過とともに減少傾向となりました。勤務時間との乖離することのないようタイムカードの日々のチェックを行い勤務時間の管理徹底を行いました。

### ②職員の健康管理

衛生委員会の産業医、衛生管理者との協同により健康診断の結果に基づき、所見が発生した職員には個人面談を実施し、健康保持への意識高揚に努めました。しかしながら、厚生労働省が取り組んでいる介護職員の腰痛予防対策には十分取り組んだとは言えず、今後の取り組みへの課題となりました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (相談)

相談員に精神保健福祉士を配置し、より専門的な視点での入居者からの相談、援助に努めました。生活不安、生活課題に対し、豊中市や他市町村の措置担当者との連絡を密に行いながら、入居者の生活安定に向け他機関との連携に努めました。しかしながら、外出支援や買い物代行といった生活充実にむけたサービスの開発は取り組んだもののまだまだ十分とは言えず、今後の取り組みに向けた課題を残しました。

### (介護・生活支援)

外部サービス利用型特定施設入居者生活介護にける介護支援を組み合わせながら、入居者の生活安定を図りました。しかしながら、人材育成に向けた研修を十分に行えず、根拠のある介護、介護予防の視点からの予測に応じた介護への取り組みについて課題を残す結果となりました。

### (健康管理)

永寿園とよなか診療所を始め、さわ病院や他医療機関との連携を図りながら入居者の医療ニーズの把握に努め、必要に応じて対応してまいりました。年2回の健康チェックを行い、他機関受診の診断結果も併せながら嘱託医の指示を仰ぎ、健康相談の内容充実に努め、健康維持、高揚の働きかけを行いました。しかしながら、歩行動作の緩慢な入居者による居室内での座り込み、ずり落ちが多く発生したことから今後の機能訓練対策に課題を残す結果となりました。

軽費老人ホーム（ケアハウス）豊寿荘  
特別養護老人ホーム豊寿荘  
特別養護老人ホーム永寿園とよなか

## 1. 事業の執行概要

平成25年度は、新たに事業を開始した「永寿園とよなか」との連携に重点を置き、「永寿園とよなか」の運営、サービス提供について本体施設、サテライト施設として相互協力のもと、入居者、利用者、更に地域に対して様々な取り組みを行ってきました。

職員の相互協力は勿論のこと、豊寿荘での「ケアハウス」「介護老人福祉施設（特養）」「短期入所」等の事業に加え、永寿園とよなかの「養護老人ホーム」「地域密着型介護老人福祉施設（ミニ特）」等のサービスが加わり、施設を利用する入居者、利用者がそれぞれ違うハード、ソフトから自らにあった生活スタイルを選択できるようになり、更なるサービス提供の強化が図られました。

また、この関係は豊寿荘グループに留まらず法人の近隣施設である「春日丘荘」「白島荘」「万寿荘」の関係においても影響を与え、相互が常に協力体制のもと職員等の人材の協力や入居者、利用者への緊急時受け入れ協力等を行っていく大きなきっかけとなり、「施設」という意識から、「法人」という意識への転換による「組織力」の更なる向上となりました。

新たな事業への取り組みにつきましては、平成26年4月から実施の「福祉有償運送事業」への公募に対して申し出を行い、委託事業者として選定され、事業実施に向けて準備を行いました。

## 2. 平成25年度ステップアップ事業

### (1) ステップアップ事業（託児事業検討）について

平成25年度のステップアップ事業として、事業所内保育所の設置について検討を行いました。

豊中市内の病院、福祉施設等の事業所において職員の子供に対する保育事業についての程度取り組んでいるのか調査を行うため、既に取り組まれている事業所の見学や利用者からの声、離職率等の情報を収集し、その必要性、重要性についての調査結果を得ました。

豊寿荘内での職員に対するアンケートについて、「どの程度需要があるのか」、「実施するための問題、課題」の確認を行った結果、豊寿荘で実施するには様々な検討課題があることの把握までで今年度は終わりましたが、平成27年度の制度改正も視野に入れ、次年度、施設独自プロジェクトとして「人材確保と職員のモチベーション向上で事業所に貢献する」に繋がられる大きな取り組みとなりました。

## 3. 施設の管理

### (1) 建物・設備等の管理について

#### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

施設については丸8年が経過し、所々で修繕が必要な箇所が出てきました。

大きな修繕として、温度センサーバルブが軽費老人ホーム及びデイサービスで故障し、お湯が出ない状況となり急遽大掛かりな修繕が必要な状況となりました。

また、デイサービス、特養のお風呂の給湯配管も亀裂による濾水が発生したため、壁を壊す等の工事を行った結果、3週間程お風呂を止めなければならない状況となり、入居者の方々に影響を及ぼす不具合が徐々に発生してきました。

### (2) 事業管理について

### ①経営

平成25年度当初予算を目標に、各事業所の利用率や収支状況の管理を行い、当初予算を達成することができました。

しかしながら、予想しない緊急的な設備の故障、破損が相次ぎ、予期せぬ支出により、当初予定していた備品等を購入することが出来なくなる等、厳しい状況となりました。

### ②危機管理

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症発症も最少人数で押さえ込み、蔓延することなく過ごすことが出来ましたが、一方で、持病での入院や骨折などでの入院により、今後の危機管理における課題が見えてきた一年となりました。

天災等への危機管理につきましては、施設では初めてとなる総合防災訓練を地域住民の参加により行い、避難誘導、初期消火について講評をもらうといった地域参加の防災訓練を実施しました。一方で、地域での災害時安否確認訓練にも施設職員が参加し、双方が協力しながら災害時での対応を行っていけるよう連携を行いました。

## (3) 労務管理について

### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

所定労働時間での勤務体制が取れるよう取り組んできましたが、募集を行っても集まらない状況による人員不足、会議や行事等による所定外労働の発生等、特定の職員、特定の部署に所定外労働が集中しました。

反面、所定外労働が毎年常態化している職員については、仕事量や取り組み状況の確認を行うことにより、業務量の過多による業務変更を行うなど、所定外労働の抑制にも努めました。

### ②職員の健康管理

本年度は、法人事務局、法人産業医とも連携を行い、様々な理由により休まなければならないようになった職員に対して、現場職員、施設産業医と協力しながら職場復帰に向けたプログラム等を個別に作成し、一日でも早く職場に復帰できるよう努めました。

職員の健康診断につきましては100%の受診を目指した取り組みを行い、達成することが出来ました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (1) 特別養護老人ホーム

#### ①相談

「豊寿荘」と「永寿園とよなか」とがお互い協力関係を築き、情報の共有や相互ベッドの活用をしながら、より緊急性の高い利用者の受け入れを行い、地域住民の方々の安心、安全の確保を進めてきました。

特養入居者には、定期的なカンファレンスを行い、職員と家族が顔を合わせる事で、つながりを感じ、より強固な信頼関係を築けるよう努めました。

永寿園とよなかにつきましては、地域住民の代表者や地域包括支援センター管理者、市町村職員等をメンバーとした運営推進会議の実施、地域住民をメンバーとした入所選考委員会など、開所当時より地域の方々の協力を得ることができました。

### (2) 軽費老人ホーム

春・秋のバスツアー、少人数での外食会、初詣などを実施し、季節を感じていただける行事を年間通じて実施しました。

また、機能訓練の充実にも力を入れ、各階ごとに食事前の脚力アップ体操の実施や、北摂地域棒サッカー大会及び日本棒サッカー大会第1回大会にも参加し、スポーツの楽しさをチームで共有し、地域や施設の利用者との交流を図ると共にADL向上に努めました。

### (3) 短期入所生活介護



### ①相談

定期的な空き情報を各居宅介護支援事業所に案内することで、空きベッドを有効的に活用し、一人でも多くの利用者に利用してもらえるよう努めました。

「豊寿荘」「永寿園とよなか」の空きベッド管理を行うため、双方の担当者がベッドの空き状況が分かるようパソコンシステムの導入を行い、豊寿荘が満床の場合は永寿園とよなかの利用を勧める等で空床を埋められるよう協力しました。

### ②介護

日々のサービスの向上はもちろんのこと、機能訓練指導員（PT）の巡回で個別リハビリテーションを行い、家族や利用者のニーズに対応できるよう努めていくことにより、いつも笑いや楽しい雰囲気にあふれ、職員との良好な関係性が構築できました。

### （4）訪問介護

豊中市立永寿園とよなか養護老人ホームの開所に伴い、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護利用者に対するサービスの提供が開始され、専任のサービス提供責任者を設置し、きめ細やかなサービスを迅速に展開できるよう取り組みを行った結果、サービス利用時間が大幅に拡大しました。

また、登録ヘルパーの退職が続きましたが、サービス提供責任者による的確な調整により利用者へのサービスを安定的に提供することができました。

### （5）通所介護

平成25年度は、デイサービスの利用者を少数単位でグループを形成し、レクリエーションを実施した結果、これまでは単に同じテーブルに座っているといった関係から、助け合ったり、協力し合う姿が見られるようになり、各テーブルに会話が溢れるようになりました。

利用拡大については、空き状況を連絡するなど、利用前から利用者との信頼関係を築くことにより新規利用者の定着に努めました。

### （6）居宅介護支援事業

今年度は、週1回の事例検討会において、個々のケアマネジメント技術を高めていくことにより、皆が支援困難事例に対する対応が出来るようになりました。

また、国立循環器病研究センターにおいて担当した事例についてパネラーとして発表を行い、近隣の有料老人ホームへの出前講座も実施しました。

## 軽費老人ホーム万寿荘

### 1. 事業の執行概要

平成 25 年度は「男性料理教室」「みんなの居場所」「いけてるキャンパス」の他に6月より「介護予防教室」を万寿荘、敬老会館合同で10回行いました。地域ボランティア、各関係機関の協力を頂き、万寿荘、敬老会館の持っている知識を地域に発信することで地域貢献に努めました。

サービス面では、居宅介護支援員による個別援助計画を基本とし、入居者の皆様に積極的に関わり、入居者個々の過ごし方、暮らし方が示せる個別援助計画を立案・実施しました。又、入居者生活支援サービスを切れ目なく提供するため、ヘルパーやデイサービスの連絡帳を活用し情報を共有することでサービスの向上に努めました。

人材育成については、内部研修や法人研修に参加すると共に、「おもてなしの心」等の外部研修にも、積極的に参加しスキルアップに努めました。

施設の役割については、職員が「ふれあいサロン」へ参加し、地域の高齢者、民生委員、地域包括支援センター（ケアマネ）と交流を持ち情報交換を行うことで、万寿荘、敬老会館をより知って頂く機会となりました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

#### (1)「地域と共に、介護予防を！」

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域ボランティアとテーマごとに連携を図り、「介護予防教室」を「体操」「感染症」「口腔機能向上」「認知症」「閉じこもり防止」の5つのテーマで平成25年6月より10回行いました。

<取り組み内容>

- 6月 健康体操
- 7月 感染症予防（食中毒防止に向けて）
- 8月 口腔機能向上（口腔歯科衛生）
- 9月 太極拳
- 10月 閉じこもり防止について(美味しく食べ、楽しく食事が出来るには)料理教室
- 11月 認知症ケアサポート研修
- 12月 笑いヨガ
- 12月 感染症予防、インフルエンザ・ノロウイルス防止に向けて（手洗い・うがい）
- 1月 歌って生き生き
- 2月 医療・介護何でも相談

10回の「介護予防教室」を振り返って

結果として、皆で一緒に取り組む参加型が好評で多数の参加がありました。一方、継続して参加される方が少なく、今後、どの様にすれば継続して参加して頂く事が出来るか、課題として残りました。

目標達成率は、87%でした。

### 3. 施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

食堂の電気許容量オーバーでブレーカーが落ちることが度々ありました。安全に利用できる様、電気回線工事を行いました。

揚水ポンプがかなり古く、水漏れが発生したため不安定でした。取替工事を行うことで常時水の安定供給ができました。

利用される市民の憩いの場である敬老会館を快適空間として提供出来るよう老朽化

したロビー・応接室のカーペットの張り替え、全スリッパの交換、風呂用品一式の交換、ボイラー・受水槽の修繕を行いました。

## (2) 事業管理について

### ①経営

経営会議において、予算執行状況を共有することで、カラーコピー使用量削減や光熱費削減等、厨房と連携を図り経費削減ができました。

又、入院者に対して面会やカンファレンスを適宜実施し、きめ細やかな情報を収集することで、スムーズな入退所に努めました。

但し、厨房設備の老朽化に伴い、衛生面を考慮し修繕を行いました。

毎月、池田市広報紙に「いけてるキャンパス」「みんなの居場所」の掲載を行い、来館人数増に努めました。「いけてるキャンパス」では、内容を充実させた事により参加者100人を超える月もあり、全体の参加人数が増えました。

友愛連の理事会に毎月参加し「いけてるキャンパス」のPRを行いました。又、利用者アンケートに協力して頂き、ニーズの掘り起こしを行いました。

### ②危機管理

ノロウイルス、インフルエンザの初期対応フローチャートを作成すると共に、万が一に備えて、誰もが分かるよう対応策を一覧表にしました。また、手指消毒液をアルコールからノロウイルスやインフルエンザに効果があるものに変更したことで、感染症発症は1人もありませんでした。

転倒事故防止については、最善の注意を払っていましたが重大事故が2件発生しました。そのため、なお一層万全を期すため「手摺りの設置」をしました。また、段差のある所に色付きテープを貼る事で注意喚起を行いました。

## (3) 労務管理について

### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

管理者による打刻時間の定期的な確認をしました。また、勤務予定時間との乖離が生じた場合、職員への面談を実施しました。その結果、業務改善を図ると共に職員全員で協力し合う事で緊急時以外の残業ゼロを達成しました。

## 4. 事業・サービスの推進

### (1) 老人福祉センター

今年度で指定管理満了をむかえるにあたり、次期の指定管理公募に向けて利用者のニーズを把握する利用者アンケート、市の意向聞き取り調査、地域住民の聞き取り調査、当法人の老福センターの自主事業の情報収集や意見交換を行い、「旭丘総合福祉エリア構想」の提案を行いました。選考の結果、引き続き指定管理を受けることになりました。

## 軽費老人ホーム河南荘

### 1、事業の執行概要

平成25年2月より定員を90名とし、今年度も安定的な経営を維持するために定員維持に努めました。入所希望者の申込み状況については、広報活動により関連事業所・周辺自治体からの入所に関する問い合わせ、ご本人やご家族からの相談や見学依頼もあり、その都度、誠実な対応を行いました。

入所選考については施設の役割を踏まえ、低所得者や生活困窮者、独居生活の継続が難しい方などを積極的に受け入れました。金銭管理が難しく、家族の支援が期待できない入所者については成年後見人制度や各自治体の日常生活自立支援事業、社会福祉法人減免制度を活用し、安心して生活していただける様に支援しました。また、入所者の高齢化に伴い介護が必要となった入所者に対しては、各居宅サービス事業所との連携を強化するとともに、近隣にある美原荘から配置された河南荘専属のサービス担当責任者、ヘルパーと密接に連携し、迅速なサービスの導入による生活支援の充実を行いました。

経営面では平成26年度の消費税増税を想定し、コストの削減見直しにも積極的に取り組み、効率の良い支出を行いました。また、適切な健康管理、入退所管理により安定した収入を維持する事ができました。

建物の老朽化に対しては、大規模な補修修繕は行わず、居室のエアコンや窓枠などの補修程度としました。これからも随時補修箇所が発生する事が考えられますので計画的に実施していきます。

低所得者対象の就労支援事業として、入所者4名がNPO法人「なにわ和楽日の会」と雇用契約を締結し、美原荘の車椅子洗浄作業を7回実施しました。この事業は、入所者の生きがい支援の一環として今後も継続して実施していく予定です。

地域との交流も各地区の行事、河南町の介護予防事業として位置づけられている「介護予防講座」の開催など積極的に実施し、地域交流を図りました。

河南荘の入所者を対象に週4回実施している、生きがいサロン「白木の憩い」では手芸作品など創作活動を行い、10名程度の参加希望者がありました。完成した作品は河南荘文化祭等にて展示し、生きがい支援に繋げました。

### 2、平成25年度ステップアップ事業

#### (1) 接遇・人権向上事業

本事業の目標としては自己チェック表の数値を達成基準とし、年度当初に全職員が個々に設定したチェックリストの数値と年度末数値の差が20%以上を目標達成としました。接遇マナーと人権意識向上に向けた取り組みとしては、外部接遇研修への参加や接遇チェックシートの活用、接遇向上に向けた内部職員研修を実施しました。

また、年度中に中間評価を行い、目標達成できていない項目については、ポスター掲示による啓発活動や利用者アンケートを実施し、その検証を行いました。

結果的には残念ながら全職員の20%以上の達成には至りませんでした。今後も接遇や接遇人権意識の向上に向けた取組みを継続して実施していきます。

#### (2) 河南荘花いっぱい事業

今年度花いっぱい事業として、中庭の草刈りや草花を植える花壇の造成などを河南荘の園芸療法参加者と一緒に行いました。また、河南町老人クラブ連合会等地域のボランティアに来て頂き、草花を入所者と一緒植える取組みを行いました。

入所者を中心とした実践では、園芸の趣味がある方々に玄関付近や中庭の一部に季節の花などを植えていただきました。また、元農家の入所者が収穫された野菜の一部を調理し皆で味わうことができました。

この間の取り組みでは地域の方々の憩いの場として観賞していただくような大規模な緑化には至りませんでした。3月に河南町の「かなん環境マイスター事業」への会員登録が完了したため、次年度は環境マイスターとのコラボレーションで敷地内に季節の草花を植え、荘内緑化と同時に地球温暖化対策にも貢献していきたいと考えています。

### 3、施設の管理

#### (1) 建物・設備等の管理について

##### ①建物・設備のメンテナンス（修繕など）

今年度は玄関から居室棟の廊下階段部分までのカーペットに加え、喫煙所の床のタイルも防火防炎仕様のものに張替えを行いました。

また、永年の懸案となっていた下水浄化槽の撤去工事並びに新たな下水管工事を行い排水を直接流せる状態となりました。

安全に関する環境整備では、居室棟から浴室へ行く階段で片側しかなかった手摺りをもう片側にも設置し、安全に階段昇降が出来るようにしました。また、非常設備点検を受けた際、不備を指摘された非常灯設置場所については急ぎ非常灯を新たに設置し、安全な状況に改善しました。

さらに宿舎建物の一部屋を改修し、美原荘居宅介護事業所のヘルパーの待機所として活用することで支援体制を強化し、サービス利用の効率化、サービス内容の向上を行いました。

##### ②建物の衛生管理について

食堂のカウンターの破損が酷く、衛生上等に問題があるためカウンターの張替えを実施し衛生面と美観を損なわないようにしました。また、完全分煙を継続し、煙と臭いが漏れないように集煙器と換気扇のメンテナンスを行いました。

#### (2) 事業管理について

##### ①経営

今年度は在籍数 90 名についてその確保に努めましたが、7月のみ月初め 89 名となりました。また、入院者数も増加したことで平均在所者数も 96%となり、利用料収入の減収の要因となりました。支出の部分については、省力化、コスト削減に施設職員全員で取り組み、浄化槽撤去による下水料金の発生の影響も最小限となったため、光熱水費を中心に抑制する事ができました。

##### ②危機管理

毎月開催される「危機管理対策会議」において事故対策の評価・改善及び予防について調査分析しました。今年度発生した事故で特に目立つのが午前中の居室内での転倒事故であるため、今後はこの結果をもとに情報共有と重点的事故対策に役立てていきます。また、年度に3回の定期防災避難訓練に加え総合防災訓練を積極的に実施し、日頃から安全に対する意識を持てる環境を整えていきます。

防災対策としては、入所者全員に緊急用レスキューホイッスルを配布するとともに、全居室に防災用ヘルメットを設置し、有事の際に備えました。

##### ③サービスの維持・向上

介護保険施設ではないものの、入所者によっては生活支援が必要なケースも多くサービスの導入や調整が必要となってきた状況があります。

そのため、適切なニーズ把握を行うとともに法人内外の居宅介護支援事業所、介護保険事業所等と連携し、支援が必要な方の要介護認定情報の管理を行いました。また外部サービスのケアプランに連動した形で、利用者の個別援助計画（施設サービス計画）についても6カ月毎の見直し・作成をおこない、よりきめ細かなサービスを提供しました。

##### ④苦情解決

苦情解決委員会を計4回開催しました。第三者委員と連携し利用者からの相談内容や職員の接遇アンケート結果について報告し、公平な立場で助言・指導をしていただきました。個々

の苦情については、「苦情解決事業実施要綱」に基づき迅速かつ公平に対応する事ができました。毎月の入所者懇談会での入所者からの意見・要望、また投書箱への投書に対しても速やかに対応し、快適な環境への改善・サービスの向上へ繋げました。

#### ⑤個人情報

「個人情報保護規定」に従い利用者個々の情報管理については厳重に管理するとともに、ケースファイル保管棚の施錠・該当文章書類の整理と保管場所の徹底、確認を行いました。5年間保存についても管理を徹底し対象外となった書類については厳重保管の上、廃棄処理場へ持ち込み処分をおこないました。

各パソコンのセキュリティ管理については、一部閲覧制限を設け管理を行いました。入所者と入所者家族への個人情報同意書については今年度で全ての精査を終え完了しました。

### (3) 労務管理について

#### ①職員の勤務時間管理（所定外労働の抑制）

各職種の業務内容を精査し、勤務時間内に遂行できる体制作りに取り組み、所定外労働の抑制に努めました。また、タイムカードの打刻忘れ防止については、ポスターの掲示やアラームの活用等の取組みを行い、打刻忘れの減少に繋げました。

#### ②職員の健康管理

全職員の健康診断を実施しました。二次診断が必要な職員はなく産業医への報告もありませんでした。

労働災害事故が同作業中に2件発生し、事故内容を徹底調査し今後発生しないように作業マニュアルを作成し再発防止策を講じました。

## 4、事業・サービスの推進

### (1) 軽費老人ホーム事業

#### ①相談

多様なニーズに迅速に対応できるように職員間の連携を密にし、安心して生活いただけるように支援しました。また、各事業所や自治体との情報交換を深め、定員確保に努める事ができました。

#### ②介護・支援（事故予防含）

毎月1回、「危機管理対策会議」を開催し、事故原因を検証し職員全体に周知することで再発の防止に努めました。

公平性を担保しながら、施設サービス計画を踏まえ、必要に応じて適切な介護を計画的に提供しました。

#### ③健康管理（感染症対策含）

入所者に対しては定期検査（毎月1回）と嘱託医の健康相談（月2回）、健康診断（年2回）を実施し健康管理に努めました。また、近郊の医療機関2か所に毎週2回送迎サービスを実施し、スムーズに受診ができるように支援しました。今年度、嘱託医師に加え2箇所の協力医療機関と契約を行い、地域での医療体制を強化しました。

感染症予防については、入所者及び外来者への手洗いうがいの励行を徹底し、環境づくりに努め集団感染を防ぐことができました。

#### ④給食

毎月の給食会議で献立の見直しや味付け、行事食の決定など委託業者と積極的に意見交換を行い、より良い給食を提供できるようにしました。

嗜好調査とリクエストボックスにより、嗜好に合わせた食事を提供できるように取り組みました。

また、地産地消の食材を使った献立や、リクエスト食も取り入れて楽しく美味しい食事を

提供できるようにしました。お楽しみ会として、にぎり寿司バイキングを2回実施し好評を得ました。

#### 5、地域連携・社会貢献の推進

地域へ職員を講師として派遣し、介護予防講座を開催し地域の方々に参加していただきながら地域交流の場として交流を深めることができました。また、今年度も河南町地域包括支援センターの認知症サポーター養成講座を開催し、地域の介護予防の一環としての取り組みを行いました。近隣の小学生と春にサツマイモの苗を植え、秋と一緒に収穫を体験したり、七夕には一緒に七夕の笹に飾り付けをしました。幼稚園児・保育園児の方々には、ハロウィンやクリスマスの時季に来荘していただき、踊りや歌を披露していただきました。今年度から河南町文化協会「秋の文化祭典」に参加し、多数の作品を出品させていただくことができ、施設のPRと入所者の生きがい支援の実践が出来ました。

社会貢献事業については、今年度依頼がありませんでしたが、事例検討会等に参加し、迅速に対応出来るように努めました。

社会福祉法人減免制度については、在宅サービス利用者で対象となる入所者、家族に案内を行い、制度の周知を図りました。



## 事務局

### 1. 事業の執行概要

平成25年度は中長期経営計画推進プロジェクトチームと連携しながら、中長期経営計画の着実な推進を図ると共に、平成24年度に採択した実践的理念を法人全体で積極的に活用できるよう取り組んできました。また、各市町村から新たに公募のあった事業への参画について検討を行い、新規事業の受託及び指定管理事業の継続について受託することができました。人材確保の取り組みについては、パートタイマー・アルバイト職員の賃金改定等、職員待遇の改善を図りました。また人材育成については、研修推進室によって大阪府からの各種研修を着実に遂行するとともに、(仮称)OSJ研究・研修センターの構想についても具体的な検討を進めました。経費削減については、一括契約の更なる項目の実施に加え、書類のペーパーレス化を進め、目標とする経費削減を実現することができました。そして、新会計基準についても勉強会を行い、導入に向けて着々と準備を進めることができました。

### 2. 平成25年度ステップアップ事業

施設ケアプランがより適切な内容となるよう、施設介護支援専門員を中心に事例検討を重ねながらモデルケアプラン作成に取り組みました。ケアプランのポイントや手順をまとめた「ケアプランの手順書」についても作成することができました。

障がい者福祉サービスにおける理解を深める為の取り組みとして、毎月一回定期的に勉強会を開催し、法律の理解や障がい福祉サービスの具体的な内容の理解を深めることができ、光明の郷ケアセンターの指定管理及び豊中市新規事業の公募への提案に生かすことができました。

### 3. 事業内容

#### (1) 総務グループ

##### ①人材不足解消への取り組み

法人全体の共通課題として訪問介護員の確保が今年度も挙げられました。これらを解消するための取り組みとして、法人内の4施設で実施した介護初任者研修修了者の受講料について、一定の条件を満たせばその受講料を給付できるよう、検討しました。また、現在働いている職員の処遇を改善することで、少しでも長く働いてもらえるようパートタイマー・アルバイト職員の賃金アップへの検討を進め実施しました。

その他にも採用試験受験者にアンケートを実施した結果、居住地近くでの就職希望が多いことが分かり、その対応として、北摂、北河内、堺泉州の3つにブロック分けをし、職員募集を実施しました。また、今年度からスタートした推薦採用制度により、大阪府内3カ所の専門学校や短大からの新卒者を採用することができました。

##### ②職員の健康増進への取り組み

今年度は通勤災害の減少を図る取り組みとして、職員の交通安全に関する意識を高めることを目的とした車両の運転に関する取り扱いの制定の検討を行いました。実際に、通勤途上及び公用車運転中に本人の運転技術を原因とする交通事故、交通違反を起こした場合について、自動車教習所等が実施する安全運転講習の受講を義務付けることとしています。また、機能訓練指導員会議と連携しながら、厚生労働省の腰痛予防マニュアルの指針に基づき、「腰痛予防マニュアル」を作成しました。

##### ③リーダー養成研修の実施

優秀なリーダー職員の育成のため、主任級・総括主任級・科長級を対象とし、財務管理、人事・労務管理、運営管理、リーダーに必要なコミュニケーション力をテーマに講義を進め、最後に法人独自の検定試験を実施することで、研修の理解度合いを確認できました。

##### ④事務効率化と文書管理の見直し



継続している事務効率化の一環で、給与事務を見直すとともに、総務グループと経理グループで給与に関するデータを共有できるよう、システムを作成しました。また、ペーパーレス対策として平成24年度に導入した電子決裁及び電子文書管理システムについては、その活用を進め、事業変更届、委託契約、勤怠提出書類等、段階的にペーパーレス化を図ることができました。

#### ⑤個別研修の実施

平成25年度は入所系の介護職員を対象に「わたしプログラム」を実施しました。取り組み内容としては、各職員が個々に目標シートを作成し、自己の課題に対し意欲的に学習、研鑽しました。そのことによって、知識技術の向上だけでなく働く上でのモチベーションのアップにもつながりました。また、個人目標の進捗状況を確認し助言するアドバイザーを選任することで、より効果的に研修に取り組みました。

#### ⑥「研修センター」設置への準備

センター機能や指導者及びスタッフ体制について具体的な計画を作成し、設置準備を進めました。

#### ⑦より良い認知症ケアを実践するための研究

より良い認知症ケアの実践をするため、当法人と大阪大学大学院人間科学研究科臨床死生学・老年行動学教室とが共同し、認知症高齢者の行動や職員の関わり方、職員のモチベーション向上に向けての研究を進めました。

今年度の取り組みとしては、高槻荘と美原荘において、認知症高齢者の様々な行動・心理症状の事例を積み上げ、その対応方法などの分析を行っています。

また、現在は大阪大学・OSJ認知症ケア研究会において認知症利用者の分析（アセスメント）ツールを使用し、利用者との交流を図りながら、利用者の性格、生活歴、生活習慣、嗜好、集団への適応力、個人の特徴などの情報を収集しており、それらの情報を細かく分析したうえで、ケアプランを立案し支援しています。

#### ⑧実習指導者の育成

実習指導者専任化については、四條畷荘に加えて今年度は春日丘荘、光明荘で実施することができました。また、指導内容の標準化を図るため、平成24年度に作成した介護福祉士等実習指導マニュアルを活用し、各施設の実習担当者に向けて研修を実施しました。

### (2) 経理グループ

#### ①法人資金計画の更新

中長期経営計画にて策定された整備計画・保全計画については、堺市、高槻市、豊中市において新規事業を受託したことから、必要な資金等について、企画指導グループと連携を図りながら随時見直しを行いました。

#### ②法人一括契約の拡大

今年度はすでに実施している一括契約に加えて、車輛リース、カーテンリースの一括契約を実施しました。削減効果としては前年度比、車輛リースが32%、カーテンリースが22%の削減となり、それぞれ5%としていた削減目標を達成しています。

#### ③新会計基準の導入準備

新会計基準導入に向けて、2ヶ月に1度の主事会議で勉強会を実施し、その理解を深めながら、準備を行いました。また、今年度は新しい経理規程の策定にとりかかり経理規程(案)を完成させました。新しい経理規程については、平成27年度から実用する予定です。

### (3) 企画指導グループ

#### ①サービス内容の向上への取り組み

##### ア. 機能訓練

機能訓練指導員会議にて、過去に法人内で発生した重大事故のデータから人的要因による

事故についてピックアップし検証を行うと共に、再発防止に向けて適切なポジショニングや移乗介助方法等について、機能訓練指導員から各施設で個別に伝達・周知しています。また、厚生労働省の腰痛予防マニュアルの指針に基づき、法人衛生委員会と連携しながら「腰痛予防マニュアル」を作成しました。

#### イ. 事故防止

事故防止の取り組みとしては、重大事故の集計を毎月事務局で行い、各施設において発生した事故件数及びその対応方法について、法人全体で共有し、各施設で重大事故削減の意識が持てるよう、施設ごとに事故削減のための月間目標を定めて取り組みを進めました。

#### ウ. 障がい者福祉サービスの知識向上

年々増え続ける障がい者のニーズについて、そのサービスの理解を深めるため、各種障がいの制度理解を目的とした勉強会をOSJミーティングにおいて実施しました。

### ②施設整備についての取り組み

#### ア. 東大阪養護老人ホーム、白島荘の建替え工事の管理と引越し

東大阪養護老人ホーム新築工事・白島荘新築工事においては、工事が円滑に進むよう工事請負業者との調整を行うとともに、東大阪市・大阪府との補助金手続きについても担当課と調整し予定どおりの補助金交付を受けることができました。

#### イ. 小中規模・建物・設備整備について

各施設の建物・設備のメンテナンスについては、美原荘、春日丘荘において特殊浴槽の老朽化が著しかったことから、入れ替え工事を行っています。

### ③新規事業の検討

新規事業については、堺市、高槻市において新たに地域密着型サービス事業、豊中市においては障がい者・高齢者支援サービスの公募があり、それぞれの公募について取り組む意義を検討しながら応募を行いました。

### ④NPO 法人なにわ和楽日の会との連携

NPO 法人が実施する家族代理サービスについては、法人内の訪問介護事業所とのサービス連携がスムーズに行われるよう必要な調整や支援を行いました。また、NPO 法人において、今年度から実施した自立支援事業（就労支援）についても、法人内の施設において、車いす洗浄業務を NPO 法人に委託するなど連携を図ることができました。

### ⑤非常災害対策の推進

地域の独居高齢者の安否確認や職員の参集など、昨年度の総合防災訓練の結果を踏まえ、初動体制等危機管理体制、情報収集・伝達をより具体的に行い、法人内施設間での人的・物的支援体制について確認をしました。

また、訓練内容が実践的になるように、消火・避難訓練だけでなく独居高齢者安否確認訓練、二次避難者受け入れ準備訓練、職員参集訓練、大阪府障害者福祉事業団との連携を新たに訓練内容に追加し実施しました。

# VI 資料

1. 入所者・利用者状況

(1) 入退所状況

特養については、家庭から入所するケースが最も多く、次に多い介護老人保健施設からの入所と合わせて全体の30%程度を占める結果となっており、家庭における身体状態の悪化や介護老人保健施設に入所するも、在宅復帰が困難になったケースが多かった事が考えられます。退所理由については、死亡及び入院が全体の95%を占めており、施設における看取りも含めた死亡や、入院後施設に戻られることなく退所になられる方が大半であることが解ります。待機者数については、特養をはじめ、養護・軽費・グループホームにおいて昨年度より増加しており、高齢者福祉施設におけるニーズはますます高まっています。

区分	入所														退所										年度末人員			年度末待機者数								
	家庭		特養		老健		病院		有科老人ホーム等		その他		累計		死亡		入院		家族引取		施設替え		その他		累計			累計								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
特養	美原荘	5	14	0	0	0	4	0	3	0	0	0	2	5	23	28	5	18	0	6	0	0	0	1	0	0	5	25	30	24	95	119	56	63	119	
	春日丘荘	0	19	2	4	1	14	0	1	0	1	0	1	3	40	43	4	17	6	13	0	0	0	1	0	1	10	32	42	16	107	123	78	123	201	
	春日丘荘「彩の家」	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6	10	19	29	18	48	66	
	四條畷荘	2	9	0	0	4	6	0	3	1	2	1	2	8	22	30	4	12	3	10	0	0	0	0	1	0	8	22	30	33	87	120	75	155	230	
	光明荘	4	9	0	0	3	9	3	4	1	0	1	2	12	24	36	8	10	6	11	0	1	0	0	0	0	14	22	36	15	105	120	23	48	71	
	高槻荘	3	7	0	0	2	8	0	7	0	2	0	0	5	24	29	3	23	2	1	0	0	0	0	0	0	5	24	29	16	83	99	94	85	179	
	白鳥荘	3	12	0	0	1	10	4	2	1	1	0	1	9	26	35	4	8	5	14	0	0	1	4	0	0	10	26	36	14	74	88	56	116	172	
	豊寿荘	4	6	0	0	0	3	0	2	0	1	0	4	4	16	20	4	7	5	4	0	0	0	0	0	0	9	11	20	9	41	50	80	136	216	
	永寿園とよなか	8	15	0	0	2	7	2	3	2	3	0	0	14	28	42	3	5	2	2	0	0	1	0	0	0	6	7	13	8	21	29	49	83	132	
	計	32	94	2	4	13	61	9	25	5	10	2	12	63	206	269	36	104	30	61	0	1	2	6	1	1	69	173	242	145	632	777	529	857	1,386	
養護	四條畷荘	一般	2	5	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	5	5	10	0	1	1	2	1	0	0	0	0	2	3	5	16	20	36	0	1	0	
		特定	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	1	0	0	0	5	0	0	1	7	8	4	10	14	0	0	0
	東大阪養護	一般	4	7	0	0	0	0	5	3	0	0	2	1	11	11	22	3	0	1	1	1	1	0	2	1	1	6	5	11	56	55	111	2	5	0
		特定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	5	1	0	0	7	4	11	13	26	39	0	0	0
	永寿園	一般	0	0	1	1	9	15	0	0	0	0	0	0	10	16	26	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	14	27	41	0	0	0
		特定	0	3	1	3	6	16	0	0	0	0	0	0	7	22	29	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	3	2	5	7	21	28	0	0	0
	とよなか	一般	6	12	1	1	9	15	7	3	0	0	3	1	26	32	58	3	2	2	4	2	1	0	2	2	1	7	10	17	86	102	188	2	6	8
特定		0	5	1	3	6	17	0	0	0	0	0	0	7	25	32	2	3	1	4	0	0	7	6	0	0	10	13	23	24	57	81	0	0	0	
計	一般	6	12	1	1	9	15	7	3	0	0	3	1	26	32	58	3	2	2	4	2	1	0	2	2	1	7	10	17	86	102	188	2	6	8	
特定	0	5	1	3	6	17	0	0	0	0	0	0	7	25	32	2	3	1	4	0	0	7	6	0	0	10	13	23	24	57	81	0	0	0		
軽費	和風荘	一般	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	10	1	0	1	3	1	1	0	0	0	0	3	4	7	8	32	40	0	0	0	
		特定	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1	1	1	2	0	0	1	0	0	3	3	6	13	17	30	1	2	3	
	豊寿荘	一般	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	12	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	3	4	7	43	50	81	234	315	
		特定	1	8	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	11	12	0	0	1	6	0	1	1	9	0	0	2	16	18	4	46	50	41	120	161
	万寿荘	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	7	0	0	2	2	0	0	0	3	0	0	2	5	7	15	35	50	6	23	29		
	河南荘	3	6	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5	7	12	1	0	2	2	0	1	1	4	0	0	4	7	11	33	57	90	2	2	4		
	計	一般	11	26	0	0	0	1	0	0	2	1	0	13	28	41	2	1	5	7	1	2	2	9	0	0	10	19	29	63	167	230	89	259	348	
特定	3	9	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	12	15	1	1	2	8	0	1	2	9	0	0	5	19	24	17	63	80	42	122	164		
グループホーム	春日丘荘	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	3	0	9	9	3	25	28		
	グループホーム	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	9	9	0	6	6		
	白鳥荘	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	9	9	0	6	6		
	計(GH)	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6	6	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	6	6	0	18	18	3	31	34		
合計	52	150	4	8	28	96	16	28	7	13	5	14	112	309	421	44	111	40	88	3	5	13	34	3	2	101	240	341	335	1,039	1,274	665	1,275	1,940		

(平成25年度中)

(2) 年齢別状況

特養においては後期高齢者の割合が昨年度より1ポイント程上昇し90%を超えました。100歳以上の入居者については17名となりましたが、昨年度とは変化はない状況です。後期高齢者のうちの男女比率については男性16%、女性84%となり、女性の入居者が圧倒的に多い状況となっております。特養の平均年齢は84歳から87歳となり、養護老人ホームにおいては一般利用者が76歳から80歳、特定利用者が80歳から83歳となっていることから、加齢に伴い介護サービスが必要な状況となっております。一方で、職員による直接的な介護サービスの無い、軽費老人ホームA型においては平均年齢が82歳以上となっており、今後その高齢化への対応について検討する必要があります。

(単位:人)

区分	前期高齢者								後期高齢者										平均年齢 歳 月数	最高年齢 歳 月数				
	60歳以下		60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95～99歳				100歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			男	女		
特養	美原荘	0	1	1	0	2	0	2	2	4	8	5	16	7	29	1	16	2	19	0	4	87歳 8ヶ月	100歳 6ヶ月	
	春日丘荘	0	1	0	1	2	2	1	4	1	8	7	18	4	28	0	26	1	17	0	2	86歳 4ヶ月	101歳	
	春日丘荘「彩の家」	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	5	5	3	0	6	2	3	1	0	88歳 5ヶ月	108歳	
	四條畷荘	0	0	2	0	2	1	7	3	10	9	5	14	3	24	1	26	2	10	0	1	84歳 6ヶ月	100歳 3ヶ月	
	光明荘	0	0	0	2	0	6	2	10	3	8	6	20	2	22	1	29	0	9	0	0	84歳 6ヶ月	99歳 2ヶ月	
	高槻荘	0	0	0	0	0	2	3	2	3	7	5	15	3	25	2	18	0	11	0	3	86歳 8ヶ月	103歳 9ヶ月	
	白鳥荘	0	0	0	0	0	3	2	0	1	5	6	16	2	26	2	19	2	4	0	0	86歳 3ヶ月	99歳 11ヶ月	
	豊寿荘	0	0	0	0	0	0	2	3	0	2	3	10	4	10	0	8	0	3	0	5	86歳 6ヶ月	105歳	
	永寿園とよなか	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	5	9	1	4	0	2	0	1	87歳	102歳	
	計	0	2	3	3	6	16	19	24	23	50	40	116	35	176	8	152	9	78	1	16	86歳 5ヶ月	102歳 2ヶ月	
割合	9.4%								90.6%															
養護	四條畷荘	一般	0	0	0	0	0	8	2	3	2	2	8	4	7	0	1	0	0	0	0	77歳 5ヶ月	93歳 5ヶ月	
		特定	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	1	3	1	2	0	0	81歳	98歳 1ヶ月	
	東大阪養護	一般	0	0	3	0	11	7	15	9	14	14	10	10	3	9	0	4	0	1	0	1	76歳	100歳
		特定	0	0	0	0	1	2	1	3	3	1	3	11	2	5	2	1	0	3	1	0	83歳	104歳
	永寿園とよなか	一般	0	0	0	0	1	0	2	2	7	8	4	7	0	6	0	3	0	1	0	0	80歳 5ヶ月	96歳 4ヶ月
		特定	0	0	0	0	1	0	4	1	5	4	5	1	5	0	2	0	0	0	0	0	80歳 9ヶ月	92歳 10ヶ月
計	一般	0	0	3	0	12	7	25	13	24	24	16	25	7	22	0	8	0	2	0	1	77歳 11ヶ月	96歳 7ヶ月	
	特定	0	0	0	0	1	4	2	7	4	7	8	16	3	12	3	6	1	5	1	0	81歳 7ヶ月	98歳 4ヶ月	
軽費	和風荘	一般	0	0	0	0	2	0	2	0	2	4	11	4	7	0	8	0	0	0	0	84歳 10ヶ月	92歳 2ヶ月	
		特定	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	2	3	4	5	3	3	0	2	0	1	85歳 10ヶ月	102歳 11ヶ月
	豊寿荘	一般	0	0	0	0	0	0	1	2	6	4	11	1	12	0	10	0	3	0	0	85歳	98歳 3ヶ月	
		特定	0	0	0	0	1	1	0	0	6	1	6	1	16	1	11	0	6	0	0	87歳 2ヶ月	99歳 11ヶ月	
	万寿荘	0	0	0	1	3	0	2	1	3	7	5	7	1	9	0	9	0	2	0	0	82歳 5ヶ月	96歳 5ヶ月	
	河南荘	0	0	0	0	2	1	7	5	10	9	8	8	4	14	2	14	0	6	0	0	82歳 7ヶ月	99歳 4ヶ月	
計	一般	0	0	0	1	5	3	9	9	15	24	21	37	10	42	2	41	0	11	0	0	83歳 9ヶ月	96歳 6ヶ月	
	特定	0	0	0	0	1	1	1	0	3	9	3	9	5	21	4	14	0	8	0	1	86歳 6ヶ月	101歳 5ヶ月	
グループホーム	春日丘荘 グループホーム	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	2	0	2	0	1	0	0	86歳 1ヶ月	95歳		
	白鳥荘 グループホーム	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	0	2	0	1	0	0	84歳 8ヶ月	96歳 10ヶ月		
	計 (GH)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	4	0	4	0	2	0	0	85歳 5ヶ月	95歳 11ヶ月		
合計	0	2	6	4	25	32	56	54	69	114	88	209	60	277	17	225	10	106	2	18	83歳 7ヶ月	98歳 6ヶ月		

(3) 居住地別状況

特養については、昨年度同様に所在市町村・その他市町村の圏域内からの入所が90%を超えています。東大阪養護老人ホーム、養護老人ホーム四條畷荘については、圏域外の措置者も多く、所在市町村以外からの信頼を得られている状況がわかります。一方で、永寿園とよなかについては市立施設であることから、ほとんどが豊中市内在住の方となっており、市内におけるセーフティネットの役割を果たす重要な施設との位置づけとなっていることがわかります。

施設名 (圏域ブロック)	所在市町村		その他市町村		合計	
			圏域内	圏域外		
特 養	美原荘	堺市	91	28	0	119
	春日丘荘	茨木市	98	7	18	123
	春日丘荘「彩の家」	茨木市	29	0	0	29
	四條畷荘	四條畷市	76	33	11	120
	光明荘	和泉市	75	43	2	120
	高槻荘	高槻市	86	3	10	99
	白島荘	箕面市	61	16	11	88
	豊寿荘	豊中市	41	5	4	50
	永寿園とよなか	豊中市	29	0	0	29
	養 護	四條畷荘	四條畷市	4	41	5
東大阪養護		東大阪市	80	0	70	150
永寿園とよなか		豊中市	65	3	1	69
軽 費	和風荘	堺市	26	22	22	70
	豊寿荘	豊中市	91	6	3	100
	万寿荘	池田市	40	9	1	50
	河南荘	河南町	8	35	47	90
合計		900		456	1,356	

(平成26年3月31日現在)



(5) 要介護度状況

①特別養護老人ホーム 要介護度状況

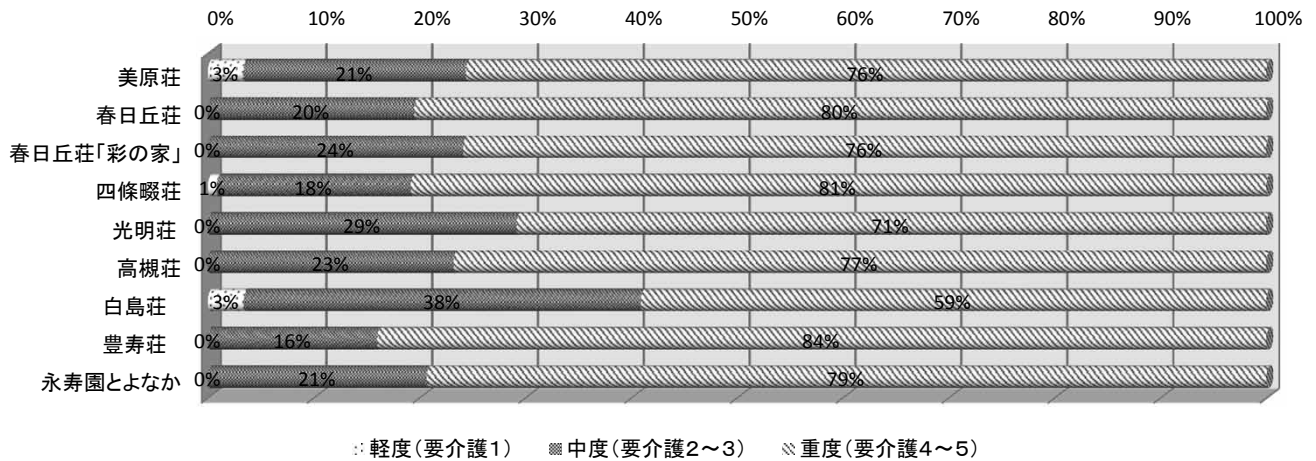
要介護度別の割合について、要介護1の軽度が1%、要介護2・3の中度が23.6%、要介護4・5の重度が75.4%、平均介護度が4.09となっています。昨年度より軽度が1.2ポイント減少、中度が1.2ポイント増加、重度が増減なし、平均介護度は0.05上昇となり、若干重度化の傾向となりました。

(単位:人)

区分	介護度					計	平均要介護度	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
特	美原荘	4	12	13	47	43	119	3.95
	春日丘荘	0	1	23	48	51	123	4.21
	春日丘荘「彩の家」	0	3	4	7	15	29	4.17
	四條畷荘	1	6	16	37	60	120	4.24
	光明荘	0	6	29	53	32	120	3.93
養	高槻荘	0	1	22	28	48	99	4.24
	白島荘	3	9	24	23	29	88	3.75
	豊寿荘	0	1	7	16	26	50	4.34
	永寿園とよなか	0	1	5	13	10	29	4.10
	計	8	40	143	272	314	777	4.09

(平成26年3月31日現在)

特養要介護度比較





②養護・軽費 要介護度状況

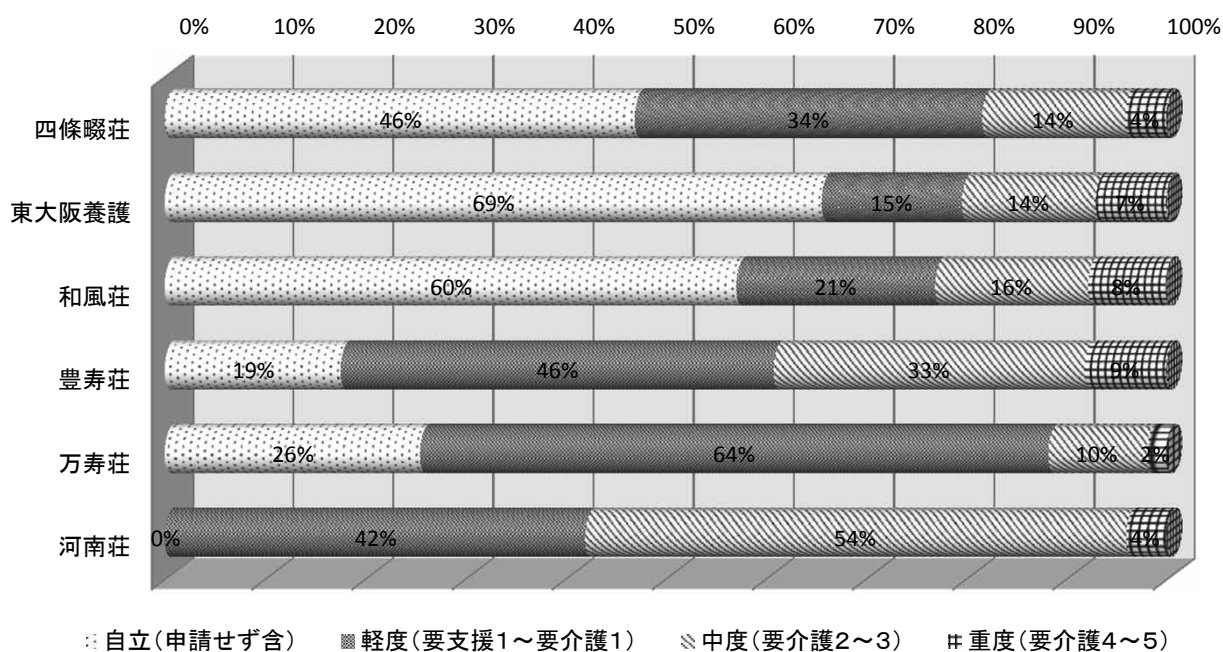
軽費老人ホームA型の万寿荘・河南荘においては、要介護1から5の入居者が定員の42%を占める状況となっており、その割合は昨年度の同時期より9ポイント上昇しており、A型における入居者の重度化が進んできていることがわかります。

(単位:人)

区分	自立 (申請せず含)	介護度					計	平均要介護度				
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3			要介護4	要介護5		
養護	四條畷荘	一般	23	2	3	7	0	1	0	0	36	0.38
		特定	0	0	1	4	6	0	1	2	14	2.21
	東大阪養護	一般	103	3	1	4	0	0	0	0	111	0.06
		特定	0	0	0	14	14	7	4	0	39	2.03
	永寿園	一般	35	1	2	2	1	0	0	0	41	0.16
		とよなか	0	0	0	12	7	7	2	0	28	1.96
	計	一般	161	6	6	13	1	1	0	0	188	0.14
		特定	0	0	1	30	27	14	7	2	81	2.04
軽費	和風荘	一般	13	4	7	10	5	0	0	1	40	0.84
		特定	0	0	0	11	12	6	0	1	30	1.93
	豊寿荘	一般	13	11	13	8	4	1	0	0	50	0.72
		特定	0	1	1	19	20	7	1	1	50	1.81
	万寿荘		11	15	9	11	3	0	0	1	50	0.73
	河南荘		22	10	13	23	14	5	3	0	90	1.05
	計	一般	59	40	42	52	26	6	3	2	230	0.87
		特定	0	1	1	30	32	13	1	2	80	1.85

(平成26年3月31日現在)

養護・軽費要介護度比較



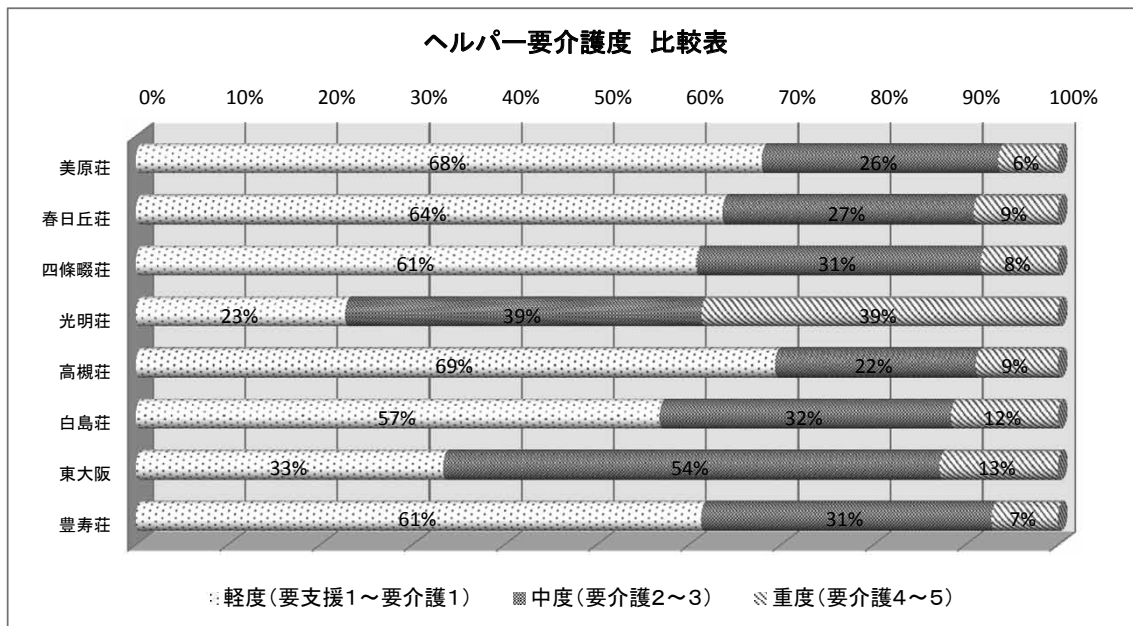
### ③ヘルパー 要介護度状況

内訳について、要介護1が最も多く25%、続いて要介護2の20.7%、要支援1の18.5%となっております。最も少ないのが要介護4で4.3%、次いで要介護5の5.8%となりました。軽度の方の利用が多く、重度の方の利用は少ないという傾向が顕著に現れましたが、光明荘においては中度と重度で全体の8割を占める結果となりました。痰吸引が必要な重度利用者の受け入れを行うなど、医療ニーズを抱える利用者に対して積極的な支援を行った事が要因と考えられます。

(単位:人)

区分	登録者							計	平均要介護度
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
美原荘	15	13	46	23	5	3	4	109	1.45
春日丘荘	14	28	21	20	7	3	6	99	1.59
四條畷荘	21	17	35	28	9	5	5	120	1.57
光明荘	0	0	10	8	9	5	12	44	3.02
高槻荘	66	44	46	39	10	8	12	225	1.40
白鳥荘	18	21	15	20	10	3	8	95	1.73
東大阪	0	0	13	14	7	5	0	39	2.10
豊寿荘	35	34	42	37	20	7	6	181	1.55
計	169	157	228	189	77	39	53	912	1.62

(平成26年3月31日現在)



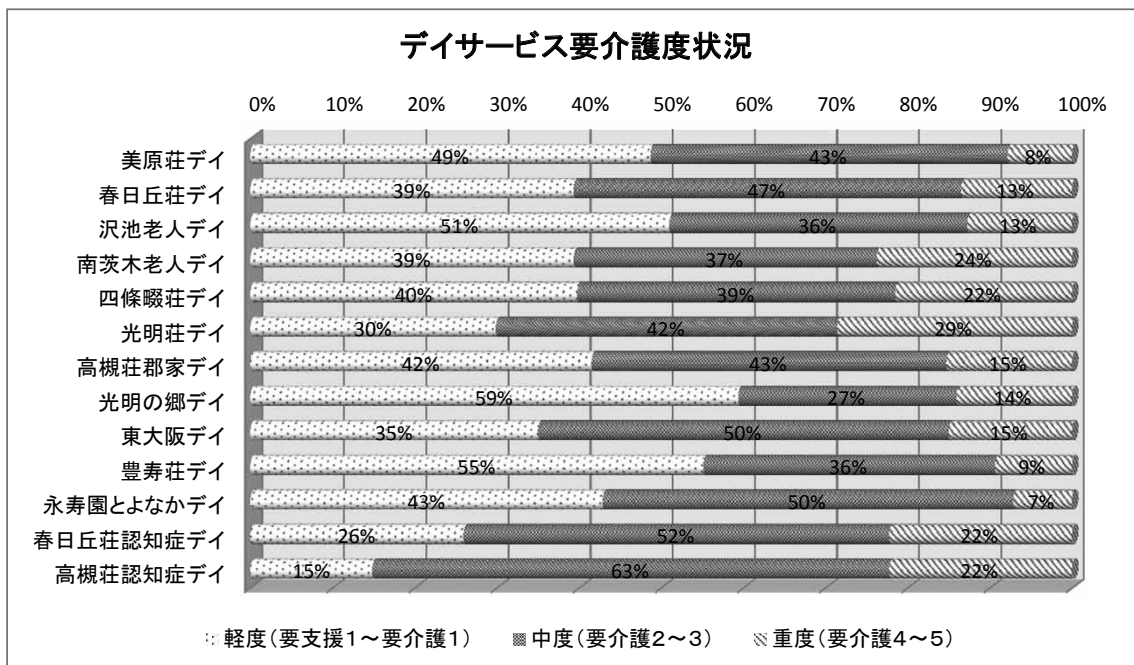
#### ④デイサービス 要介護度状況

内訳について、要介護1の方が最も多く27.8%、次いで要介護2の方が25.1%となりました。最も少ないのが要支援1の方で6.7%、次いで要介護5の方が7.2%となっています。傾向としては昨年度と大きな変化はなく、平均介護度については、0.13の微増でした。要支援1、要支援2の利用者が実人数の15%を占めている状況から、予防サービスの地域支援事業への移行についてどのような影響が出るのか市町村の意向の調査を進めながら対応していく必要があります。

(単位:人)

区分	登録者							計	平均要介護度
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
美原荘デイサービス	12	12	32	36	14	6	3	115	1.75
春日丘荘デイサービス	10	3	22	24	18	4	8	89	2.10
沢池老人デイサービス	4	10	38	19	18	8	5	102	1.95
南茨木老人デイサービス	4	14	30	29	16	16	13	122	2.30
四條畷荘デイサービス	5	5	27	25	11	10	10	93	2.22
光明荘デイサービス			23	13	19	8	14	77	2.70
高槻荘郡家デイサービス	8	14	27	35	16	7	11	118	2.08
光明の郷デイサービス	6	12	20	12	5	8	1	64	1.72
東大阪デイサービス	0	0	7	8	2	3	0	20	2.05
豊寿荘デイサービス	16	16	27	25	13	9	1	107	1.67
永寿園とよなかデイサービス	0	0	12	7	7	2	0	28	1.96
春日丘荘認知症デイサービス	1	0	6	8	6	4	2	27	2.46
高槻荘認知症デイサービス	0	0	4	7	10	3	3	27	2.78
計	66	86	275	248	155	88	71	989	2.08

(平成26年3月31日現在)



(6) 給食状況

特養利用者の栄養状態について、中リスクの割合が53%、低リスクが42.3%、高リスクが4.7%となりました。療養食加算については、法人の3施設において合計33ケースの算定を行う事ができましたが、今後も個々の利用者の疾病に合わせた個別ケアの一環として、特養だけでなく養護老人ホーム等においても食事における健康管理を進める必要があります。

区分	1人1日当たりの給食費(円)			栄養量				低栄養状態の判断基準			療養食加算算定者数		
	食材料費	管理費	合計	エネルギー(Kcal)	総蛋白質(g)	動物性蛋白質(g)	脂肪(g)	低リスク	中リスク	高リスク			
特養	美原荘	780	513	1,293	1,892	62.6	34.3	39.7	45	66	8	0	
	春日丘荘	784	597	1,381	1,514	55.1	28.5	38.2	50	67	6	14	
	春日丘荘「彩の家」	792	597	1,389	1,509	55.0	28.3	38.2	14	14	1	0	
	四條畷荘	841	539	1,380	1,550	63.0	34.8	35.7	54	57	9	0	
	光明荘	780	606	1,386	1,653	67.0	37.2	40.6	53	62	5	10	
	高槻荘	781	603	1,384	1,477	56.5	32.0	38.9	51	43	5	0	
	白島荘	800	607	1,407	1,522	60.6	33.6	42.8	42	44	2	9	
	豊寿荘	802	555	1,357	1,450	55.0	32.0	40.0	6	44	0	0	
	永寿園とよなか	874	456	1,330	1,608	64.0	35.0	43.0	13	14	0	0	
特養平均	804	564	1,367	1,542	59.9	32.9	39.7	36	46	4	4		
美護	四條畷荘	780	531	1,311	1,595	63.7	34.0	36.0					
	東大阪養護	901	561	1,462	1,687	63.7	34.1	42.1					
	永寿園とよなか	798	600	1,398	1,680	65.0	34.0	45.0					
	美護平均	841	546	1,387	1,641	63.7	34.1	39.1					
軽費	和風荘	780	459	1,239	1,638	65.7	36.8	40.0					
	豊寿荘	761	472	1,233	1,550	60.0	35.0	40.0					
	万寿荘	780	100	880	1,590	53.0	19.3	40.0					
	河南荘	780	100	880	1,608	64.0	35.0	43.0					
	軽費平均	775	283	1,058	1,597	60.7	31.5	40.8					
グループホーム	春日丘荘グループホーム	1003	597	1,600	1,514	55.1	28.5	38.2					
	白島荘グループホーム	800	620	1,420	1,522	60.6	33.6	42.8					
	グループホーム平均	902	609	1,510	1,518	57.9	31.1	40.5					
デイサービス	美原デイ	390	175	565	664	26.1	14.3	15.8					
	春日丘荘デイ	411	216	627	619	23.9	13.2	14.9					
	沢池デイ	411	143	554	619	23.9	13.2	14.9					
	南茨木デイ	411	209	620	619	23.9	13.2	14.9					
	四條畷荘デイ	350	248	598	685	26.0	13.5	15.4					
	光明荘デイ	492	180	672	659	26.2	14.4	16.4					
	郡家デイ	359	197	556	575	19.2	10.6	13.5					
	光明の郷デイ	411	155	566	619	23.9	13.2	14.9					
	東大阪養護デイ	418	187	605	672	25.7	13.9	16.0					
	豊寿荘デイ	476	185	661	650	25.0	17.0	13.0					
	永寿園とよなかデイ	329	0	329	720	28.0	15.0	16.0					
	デイサービス平均	405	172	578	646	24.7	13.8	15.1					
	小規模多機能	春日丘荘「彩の家」	792	597	1,389	1,562	55.9	28.9	38.2				
		白島荘「ひれもす」	792	465	1,257	1,562	55.9	28.9	38.2				
小規模多機能平均		792	531	1,323	1,562	55.9	28.9	38.2					

(平成26年3月31日現在)

備考

※低栄養状態のリスクの判断  
全ての項目が低リスクに該当する場合には、「低リスク」と判断する。高リスクにひとつでも該当する項目があれば「高リスク」と判断する。それ以外の場合には「中リスク」と判断する。BMI、食事摂取量、栄養補給法については、その程度や個々人の状態等により、低栄養状態のリスクは異なることが考えられるため、対象者個々の程度や状態等に応じて判断し、「高リスク」と判断される場合もある。

リスク種別	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5～29.9	18.5未満	高リスク
体重減少率 (体重測定/月)	変化なし(減少3%未満)	1ヶ月に3～5%未満 3ヶ月に3～7.5%未満 6ヶ月に3～10%未満	1ヶ月に5%以上 3ヶ月に7.5%以上 6ヶ月に10%以上
血清アルブミン値	3.6g/dl以上	3.0g/dl～3.5/dl以上	3.0g/dl未満
食事摂取量	76～100%	75%以下	
栄養補給法		経腸栄養法 静脈栄養法	栄養あり
補綴			

※療養食加算  
①利用者の病状等に応じて、主治の医師より利用者に対し疾患治療の直接手段として発行された食事せんに基づき、厚生労働大臣が定める利用者等に示された療養食が提供された場合  
②療養食の献立表が作成されている必要がある  
③加算の対象となる療養食は、利用者の年齢、病状等に対応した栄養量及び内容を有する治療食(糖尿病食、腎臓病食、肝臓病食、胃潰瘍食(流動食を除く)、貧血食、臓臓病食、脂質異常症食、痛風食及び特別な場合の検査食をいう)

(7) 定期健康診断状況

(単位:人)

	区分	在籍者数	受検者数	結核検診						尿定性検査						循環器心電図検診						
				検査結果			精検結果			受検者数	糖		蛋白		ウロビリノーゲン		受検者数	検診結果				
				異常なし	D2	D3	要精検	D2	D3		その他	-	+	-	+	+		+	異常なし	要精検	要治療	
特養	美原荘	120	118	78	27	3	10	10	0	0	120	116	4	98	22	6	1	119	109	10	10	
	春日丘荘	120	116	106	0	0	10	10	0	0	111	107	4	71	40	/	/	99	32	0	1	
	春日丘荘「彩の家」	29	28	26	0	0	2	1	0	1	29	27	2	26	3	/	/	25	7	0	0	
	四條畷荘	120	117	0	64	40	13	0	0	2	112	110	2	107	5	97	15	112	61	38	13	
	光明荘	120	116	112	0	4	49	0	0	0	111	110	1	101	10	/	/	70	34	20	16	
	高槻荘	99	99	71	12	9	7	0	0	7	99	96	3	89	10	/	/	98	90	0	8	
	白島荘	90	83	53	6	16	6	5	1	0	109	104	5	96	13	/	/	8	3	5	0	
	永寿園とよなか	29	26	14	12	0	0	0	0	0	15	12	3	11	4	6	1	22	6	16	0	
	豊寿荘	50	50	42	2	3	3	3	0	0	10	7	3	9	1	10	0	5	5	0	0	
養護	四條畷荘(養護)	春	50	48	47	0	0	1	0	0	1	45	45	0	43	2	45	0	19	19	0	0
		秋	50	48	47	0	0	1	0	0	1	45	45	0	45	0	45	0	0	0	0	0
	東大阪養護	春	150	150	147	0	0	3	0	0	0	150	141	9	71	79	148	2	0	0	0	0
		秋	150	150	147	0	0	3	0	0	0	150	135	15	129	21	149	1	0	0	0	0
永寿園とよなか	春	70	64	49	10	0	5	3	0	2	32	32	0	30	2	/	/	33	16	15	2	
	秋	70	64	49	10	0	5	3	0	2	54	54	0	52	2	/	/	52	34	15	3	
ケアハウス	和風荘	70	66	58	0	0	8	0	0	8	66	59	7	53	13	6	1	4	4	0	0	
	豊寿荘	100	100	96	0	0	4	4	0	0	89	74	15	79	10	/	/	13	5	5	3	
軽費	万寿荘	春	50	49	48	0	1	0	0	0	0	50	44	6	43	7	/	/	50	43	6	1
		秋	50	49	48	0	1	0	0	0	0	50	46	4	43	7	/	/	50	47	2	1
	河南荘	春	90	90	90	0	0	0	0	0	0	84	79	5	67	17	/	/	90	81	6	3
		秋	90	90	90	0	0	0	0	0	0	23	20	3	18	5	/	/	41	16	25	0
合計	1438	1320	1037	133	76	121	36	1	21	1554	1463	91	1281	273	512	21	910	612	163	61		

(平成25年度中)

注:在籍者数は定期健康診断受診時の人数

(8) 医療ケア実施状況

痰吸引施行者は昨年度の12名から31名と大幅に増加し、法人全体で医療ニーズへの対応の強化に取り組んだ成果が表れました。褥瘡処置者については増加している施設が多く、医療的な処置はもとより、体位交換や栄養状態の確認など、チームケアをより一層充実させていく必要があります。看取り介護実施者については、昨年度16名からより1名増の17名となり引き続き施設内での看取りケアへの取り組みが維持されている状況です。

区分	胃ろう・腸ろう形成者	鼻腔経管栄養者	痰吸引施行者	褥瘡処置者	看取り介護実施者	計	
特 養	美原荘	9	0	4	5	3	21
	春日丘荘	11	0	3	21	8	43
	春日丘荘「彩の家」	1	0	4	6	2	13
	四條畷荘	15	0	0	1	0	16
	光明荘	2	0	0	1	0	3
	高槻荘	7	0	3	4	0	14
	白鳥荘	8	0	12	6	1	27
	豊寿荘	1	0	0	2	0	3
	永寿園とよなか	4	0	5	7	3	19
	合計	58	0	31	53	17	159
養 護	四條畷荘	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
	東大阪養護	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
	永寿園とよなか	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
	合計	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
軽 費	和風荘	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
	豊寿荘	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
	万寿荘	一般	0	0	0	0	0
	河南荘	一般	0	0	0	0	0
	合計	一般	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0	0	0
グ ル ー プ ホ ー ム	春日丘荘 グループホーム	0	0	0	0	0	0
	白鳥荘 グループホーム	0	0	0	0	0	0
	合計 (GH)	0	0	0	0	0	0
合計	58	0	31	53	17	159	

(平成25年度中)

## 2. 事業実績状況

### (1) 施設サービス事業

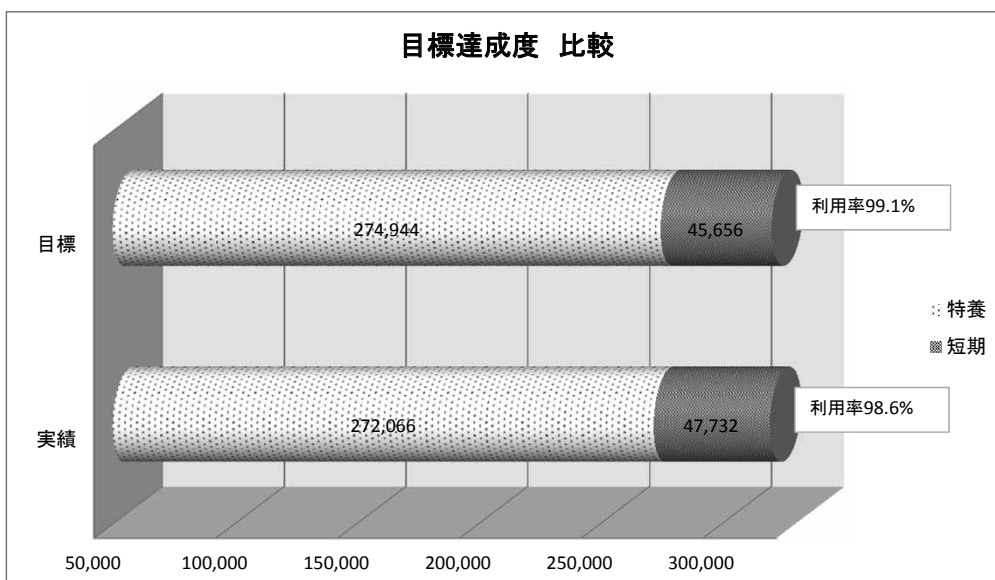
#### ①特別養護老人ホーム

各施設においては、感染症の大規模な流行等なく短期の空床なども有効活用していたと考えますが、25年度法人全体の目標利用率99.1%に対して実績は98.6%となり、わずかに目標達成には至りませんでした。利用者の体調不良による入院が大きな原因と考えられる事から、医療的ケアの充実による体調管理の強化にはより一層力を入れ、またスムーズな入退所の調整等も行っていく必要があります。

(単位:日)

施設名 (入所定員)	特養 (日数)	短期			計 (特養+短期)(日数)	利用率 (%)	
		介護保険 介護	(日数)				障害福祉サービス (日数)
			予防				
美原荘 (140名)	目標値	42,331	7,779	67	372	50,549	98.9%
	実績	42,712	7,625	125	337	50,799	99.4%
	達成率(%)	100.9%	98.0%	186.6%	90.6%	100.5%	100.5%
春日丘荘 (132名)	目標値	41,610	5,037	0		46,647	96.8%
	実績	41,428	6,696	55		48,179	100.0%
	達成率(%)	99.6%	132.9%	-		103.3%	103.3%
春日丘荘 「彩の家」 (40名)	目標値	10,001	4,518	144		14,663	100.4%
	実績	10,330	4,688	43		15,061	103.2%
	達成率(%)	103.3%	103.8%	29.9%		102.7%	102.7%
四條畷荘 (130名)	目標値	42,797	4,169	0		46,966	99.0%
	実績	42,312	4,026	5		46,343	97.7%
	達成率(%)	98.9%	96.6%	-		98.7%	98.7%
光明荘 (140名)	目標値	42,927	6,361		1,024	50,312	98.5%
	実績	42,668	6,285		955	49,908	97.7%
	達成率(%)	99.4%	98.8%		93.3%	99.2%	99.2%
高槻荘 (110名)	目標値	35,498	4,633	84	96	40,311	100.4%
	実績	35,215	4,492	75	102	39,884	99.3%
	達成率(%)	99.2%	97.0%	89.3%	106.3%	98.9%	98.9%
白島荘 (97名)	目標値	31,858	3,263	18		35,139	99.2%
	実績	30,516	3,392	20		33,928	95.8%
	達成率(%)	95.8%	104.0%	111.1%		96.6%	96.6%
豊寿荘 (60名)	目標値	17,544	4,096	60		21,700	99.1%
	実績	17,178	4,380	21		21,579	98.5%
	達成率(%)	97.9%	106.9%	35.0%		99.4%	99.4%
永寿園 とよなか (40名)	目標値	10,378	3,368	567		14,313	98.0%
	実績	9,707	4,401	9		14,117	96.7%
	達成率(%)	93.5%	130.7%	0.0%		98.6%	98.6%
(実績)合計		272,066	45,985	353	1,394	319,798	98.6%

(平成25年度中)



②養護老人ホーム・軽費老人ホーム

養護老人ホームについては、当初の計画について一般では概ね目標値を達成しましたが、特定においては目標利用率には至らず、全体の利用率も目標を下回る結果となりました。軽費老人ホームについても、一般利用者及び特定利用者において、目標利用率達成には至りませんでした。体調不良や骨折等による入院者の増加が大きな要因と考えられます。

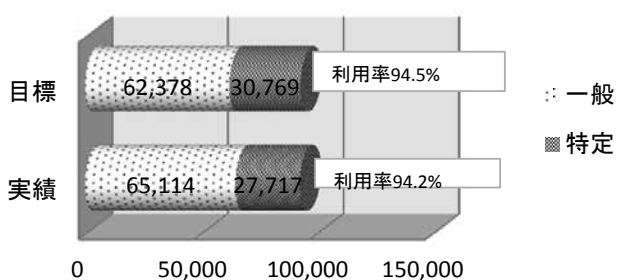
	四條畷荘(50名)		東大阪養護(150名)		永寿園とよなか(70名)		合計	
	一般 (30名)	特定 (20名)	一般 (110名)	特定 (40名)	一般 (40名)	特定 (30名)	一般 (180名)	特定 (90名)
延在籍者数実績	12,355	5,581	40,148	14,372	14,968	8,842	67,471	28,795
延在所者数目標値	10,676	7,117	39,146	14,235	12,556	9,417	62,378	30,769
延在所者数実績	11,895	5,292	39,205	13,784	14,014	8,641	65,114	27,717
達成率(%)	111.4%	74.4%	100.2%	96.8%	111.6%	91.8%	104.4%	90.1%
利用率	94.2%		96.8%		88.7%		94.2%	

(平成25年度中)

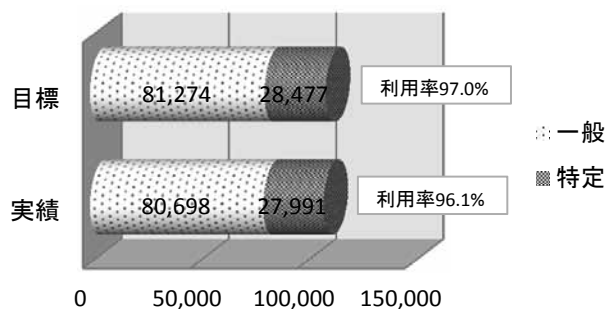
	和風荘(70名)		豊寿荘(100名)		万寿荘 (50名)	河南荘 (90名)	合計	
	一般 (40名)	特定 (30名)	一般 (50名)	特定 (50名)			一般 (230名)	特定 (80名)
延在籍者数	14,548	10,930	18,316	18,092	18,250	32,670	83,784	29,022
延在所者数目標値	14,306	10,597	17,880	17,880	17,885	31,203	81,274	28,477
延在所者数実績	14,036	10,703	17,803	17,288	17,711	31,148	80,698	27,991
達成率(%)	98.1%	101.0%	99.6%	96.7%	99.0%	99.8%	99.3%	98.3%
利用率	96.8%		96.1%		97.0%	94.8%	96.1%	

(平成25年度中)

養護老人ホーム目標達成度 比較



軽費老人ホーム目標達成度 比較





(2) 在宅サービス事業

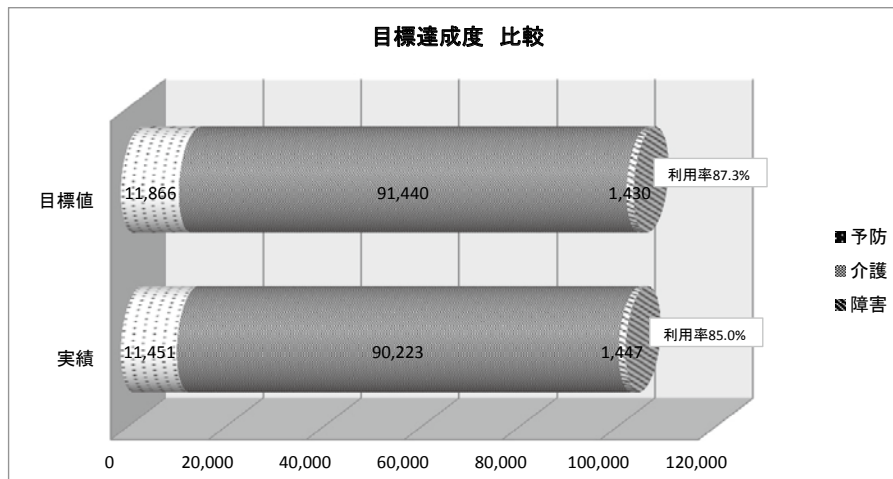
①通所介護

各事業所共に利用者のニーズに即した柔軟なサービス提供時間を提供するなど、求められる事業所として取り組みを進め、昨年度から法人全体で3.5ポイントの利用率上昇、実利用者数については274名増加しました。特徴的な変化として、昨年度に比べ、3H～5Hの利用が994人から3,845人に増加しました。これは、平成24年度の介護保険改正により、通所介護の利用時間については利用者のニーズに沿ったサービス提供が求められることとなり、昨年度よりも一層柔軟なサービス受け入れを各事業所が行った結果といえます。今後は、介護予防の地域支援事業への移行など大きな変化に対応できる事業所としての意識も必要です。

(単位:人)

		延利用人数						利用率	3月実利用者数			営業日数
		予防	介護				障害		予防	介護	障害	
			(3h-5h)	(5h-7h)	(7h-9h)	(その他)						
美原荘デイサービス (42名)	目標値	1,677	0	0	10,254	0	158	93.5%	24	91	1	309
	実績	2,121	9	501	9,013	7	45	90.1%				
	達成率(%)	126.5%	-	-	87.9%	-	28.5%	96.4%				
春日丘荘デイサービス (40名)	目標値	1,336	670	7,600	426	0	0	80.1%	13	79	0	313
	実績	1,044	932	7,446	784	0	0	81.5%				
	達成率(%)	78.1%	139.1%	98.0%	184.0%	0.0%	0	101.7%				
沢池老人デイサービス (月曜日～土曜日40名) (日曜日30名)	目標値	1,714	252	8,757	1,502	0	0	86.8%	14	88	0	365
	実績	1,337	562	9,364	1,279	211	0	90.6%				
	達成率(%)	78.0%	223.0%	106.9%	85.2%	-	0	104.4%				
南茨木老人デイサービス (月曜日～土曜日45名) (日曜日30名)	目標値	1,615	316	8,280	3,961	522	0	90.6%	17	107	0	365
	実績	1,471	975	8,287	2,216	530	0	86.2%				
	達成率(%)	91.1%	308.5%	100.1%	55.9%	101.5%	0	95.1%				
四條畷荘デイサービス (32名) 10月より35名	目標値	818	66	4,207	3,992	0	0	86.0%	10	85	0	309
	実績	697	57	4,827	3,932	0	0	92.0%				
	達成率(%)	85.2%	86.4%	114.7%	98.5%	0.0%	0	107.0%				
光明荘デイサービス (35名)	目標値	0	288	1,797	5,945	0	1,272	86.0%	0	77	14	308
	実績	0	46	2,304	5,751	0	1,402	88.2%				
	達成率(%)	0	-	128.2%	96.7%	0	110.2%	102.6%				
高槻荘デイサービス (40名)	目標値	1,140	120	2,180	7,890	0	0	89.9%	22	86	0	308
	実績	1,596	520	3,131	5,469	0	0	87.0%				
	達成率(%)	140.0%	433.3%	143.6%	69.3%	0.0%	0	96.8%				
光明の郷デイサービス (28名)	目標値	1,586	0	6,065	0	0	0	88.1%	18	46	1	310
	実績	1,530	216	5,316	0	0	0	81.4%				
	達成率(%)	96.5%	-	87.7%	0.0%	0.0%	-	92.4%				
東大阪デイサービス (10名)	目標値	0	0	637	0	0	0	75.0%	0	210	0	79
	実績	0	0	810	0	0	0	102.5%				
	達成率(%)	0.0%	0.0%	127.2%	0.0%	0.0%	-	136.7%				
豊寿荘デイサービス (35名)	目標値	1,980	120	6,314	786	0	0	90.6%	32	75	0	308
	実績	1,644	119	6,237	870	0	0	82.3%				
	達成率(%)	83.0%	99.2%	98.8%	110.7%	0.0%	0	90.8%				
永寿園とよなか デイサービス (10名)	目標値	0	0	2,322	0	0	0	76.8%	0	24	0	256
	実績	0	329	2,145	0	0	0	96.6%				
	達成率(%)	0.0%	-	92.4%	0.0%	0.0%	0	125.8%				
高槻荘認知症 デイサービス (12名)	目標値	0	0	975	1,922	0	0	78.4%	0	27	0	308
	実績	0	77	1,059	1,641	0	0	75.1%				
	達成率(%)	0.0%	-	108.6%	85.4%	0.0%	0	95.8%				
春日丘荘認知症 デイサービス (12名)	目標値	0	0	1,045	2,229	0	0	88.0%	1	25	0	308
	実績	11	3	1,471	1,777	0	0	88.3%				
	達成率(%)	-	-	140.8%	79.7%	0.0%	0	100.3%				
合計	目標値	11,866	1,832	50,179	38,907	522	1,430	87.3%	151	1,020	16	3,846
	実績	11,451	3,845	52,898	32,732	748	1,447	85.0%				
	達成率(%)	96.5%	209.9%	105.4%	84.1%	143.3%	101.2%	97.4%				

(平成25年度中)

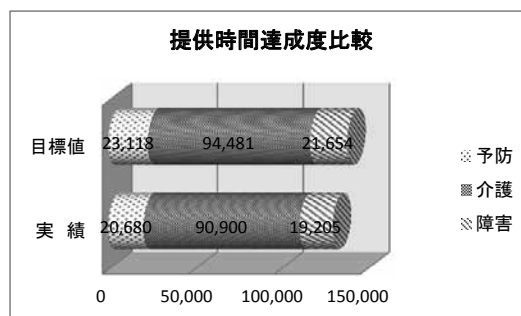
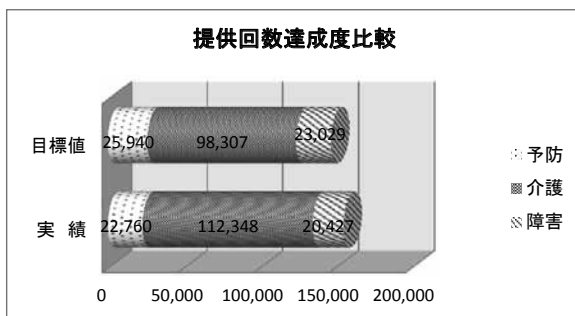


## ②訪問介護

平成24年度との比較では、介護・予防・障害全てのサービス提供回数及び時間を増加することができ、実利用者数においても50名の増加となりました。特に豊寿荘においては大きな増加がみられました。しかしながら、提供時間は当初の目標を達成できず、訪問介護員の退職や休職に伴う人員確保が予定通り進まなかった事が大きな要因と考えられます。

施設名		介護		予防		障害		合計		3月実利用者数		
		(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	予防	介護	障害
美原荘ヘルパー	目標値	14,212	15,400	4,005	4,256	4,872	4,536	23,089	24,192	38	83	15
	実績	10,100	11,350	2,775	2,899	3,330	3,243	16,205	17,492			
	達成率(%)	71.1%	73.7%	69.3%	68.1%	68.3%	71.5%	70.2%	72.3%			
春日丘荘ヘルパー	目標値	9,815	8,462	2,578	3,202	2,420	1,900	14,813	13,564	42	57	7
	実績	7,894	7,833	2,310	2,855	2,109	1,545	12,313	12,233			
	達成率(%)	80.4%	92.6%	89.6%	89.2%	87.1%	81.3%	83.1%	90.2%			
四條畷荘ヘルパー	目標値	14,276	13,915	2,999	3,223	1,320	1,428	18,595	18,566	38	66	14
	実績	13,773	14,921	2,340	2,601	1,542	1,387	17,655	18,909			
	達成率(%)	96.5%	107.2%	78.0%	80.7%	116.8%	97.1%	94.9%	101.8%			
光明荘ヘルパー	目標値	12,042	12,615			6,364	8,535	18,406	21,150	46	22	
	実績	11,613	13,323			6,667	8,645	18,280	21,968			
	達成率(%)	96.4%	105.6%			104.8%	101.3%	99.3%	103.9%			
高槻荘ヘルパー	目標値	21,206	22,870	7,105	8,295	6,408	6,282	34,719	37,447	110	116	40
	実績	21,085	24,630	7,066	7,872	5,145	5,183	33,296	37,685			
	達成率(%)	99.4%	107.7%	99.5%	94.9%	80.3%	82.5%	95.9%	100.6%			
白鳥荘ヘルパー	目標値	9,385	11,190	2,987	3,424			12,372	14,614	39	59	
	実績	9,038	10,433	2,502	2,696			11,540	13,129			
	達成率(%)	96.3%	93.2%	83.8%	78.7%			93.3%	89.8%			
豊寿荘ヘルパー	目標値	13,488	13,776	3,444	3,540	270	348	17,202	17,664	69	112	4
	実績	17,397	29,858	3,687	3,837	412	424	21,496	34,119			
	達成率(%)	129.0%	216.7%	107.1%	108.4%	152.6%	121.8%	125.0%	193.2%			
東大阪養護ヘルパー	目標値	57	79					57	79			
	実績	0	0					0	0			
	達成率(%)	0.0%	0.0%					0.0%	0.0%			
合計	目標値	94,481	98,307	23,118	25,940	21,654	23,029	139,253	147,276	336	539	102
	実績	90,900	112,348	20,680	22,760	19,205	20,427	130,785	155,535			
	達成率(%)	96.2%	114.3%	89.5%	87.7%	88.7%	88.7%	93.9%	105.6%			

(平成25年度中)



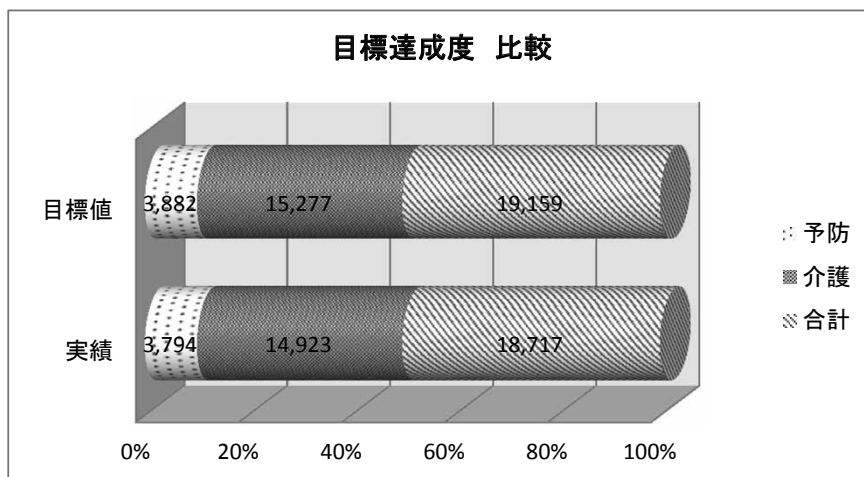
③居宅介護支援事業所・地域包括支援センター

居宅介護支援事業所の予防については350件、介護は700件程昨年度より増加し、実績を上げることができましたが、当初の目標については達成することができませんでした。利用者の重度化に伴い、難病等、医療的ニーズの高いケースについても積極的な支援を行う必要があります。地域包括の予防プランについても、困難ケースの受け入れなど積極的に行うことで直営プランで200件、委託プランで900件程増加しましたが、目標達成には至りませんでした。今後も困難・虐待ケースの受け入れはもとより、介護予防、地域包括ケアの拠点として、各関係機関との連携強化や地域住民に対して予防教室等を通しての啓発活動などを積極的に行う事が目標達成に繋がると考えます。

(単位:件)

施設名	居宅介護支援(ケアプラン作成件数)		認定調査延件数	地域包括 (予防ケアプラン作成件数)		
	予防	介護		直営	委託	
美原荘	目標値	720	2,465	144	1,108	3,329
	実績	552	2,342	145	864	2,974
	達成率(%)	76.7%	95.0%	100.7%	86.5%	
春日丘荘	目標値	379	1,662	180	1,883	2,316
	実績	356	1,709	84	1,749	2,409
	達成率(%)	93.9%	102.8%	46.7%	99.0%	
南茨木	目標値	288	1,190	245		
	実績	250	969	236		
	達成率(%)	86.8%	81.4%	96.3%		
四條畷荘	目標値	336	1,512	70	313	1,404
	実績	397	1,637	83	313	1,296
	達成率(%)	118.2%	108.3%	118.6%	93.7%	
光明荘	目標値	383	1,829	230	1,140	2,310
	実績	344	1,852	236	1,374	2,467
	達成率(%)	89.8%	101.3%	102.6%	111.3%	
高槻荘	目標値	300	2,580	300	1,980	1,824
	実績	380	2,566	281	1,689	1,834
	達成率(%)	126.7%	99.5%	93.7%	92.6%	
白島荘	目標値	180	1,207	180		
	実績	245	1,043	178		
	達成率(%)	136.1%	86.4%	98.9%		
東大阪養護	目標値	0	8			
	実績	0	0			
	達成率(%)	0.0%	0.0%	0.0%		
豊寿荘	目標値	1,080	2,520	480		
	実績	1,029	2,545	427		
	達成率(%)	95.3%	101.0%	89.0%		
万寿荘	目標値	216	312	60		
	実績	241	260	66		
	達成率(%)	111.6%	83.3%	110.0%		
合計	目標値	3,882	15,277	1,889	6,424	11,183
	実績	3,794	14,923	1,736	5,989	10,835
	達成率(%)	97.7%	97.7%	91.9%	95.6%	

(平成25年度中)



#### ④訪問入浴

サービス提供回数において、2つの事業所共に目標達成には至らず、昨年度から100件ほど減少し、実利用者数も4名減少となりました。自宅での入浴が困難な利用者を受け入れる通所介護事業所も増えており、新規利用者が増えにくい現状があることから、人工呼吸器装着者など外出が困難な対象者に対する支援を強化する事でケースの増加を検討していく必要があります。

(単位:人)

施設名		予防	介護	3月実利用者人数		営業日数
				予防	介護	
光明荘	目標値		494	0	7	193
	実績		293			
	達成率(%)		59.3%			
高槻荘	目標値	0	480	0	7	261
	実績	0	369			
	達成率(%)	-	76.9%			
合計	目標値	0	974	0	14	454
	実績	0	662			
	達成率(%)	-	68.0%			

(平成25年度中)

#### ⑤認知症対応型共同生活介護

入院者の減少や感染症の発生が無かったこと等から、平成24年度に比べ利用率では1.3ポイント増と安定した実績を上げられることができました。しかし、目標値の達成には至らなかったため、入居者の健康管理や入退所の手続きなどを更にスムーズに行っていきます。

(単位:人)

施設名		予防	介護
春日丘荘	目標値	0	3,285
	実績	0	3,202
	達成率(%)	-	97.5%
白島荘	目標値	0	3,285
	実績	0	3,203
	達成率(%)	-	97.5%
合計	目標値	0	6,570
	実績	0	6,405
	達成率(%)	-	97.5%

(平成25年度中)

⑥小規模多機能型居宅介護支援

春日丘荘「彩の家」においては、小規模多機能型居宅介護が持つ特徴を活かし短期入所のニーズに柔軟に対応した結果、利用率の目標を大きく上回ることができました。白島荘ひねもすについては、目標達成には至りませんでした。病院や診療所等への広報活動を行ったことにより、昨年度3月実利用者人数の比較では4名増加するなどその効果が表れてきています。

(単位:人)

施設名		延利用人数						利用率	3月実利用者人数		
		予防			介護				予防	介護	
		通い	訪問	登録者	通い	訪問	登録者				
春日丘荘 「彩の家」	登録人数	目標値	192	/	24	4,466	200	229	84.3%	3	20
		実績	326	72	54	3,817	230	224	92.7%		
		月平均	27.2	6	4.5	318	19.2	18.7	92.7%		
		達成率(%)	169.8%	-	225.0%	85.5%	115.0%	97.8%	109.9%		
白島荘 ひねもす	登録人数	目標値	173	/	36	3,480	/	235	90.3%	1	18
		実績	124	88	19	3,703	1,244	191	70.0%		
		月平均	10.3	7.3	1.6	309	103.7	15.9	5.8%		
		達成率(%)	71.7%	-	52.8%	106.4%	-	81.3%	77.5%		

(平成25年度中)

⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護

登録者数の目標に対して7割弱の達成率となりましたが、その要因として特に重介護度の利用者の利用期間が短く、また人員補充が進まない事で活動エリアが広げられなかった事が挙げられます。今後も、訪問看護事業所との連携はもとより、関係機関へ事業内容をアピールし、また人材の確保・育成に力を注ぐ必要があります。

施設名		登録人数	3月実利用者人数
			介護
堺定期巡回	目標値	192	14
	実績	127	
	達成率(%)	66.0	

※ 登録人数 : 月初登録者数×12ヶ月

(平成25年度中)

(3) 老人福祉センター事業

老人福祉センター事業の延利用者数について、堺市の美原・北の老人福祉センターにおいてはそれぞれ2,000人程の増加がみられました。全体としては、今年度より指定管理により運営する事となった「南茨木荘」と「桑田荘」の合計利用者数を加え、70,000人程の増加となりました。

(単位:人)

施設名			一般利用延人数		団体利用		延利用者数 合計
			男	女	団体数	延利用者数	
堺市	堺市立美原老人福祉センター	平成25年度	15,005	10,517	1,211	17,227	42,749
	堺市立北老人福祉センター	平成25年度	50,896 (600)	37,205 (438)	838	11,233	99,334 (1,038)
	堺市立東老人福祉センター	平成25年度	49,422	28,690	1,646	25,427	103,539
茨木市	老人福祉センター 沢池荘	平成25年度	12,665	15,923	14	1,445	30,033
	老人福祉センター 南茨木荘	平成25年度	15,205	14,378	3	282	29,865
	老人福祉センター 桑田荘	平成25年度	21,331	14,362	15	2,091	37,784
池田市	池田市 敬老会館	平成25年度	29,301	21,528	175	16,094	66,923
平成25年度実績合計			193,825 (600)	142,603 (438)	3,902	73,799	410,227 (1,038)

(平成25年度中)

※堺市立北老人福祉センターの男女一般利用延人数内の()内数字は、3センター合同作品展の来場者数となっております。

(4) 市町村委託事業

施設名	在宅介護 支援センター (CSW事業)	配食サービス (食数)	障害入浴 (回数)	移送サービス (回数)	地域活動 (回数)	日中 支援 (回数)	障害者訪問 サービス (回数)	その他	備考
美原荘	実績							41	堺市緊急一時保護事業受け入れ(日数)
春日丘荘	契約市町村 実績								
春日丘荘ダイ	実績	6,571							
南茨木ダイ	契約市町村 実績	茨木市 8,647							
四條畷荘	実績	451							
光明荘	契約市町村 実績	くすの木広域連合 54					98		
高槻荘	契約市町村 実績						和泉市		
白島荘	契約市町村 実績		201		2,050	1,041			
豊寿荘	契約市町村 実績		箕面市		箕面市				
万寿荘	契約市町村 実績								

(平成25年度中)

(5) 地域貢献活動

地域貢献については、主に防災活動や施設行事等を通じた地域住民との交流に取り組んでいます。防災については、地震等の発生時に施設として福祉避難所としての役割等を十分に理解し、今後も継続していく必要があります。また、四條畷荘をはじめ、生活困窮者に対する生活支援については、関係機関との連携を図る事で継続的な支援を行っていきます。

施設名	活動内容	活動の頻度
美原荘・和風荘	・自治会防災活動(地域での避難訓練、災害時受け入れ、協定等)	年2回
	・地域住民の福祉相談窓口の設置(介護相談会)	月2回
	・地域住民向けの福祉講演会・学習会の主催(介護ビギナー教室)	年1回
	・地域のボランティア活動支援(受け入れ・派遣等)	週2回
	・地域のボランティア活動支援(ボランティアグループ受け入れ・派遣等)	週1回
	・共同募金街頭活動	年1回
	・施設行事(夏のふれあい祭り、敬老会など)への地域住民呼びかけ	年1回
	・施設を活用した地域住民との世代間交流(小学校音楽学習発表会)	年1回
	・施設を活用した地域住民との世代間交流(幼稚園慰問)	年1回
	・施設を活用した地域住民との世代間交流(知育教材制作、提供)	年1回
春日丘荘	・地域高齢者・障害者等への生活支援	随時
	・サロンの取り組み(高齢・障害)	随時
	・地域の要援護者の見守り活動	随時
	・認知症サポーター養成講座、防災講座、車椅子操作、靴の選び方講座他	四半期に1回
	・地域住民の福祉相談窓口の設置・医療	随時
	・福祉などの関係機関とのネットワークを形成	随時
	・生活困窮者への生活支援	随時
	・施設行事(祭り、敬老会など)への地域住民呼びかけ	行事開催時
	・地域交流スペース等の開放、設備(図書やDVD)等の物品の貸出	随時
	・地域住民と協働した防災訓練(避難訓練、災害時受け入れ、協定等)	年2回
四條畷荘	・地域の防災活動(避難訓練、災害時受け入れ、協定、防災パトロール等)	月1回
	・医療・福祉などの関係機関とのネットワークを形成(事業所連絡会等)	毎月1回
	・生活困窮者への生活支援(社会貢献事業、緊急支援サービス)	随時
	・施設行事(春・秋祭り、敬老会など)への地域住民呼びかけ	年2回
	・地域のボランティア活動支援(ボランティアグループ受け入れ・派遣等)	随時
	・地域交流スペース等の開放、設備等の物品の貸出、喫茶、予防体操	随時
	・地域の防災活動(地域での避難訓練、災害時受け入れ、協定等)	年1回
	・いきいきサロンサポート(高齢・障害)	年6回
	・地域における介護・認知症への支援(キッズサポーター養成)	単発
	・地域における介護・認知症への支援(家族介護者教室サポート)	2回
光明荘	・認知症サロン、物忘れ相談会(高齢・障害)	月1回
	・地域の要援護者の見守り活動(和泉市おかえりネットサポーター登録)	随時
	・地域住民向けの福祉講演会・学習会主催(公開講座)	年1回
	・オープンカフェ(高齢・障害)	年1回
	・地域における福祉学習会への講師派遣(高槻市介護家族の会)	年1回
	・地域における福祉学習会への講師派遣(特別養護老人ホームについて)	年1回
	・施設行事(さつき祭り・盆踊り、敬老祝賀会等)への地域住民呼びかけ	各年1回
	・地域の防災活動(避難訓練への参加、災害時受け入れ、協定等)	
	・地域の独居高齢者を対象とした食事サービスの調理講師	月1回
	・地域住民が参加できる福祉イベントの主催(お菓子作り)	年1回
白島荘	・オープンカフェ(高齢・障害)	月2回
	・地域住民が参加できる福祉イベントの主催(いきいきサロンサポート)	年1回
	・施設行事(地域感謝祭、敬老会など)への地域住民呼びかけ	年1回
	・施設や建物等の開放(喫茶等)、設備等の物品の貸出	週5回
	・地域のボランティア活動支援(とよなか地域ささえ愛ポイント事業)	毎日
	・社協ふれあいサロン(高齢・障害)	月1回
	・認知症サポーター養成講座	月2回
	・地域住民向けの福祉講演会・学習会の主催(成年後見制度説明講座)	年1回
	・交流室等の開放、設備等の物品貸出(地域包括支援センター講座開催)	年1回
	・施設を活用した地域住民との世代間交流(もちつき大会、夜店)	年1回
永寿園とよなか	・地域の各種サークル活動	随時
	・施設行事(屋上ビアホール、花火大会屋上解放)への地域住民呼びかけ	年3回、年1回
	・地域住民の福祉相談窓口の設置・医療(喫茶にて福祉なんでも相談開催)	随時
	・地域の防災活動(避難訓練、災害時受け入れ、協定、公民館災害対策講座開催)	年1回
	・地域のボランティア活動支援(受け入れ・派遣等)	週2回～3回
	・バーの開催	月1回
	・地域住民の健康相談、介護相談(高齢・障害)	年4回
	・地域行事(夏祭り、敬老会、小学校のPTA活動)への参加	年3回
	・地域の防災活動(地域での避難訓練、災害時受け入れ、協定等)	年1回
	・地域住民向けの福祉講演会・学習会の主催	年1回
豊寿荘	・医療・福祉などの関係機関とのネットワークを形成(市内事業所共同主催福祉フェスタへの参加、協力)	年2回
	・地域住民が参加できる福祉イベントの主催(介護保険制度について)	年1回
	・サロンの取り組み(高齢・障害)	月1回
	・地域住民向けの福祉講演会・学習会の主催(介護予防教室)	年10回
	・地域高齢者のミニデイサービスへの参画(みんなの居場所)	月8回
	・施設を活用した地域住民との世代間交流(七夕飾り、敬老祝賀会)	年3回
	・関係機関とのネットワークを形成(介護予防教室、ボランティア交流会)	年10回
	・施設行事(夏祭り、イケダ文化DAY等)への地域住民呼びかけ	年1回
	・地域のボランティア活動(公園清掃)支援(受け入れ・派遣等)	月1回
	・生活困窮者への生活支援(社会貢献事業)	年6回
万寿荘	・地域における福祉学習会への講師派遣(男の料理教室)	年6回
	・認知症サポーター養成講座	年1回
	・施設行事(盆踊り、花見の宴)への地域住民呼びかけ	年1回
	・地域行事(かなんフェス)への参加	年1回
	・地域のボランティア活動支援(受け入れ・派遣等)	年1回
	・生活困窮者への生活支援(社会貢献事業)	年6回
	・地域における福祉学習会への講師派遣(男の料理教室)	年6回
	・施設行事(夏祭り、イケダ文化DAY等)への地域住民呼びかけ	年1回
	・地域のボランティア活動(公園清掃)支援(受け入れ・派遣等)	月1回
	・生活困窮者への生活支援(社会貢献事業)	年6回
河南荘	・認知症サポーター養成講座	年1回
	・施設行事(盆踊り、花見の宴)への地域住民呼びかけ	年1回
	・地域行事(かなんフェス)への参加	年1回



(6) 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度

社会福祉法人等による利用者負担軽減制度については、HPの活用やパンフレットを使っての利用者への周知を行いました。昨年度とほぼ変わらない数となりました。今後も低所得者の方が必要な介護保険サービスを利用する為にも、より一層の周知が必要です。

(単位:人)

施設名	特養	訪問介護	通所介護	短期入所	合計
美原荘	2	0	0	1	3
春日丘荘	1	1	1	2	5
四條畷荘	0	0	1	1	2
光明荘	1	0	0	0	1
高槻荘	0	1	1	0	2
白島荘	1	0	0	0	1
永寿園とよなか	0	0	0	0	0
豊寿荘	1	0	0	0	1
東大阪養護	0	0	0	0	0
合計	6	2	3	4	15

(平成26年3月31日現在)

(7) ボランティア受け入れ状況

ボランティア受け入れについては、平成24年度と比較して受入実人数として100名、延受入人数として1,000名の減少となっています。ボランティアの受け入れは社会資源の活用や地域に開かれた施設作り、サービスの質の向上などの観点からも必要不可欠であることから、今後も施設毎に活動内容を精査し、必要などころに協力頂けるよう積極的なアピールを行っていく必要があります。

区 分	受 入 実人数	延受入 人 数	活 動 内 容
美原荘	218	2,015	盆踊り、傾聴ボランティア、ひまわり喫茶、書道、民謡、音楽療法、朗読サービス、陶芸、手芸、ホーム喫茶、カラオケ喫茶、ハーモニカ等
春日丘荘	228	1,747	お茶、本読み、絵手紙、歌体操、さざなみの会、編み物、書道、オカリナ、ハーモニカ、傾聴、将棋、楽器演奏
春日丘荘「彩の家」	165	226	歌体操、フラダンス、書道、将棋、塗り絵、喫茶補助
四條畷荘	73	1,430	各クラブ活動(民謡・大正琴・華道・フラワーアレンジメント・将棋など) 定例行事(イベントに際してご利用者様の誘導・見守り・会場設営など)
光明荘	113	924	喫茶、グループワーク、お化粧クラブ、音楽療法、お花クラブ、なかよしクラブ、ハーモニカ、大正琴、ギター演奏、外出付き添い、季節の定例行事、
高槻荘	188	1,877	喫茶、音楽療法、楽器演奏、ハーモニカ、カラオケ、歌体操、朗読、園芸、さつき祭り演出(吹奏楽演奏)、盆踊り(踊り、太鼓、ダンス)、敬老祝賀会(ダンス)
白島荘	150	748	アコーディオン、カラオケ、アートフラワー、お花、習字、写真セラピー、衣類修繕、傾聴 定例行事(イベント時の利用者誘導、設営、見守り、出し物等)
東大阪	112	1,050	クラブ活動(民謡、詩吟、俳句、水彩画、書道、華道、陶芸、ハーモニカ) 季節行事(お琴演奏、銭太鼓、ダンスサークル、フルート演奏)
豊寿荘	153	1,090	喫茶手伝い、売店販売、クラブ活動講師(コーラス、生花、編物、書道)、歌体操、ハンド マッサージ、夏祭り手伝い、バスツアー付添等
永寿園とよなか	29	231	喫茶、食事配膳、傾聴、クラブ活動、裁縫、餅つき(行事)
和風荘	136	541	大正琴・パッチワーククラブ・書道・健康運動体操・和風喫茶・演芸訪問・傾聴ボランティ ア・ショッピングツアー・夏祭り・館内清掃
万寿荘	112	311	書道・お話ひろば・踊り・リハビリ体操・地区コーラス・すみれの会・歌体操・カラオケ・アート フラワー・行事(夏祭り等の季節行事)・法話
河南荘	230	330	花見の宴 盆踊り ホーム喫茶 傾聴ボランティア 園芸ボランティア
合 計	1,907	12,520	

(平成25年度中)

(8) 実習生受け入れ状況

平成24年度と比較すると、全体として学生数で150名、延日数で500日程の減少となっておりますが、四條畷荘に引き続き実習指導者専任化を行った春日丘荘・光明荘においては特に福祉専門学校からの受け入れについてはその人数・延べ日数が大きく増加しました。これは、専任化した担当者が各機関とスムーズに調整が行えていることが要因であると考えられます。

	福祉専門学校		看護専門学校		職業訓練校		介護員初任者研修実施施設		大学		計		備考
	学生数 (人)	延日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	
美原荘	1	20	18	72	0	0	17	40	4	45	40	177	
春日丘荘	21	115	0	0	1	1	36	46	12	82	70	244	
春日丘荘「彩の家」	8	16	0	0	0	0	2	2	1	5	11	23	
四條畷荘	46	663	0	0	6	66	13	13	15	170	80	912	
光明荘	18	318	0	0	0	0	0	0	0	0	18	318	
高槻荘	35	324	21	84	0	0	12	49	2	40	70	497	
白島荘	15	117	0	0	6	62	0	0	39	197	60	376	
東大阪養護	0	0	0	0	0	0	0	0	48	240	48	240	
永寿園とよなか	0	0	63	109	0	0	0	0	0	0	63	109	
豊寿荘	0	0	23	69	0	0	36	556	2	48	61	673	
和風荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
万寿荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
河南荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	144	1,573	125	334	13	129	116	706	123	827	521	3,569	

(平成25年度中)

※学生数、延日数は居宅サービスマ含むグループ全体の数字を入れてください。

## (9) 認知症高齢者数（在宅サービス利用）

当法人の在宅サービス利用者のうち、認知症高齢者数は全体の34.7%となっており、そのうち独居である方の割合は34%という結果になりました。今後、地域の認知症高齢者はますます増加する傾向であることから、地域の見守り体制の構築や福祉サービスの適切な利用支援などが必要となつてきます。

(実利用者数)

	在宅サービス利用者	認知症高齢者数	在宅サービス利用者の内、 独居高齢者の世帯状況(内訳)
美原荘	251	53	7
春日丘荘	618	207	33
四條畷荘	442	278	53
光明荘	602	110	16
高槻荘	472	177	40
白島荘	243	76	67
東大阪養護	0	0	0
豊寿荘	272	100	115
万寿荘	43	20	16
合計	2943	1021	347

※認知症高齢者数の内訳は平成26年3月31日現在の実利用者数  
※春日丘荘には「彩の家」が含まれています

## (10) 認知症サポーター養成講座及びキャラバンメイト数

各施設において、認知症サポーター養成講座の開催及びキャラバンメイトの育成に力を入れていることができました。今後は、講座参加者を中心に地域の認知症高齢者の見守り体制の構築などに繋げていけるよう取り組みます。

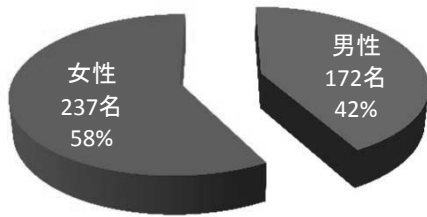
	認知症サポーター養成講座		キャラバンメイト	
	開催回数	受講者数	新規登録者数	既登録者数
美原荘	4	150	2	1
春日丘荘	0	0	0	1
「彩の家」	1	42	0	5
四條畷荘	0	0	0	0
光明荘	6	468	8	3
高槻荘	4	202	0	3
白島荘	1	20	0	0
東大阪養護	0	0	0	3
永寿園とよなか	1	21	3	1
豊寿荘	0	0	0	2
和風荘	0	0	0	0
万寿荘	1	21	0	0
河南荘	1	60	2	10
合計	19	984	15	29

※認知症サポーター養成講座実施状況は25年度中の延受講者数

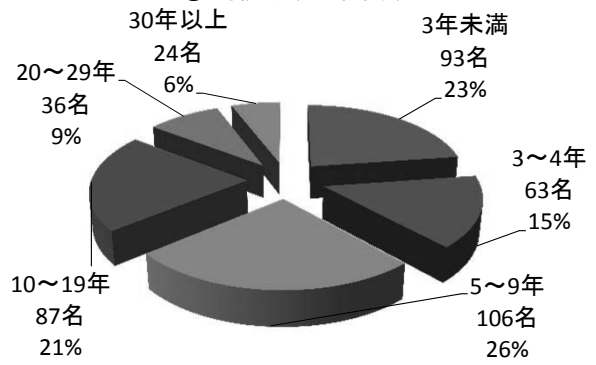
### 3. 労務管理状況

#### (1) 職員状況

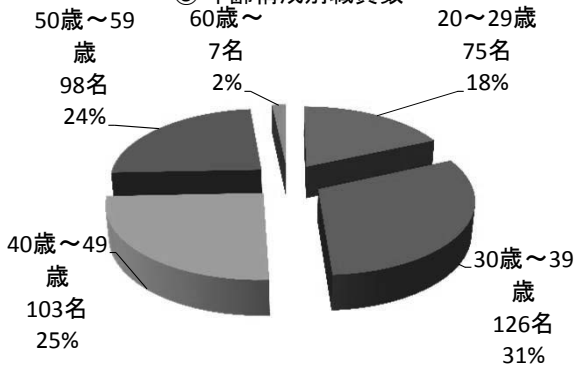
① 男女別職員数



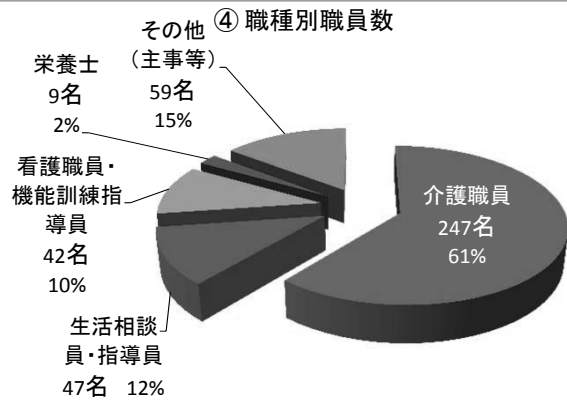
② 勤続年数別職員数



③ 年齢構成別職員数



④ 職種別職員数



⑤ 平均年齢と平均勤続年数

平均年齢	40.3才
平均勤続年数	9年 10月

(2) 採用状況

①採用状況（平成 25 年度中）

職名	採用	退職
支援員	33名	24名
看護職員	2名	6名
機能訓練指導員	1名	0名
栄養士	0名	1名
合計	36名	31名

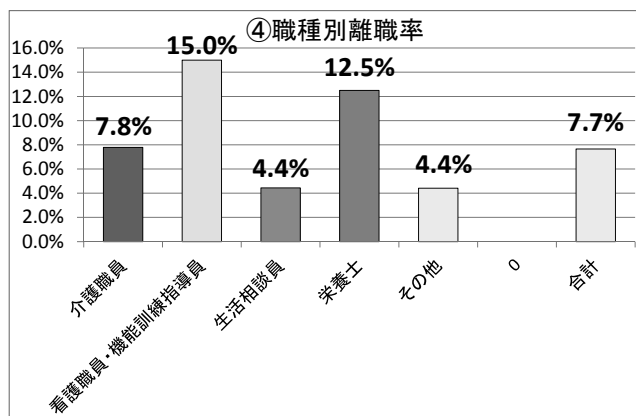
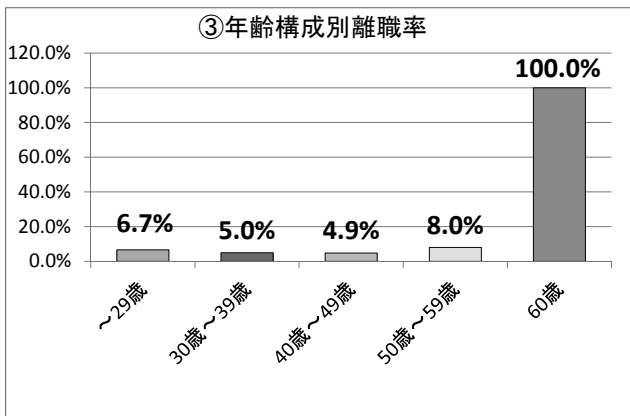
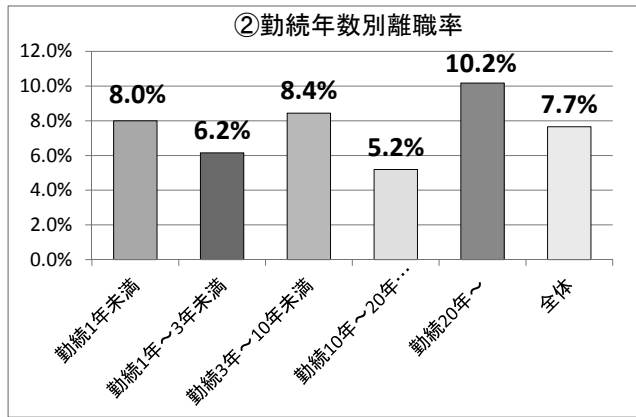
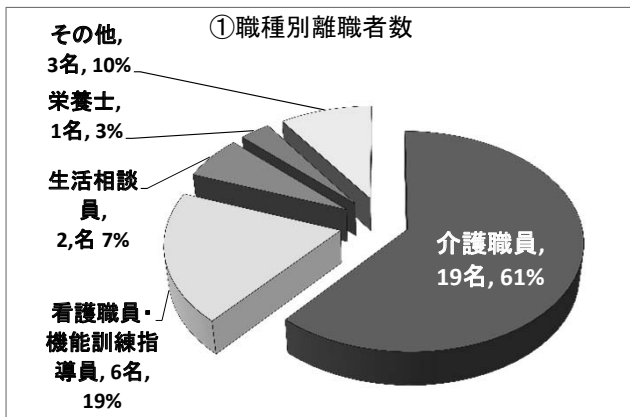
平成 25 年度は新規事業にかかる開設準備室の設置や職員の育児休業取得等により、支援員については退職者数を上回る人数を採用しました。また、前年度に引き続き、機能訓練指導員については、医療ニーズへの対応力を高めるため、正規職員を配置しました。

②職員選考状況（平成 25 年度及び平成 26 年度採用予定者）

職名	応募者数	合格者数
支援員	92名	30名
看護職員	18名	6名
機能訓練指導員	1名	1名
合計	101名	37名

平成 25 年度は支援員の採用試験を 5 回、看護職員の採用試験を 4 回、機能訓練指導員の採用試験を 1 回開催しました。平均倍率は 2.73 倍となっています。

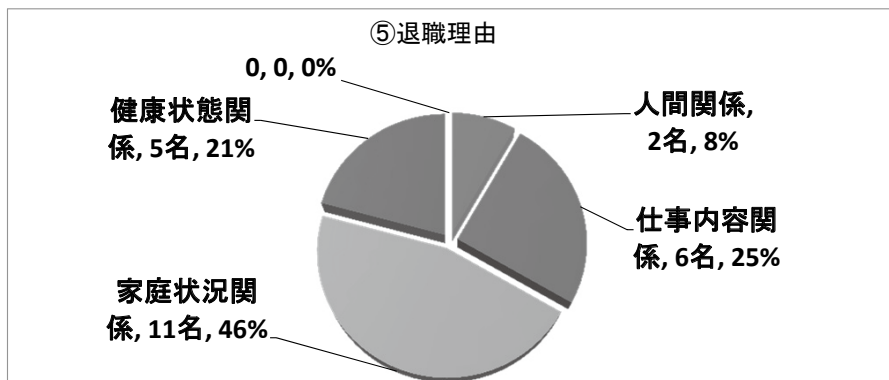
(3) 離職状況



平成 25 年 4 月 1 日時点の正規職員 405 名に対して今年度の離職者は 31 名、離職率は 7.7%となり、前年度の 8.5%より減少しました。勤続年数別離職率は、勤続 1 年以内が前年度の 14.3%より 8.0%まで減少し、離職防止の対応として実施している、採用後 1 年目の職員に対するグループワーク研修やフォローアップ研修の効果が実感できました。職種別離職率については、看護職員・機能訓練指導員が 15.0%となり、前年度に引き続き、高い値となっています。

※参考 常勤介護職員離職率 16.1%

(財) 介護労働安定センター「平成 23 年度介護労働実態調査」より



また、退職理由は、家庭状況関係が全体の 46%となり、具体的な理由については、「子育てにかかる通勤時間の負担」や「子育てへの専念」などの理由があり、短時間勤務制度や保育機能等、育児支援対策の必要性を再認識しました。

(4) 昇任状況

①階級別昇任者数

階級	昇任者数	発令年月日
施設長級	1名	平成25年4月1日
副施設長級	4名	平成25年4月1日
科長級	6名	平成25年4月1日
総括主任級	4名	平成25年4月1日
主任級	20名	平成25年4月1日

②主任級昇任選考状況

選考内容	応募者数	合格者数
主任級昇任選考	36名	9名

(5) 職員表彰状況

表彰内容	対象者数
永年(30年)勤続表彰者	3名
永年(20年)勤続表彰者	4名
多年(10年)勤続表彰者	12名
業務推進表彰者	5名
ワンダフルカード表彰者	3名



(6) 職員研修

①研修実施内容

種別	研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内 容
法人研修	新人職員	正規職員内定者 施設見学会及び交流会	H25.12.7	23名	1 永寿園とよなか見学 施設の概要説明、施設内見学（養護・特養・ デイサービス） 2 永寿園とよなか職員との意見交換会 3 交流会
		採用前・採用時研修	H25.4月～ H26.3月 (毎月2日間)	延べ235名	・基礎研修 ・人権 (理念、個人情報、虐待防止、身体拘束排除) ・接遇 ・ケアプラン・認知症・緊急時対応・介護技術等
		新人グループワーク研修	H25.11.20	23名	・共同作業（施設内環境美化意識の向上） ・グループワークを通じた連帯意識の向上
		新人職員 フォローアップ研修	H25.4月～ H25.12月	45名	・個別面談を行いメンタルケアの安定を図りモチベ ーションをアップさせる。 ・個人の学びたいことや目標を確認し本人の希望や 力量に応じた個別研修プログラムに繋げる。
		新規採用職員集合研修	H26.3.6～ H26.3.14 (6日間)	延べ150名	1日目 事業団概要、職員評価制度、人権、リスク 2日目 感染症、急病への対応、グループワーク 3日目 腰痛予防、身体介護の基本、移乗介助 4日目 排泄、食事、入浴、着脱介助 5日目 認知症ケアの基本、接遇 6日目 感染症対応、個別ケアと記録の取り方、夜 勤の心得、グループワーク
	初級職員	初級職員研修（事業団内 他施設体験研修）	H25.9.17～ H25.10.28 (上記のうち1日間)	延べ39名	・勤務施設と同種の事業団施設を体験し、他施設の 運営方法や業務の手順等の体験をとおして職員の 振り返りと改善に役立てる。
	中堅職員	OJT実践研修	H25.6.18・19 H26.1.20・21 (2日間研修)	延べ37名	<b>【講義】</b> ・OJTを通じた効果的なリーダーシップ ・指導者としての自己開示

指導職員	主任昇任者研修	H25. 4. 19	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の事業団のあり方について</li> <li>・ 中長期経営計画における主任の心構えと役割</li> <li>・ 接遇と現場指導について</li> <li>・ 人材育成と現場マネジメントについて</li> <li>・ 職員評価制度について</li> </ul>
	コーチング研修	H25. 5. 15 H25. 7. 3	28名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーチングスキルの習得</li> </ul>
	苦情対応研修	H25. 12. 9	19名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クレーム対応術を身につける</li> </ul>
	第1期考課者研修	H25. 8. 28	21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価基準の目標合わせ</li> <li>・ 指導記録票の書き方</li> <li>・ 中間面接の方法・演習</li> </ul>
	第2期考課者研修 (フィードバック研修)	H26. 1. 27	17名	<b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価の視点や理解を深め、評価基準の統一を図る</li> </ul>
管理職員	経営(サービス)・管理・ 財務管理研修	H25. 9. 25	23名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人内の予算書・財務諸表を基にした予算管理</li> <li>・ 公募申請におけるノウハウや指定権者との連携</li> </ul>
	人事・労務管理研修 ハラスメント研修	H25. 8. 23	26名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設管理者に求められる適正な労務管理について (労働関係法含む)</li> <li>・ ハラスメントの知識と理解</li> </ul>
	メンタルヘルス (ラインケア)研修	H25. 11. 18	14名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンタルヘルスの理解</li> <li>・ 管理者の役割と進め方について</li> </ul>
	O S J 経営塾	H25. 4. 30~ H26. 3. 11	述べ140名	<b>【講義・演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理者および経営者として必要な視点、知識、スキルの習得に向けた講義およびディスカッション</li> </ul>
指導者養成研修	認知症ケア指導者研修	H25. 5. 27	16名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の行動科学的理解</li> <li>・ 行動科学的観点からのケアの方法</li> </ul>
	実習指導者研修	H25. 12. 16	8名	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習指導を行う視点について</li> </ul>

	リーダー養成自己啓発研修	H25.6月～ H26.2.27	述べ148名	【講義・演習】 ・労務管理、財務管理、運営管理について ・演習を通しての自己課題設定、自施設取り組み
一般職員共通研修	リスクマネジメント研修	H25.7.11	17名	【講演「事業継続」の取り組みへの考え方】 ・災害時における施設の役割
	メンタルヘルス セルフケア研修	H25.6.10 H25.8.8 H26.10.25	述べ48名	【講義】 ストレスの仕組みやメンタルヘルスの理解を深め、 心の健康作りについての意識を高める
推奨研修	腰痛予防研修	H25.8.12	延べ16名	【講義】 ・腰痛の仕組みと予防方法 ・実技 ポジショニング・移乗介助
自己啓発研修	介護支援専門員 受験対策セミナー	H25.8.2 H25.9.6	延べ52名	【講義】 ・介護支援専門員資格試験の重点内容
	介護福祉士 受験対策セミナー	H25.10.21 H25.11.15 H25.12.3	延べ72名	【講義】 ・介護福祉士資格取得の重点内容

②外部研修実施内容

種別	研修名	実施年月日	参加者	内 容
海外研修	“エイジレス社会” 海外福祉事情・調査研修	H25.10.19～H 25.10.25 (5泊7日)	2名	認知症ケア・若年性認知症ケアの質の向上を目指す。
その他主な研修	評価者（アセッサー）講習	H25.10.30	5名	【講義・演習】 ・介護キャリア段位制度の意義、役割 ・模擬監査、記録の相互監査
	介護職員等によるたんの吸引等 の実施のための研修	H25.6.10～ H25.8.19	1名	【講義】 ・介護職員によるたん吸引の実施にむけて
	介護福祉士 実習指導者講習会	H25.5.8～ H25.5.22 H25.9.4～ H25.10.4 H25.12.3～ H25.12.18	5名	【講演】 ・実習生受け入れに当たって スーパービジョンの意義・実習指導に当たって 他

認知症介護実践研修	H25. 5. 10～ H25. 6. 28 H25. 5. 21～ H25. 7. 12 H25. 9. 3～ H25. 11. 12 H25. 11. 5～ H25. 12. 25 H25. 12. 5～ H26. 2. 10	17名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門員を養成
認知症介護実践研修 (実践リーダー研修)	H25. 7. 29～ H25. 9. 27 H25. 11. 18～ H26. 1. 20	6名	【講義・演習・他施設実習】 ・実践研修を修了した者が、リーダー的な役割を持った認知症介護の専門員を養成
認知症介護指導者養成研修	H25. 9. 16～ H25. 11. 15	2名	【講義・演習】 ・認知症介護指導者としての理解 他
会計管理者・担当者研修会	H25. 12. 12	1名	【講演】 ・財務書類の作り方・分析
2013 国際社会高齢福祉・介護事業発展協力フォーラム	H25. 9. 24～ H25. 9. 28	1名	【講演】 フォーラムへの参加及び発表
社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座	H25. 6. 1～ H25. 11. 30	2名	【講義】 ・会計実務講座
介護保険制度・報酬改定と介護事業戦略セミナー	H25. 9. 20	1名	【講義】 ・介護保険制度・報酬改定の方向と2015年大改革に向けた介護事業戦略
地震対策セミナー 「南海トラフ巨大地震に備える」	H25. 7. 10	1名	【講義】 ・今から準備しておくべきこと ・自社のできる地震対策
社会福祉施設開設・経営実務セミナー	H25. 7. 18～ H25. 7. 19	1名	【講義】 ・社会福祉法人の財務管理、納務、経営への課題等
社会福祉法人会計に関する研修	H25. 7. 26	2名	【講義】 ・社会福祉法人の新会計基準への移行について
適切な介護保険サービスの提供 についてのセミナー	H25. 8. 20	1名	【講義】 ・行政が実地指導で伝えたいこと、 監査を受けないためにこころがけること

	専門性を高める研修会	H25.11.25	5名	<b>【講義】</b> ・個別ケアの推進とケアプラン ・サービス等利用計画の個別性について
--	------------	-----------	----	---



(8) 職員配置状況

①特養・養護・軽費 職員現員数

(単位:人)

施設名	職 種	施 設 長		副 施 設 長		支 援 員 (主 事)		看 護 員		機 能 訓 練 指 導 員		(支 指 導 ・ 援 活 相 談) 員		支 援 員 (介 護)		(支 介 護 支 援 専 門 員) 員		栄 養 士		合 計		介 護 ・ 看 護 配 置 状 況	
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務	専 任	兼 務		
		正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約	正 職 契 約		正 職 契 約
特別養護老人ホーム 美原荘	正職契約		1.0	1.0		1.0		3.0		1.0		0.9	1.0		2.0		1.0	4.0		1.0	34.0	10.0	2.37:1
	正職契約					1.2		3.6	0.5	2.2		19.7	0.8	0.8				23.6	5.2		4.0	0.9	
特別養護老人ホーム 春日丘荘	正職契約		1.0		1.0		1.0	3.0		1.0		2.0		26.0		2.0		1.0			38.0		2.27:1
	正職契約					0.6		2.8		0.7				23.8								3.6	
特別養護老人ホーム 春日丘荘「彩の家」	正職契約		1.0		1.0		1.0			1.0		1.0		9.0		1.0					1.0	13.0	1.62:1
	正職契約							1.0		1.0				1.0					0.9			3.0	
特別養護老人ホーム 四條畷荘	正職契約		1.0		2.0		3.0		1.0	2.0		25.0	5.0		5.0		1.0	31.0	14.0				1.72:1
	正職契約					2.0						8.0						10.0					
特別養護老人ホーム 光明荘	正職契約		1.0	1.0		1.0		3.0	1.0	2.0		22.0	4.0	4.0		1.0	27.0	13.0					2.37:1
	正職契約					1.4		2.6	0.8	0.9		22.4		1.0				26.5	2.6				
特別養護老人ホーム 高槻荘	正職契約		1.0	1.0		1.0	3.0		1.0	1.0	1.0	24.0		1.0	1.0	1.0	33.0	3.0					2.23:1
	正職契約					1.0						4.0					5.0						
特別養護老人ホーム 白島荘	正職契約		1.0	1.0			3.0			1.0		19.0	1.0	1.0	1.0		25.0	3.0					2.24:1
	正職契約					2.0			1.0			2.0	1.0	1.0			5.0	2.0					
特別養護老人ホーム 豊寿荘	正職契約		1.0			1.0	3.0		1.0	1.0		12.0	1.0	1.0		1.0	17.0	5.0					1.47:1
	正職契約					0.3		0.2				3.0					3.3	0.2					
特別養護老人ホーム 永寿園とよなか	正職契約		1.0				1.0	3.0		1.0		20.1	1.3	0.5			20.5	1.8					1.37:1
	正職契約					1.0		1.0		1.0		7.0	0.5	0.5			7.0	4.0		1.0	7.0	4.0	
養護老人ホーム 四條畷荘	正職契約		1.0		1.0		1.0	1.0		1.0	1.0	2.0		1.0		1.0	4.0	6.0					3.85:1
	正職契約											1.0					1.0						
東大阪養護老人ホーム	正職契約		1.0		1.0		3.0			3.0	1.0		9.0	1.0	1.0		8.0	12.0					5.14:1
	正職契約					1.0						2.5	12.5				2.7	12.5					
豊中市立養護老人ホーム 永寿園とよなか	正職契約		1.0				1.0			1.0		2.0	0.5	0.5			4.0	2.0					8.33:1
	正職契約					0.8	1.0					8.5					9.5	0.8					
軽費老人ホーム 和風荘	正職契約		1.0				1.0		1.0		1.0	4.0	1.0	1.0		1.0	6.0	5.0					4.73:1
	正職契約					1.3						6.8					8.1						
軽費老人ホーム 豊寿荘	正職契約		1.0				1.0			0.1	1.0	6.0				1.0	8.0	2.1					2.35:1
	正職契約						0.8					4.0					4.0	0.8					
軽費老人ホーム 万寿荘	正職契約		1.0			0.6	0.3	0.1		1.0	0.4	9.1		0.8			11.8	0.5					8.33:1
	正職契約					1.0						2.0				1.0	4.0						
軽費老人ホーム 河南荘	正職契約		1.0							1.0		2.0					4.0						14.75:1
	正職契約					1.0						2.0				1.0	4.0						
合 計	正職契約		3.0	12.0	4.0	6.0	3.0	3.0	23.0	7.0	6.0	1.1	16.0	8.0	150.0	60.5	2.0	22.5	3.0	8.0	210.0	128.1	2.81:1
	正職契約					8.3	1.0	1.0	6.0	1.0	2.9	3.0	0.5	40.0	6.1	1.0	2.0	1.0	55.3	18.5			
	正職契約					8.2	0.7	10.0	12.1	2.7	0.9	4.8	0.4	163.8	50.3	2.7	1.3	0.9	192.2	66.6			

(平成26年3月の実績で記入)

②デイサービス等 職員現員数

(単位:人)

施設名	職 種	管 理 者		事 務		看 護 職 員		機 能 訓 練 指 導 員		支 援 員 (生活相談・計画作成) 員		支 援 員 (介 護)		栄 養 士		合 計		
		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	
美原荘 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0		2.0					3.0	1.0
	契約							1.0		0.2	1.0	0.8					2.0	1.0
春日丘荘老人 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	1.8	0.2					1.0	3.0
	契約							1.8	0.3	0.1	10.2						10.2	2.2
茨木市立沢池老人 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	1.0	1.0	1.0				2.0	3.0
	契約				0.4		1.6	1.6	0.6	12.4	0.4						12.4	4.6
茨木市立南茨木老人 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	0.3	0.7					1.0	2.0
	契約							1.0		0.4	1.8						1.0	2.2
四條 暁 荘 デイサービスセンター	正職		1.0								1.0	1.0		1.0				4.0
	契約							1.0		0.1	0.9						1.0	1.0
光 明 荘 デイサービスセンター	正職		1.0							1	1	2	1					6.0
	契約							1		3	3						1.0	6.0
高槻荘郡家 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	0.6	0.8					1.0	2.4
	契約							0.4	1.0	0.2	0.1	0.9					1.0	1.6
箕面市立光明の郷 ケアセンター	正職		0.4								1.2	0.4						2.0
	契約							0.6	0.4	0.4		6.0					6.4	1.1
デイサービスセンター 「ふれあい」	正職		1.0							1.0							1.0	2.0
	契約										1.0	1.0						2.0
豊 寿 荘 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	0.1	1.0	0.9				2.0	2.0
	契約							0.2	0.3			7.2					7.2	0.5
デイサービスセンター 永寿園とよなか	正職		1.0							1.0	1.0						1.0	1.0
	契約											3.0		1.0			3.0	1.0
春日丘荘「彩の家」 デイサービスセンター	正職		1.0							1.0							1.0	1.0
	契約							0.2	0.2		0.3	0.7					5.7	0.2
高槻荘やすらぎ デイサービスセンター	正職		1.0							1.0	0.2	0.1					1.0	1.3
	契約							0.1	0.1	0.1	1.0						1.0	0.3
春日丘荘グループホーム	正職		1.0								0.6	0.4						2.0
	契約											2.0					5.8	
白鳥荘グループホーム 「華の家」	正職		1.0								0.5	0.5					0.5	1.5
	契約							0.4			6.6						7.0	
小規模多機能型居宅介護 事業所「ひねもす」	正職		0.3								0.3	0.4						1.1
	契約							0.1			2.0	0.5					0.6	0.6
小規模多機能型居宅介護 事業所春日丘荘「彩の家」	正職		0.5								0.5							1.0
	契約							0.6			10.4						11.0	
高槻荘訪問入浴	正職		1.0									0.1						1.1
	契約							0.3									0.3	
光明荘訪問入浴	正職		1.0									2.0						4.0
	契約							1.0				3.0					3.0	
合 計	正職		15.2					2.0	1.0	8.0	10.1	4.5	9.0		1.0		13	38.4
	契約				0.4	1.0	14.2	0.6	6.0		1.3	100.8	25.8				103.4	47.8

(平成26年3月の実績で記入)



③ヘルパー職員現員数

(単位:人)

施設名	職 種	管 理 者		サ ー ビ ス 提 供 責 任 者		訪 問 介 護 員		事 務 員		合 計	
		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
美原荘訪問介護事業所	正職		1.0	1.0						1.0	1.0
	契約			2.0						2.0	
	パート			1.0		5.7				6.7	
春日丘荘ヘルパーステーション	正職		1.0		1.0		1.0				3.0
	契約				2.0		2.0				4.0
	パート						7.4		0.7	7.4	0.7
四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」	正職		1.0				0.2				1.2
	契約			3.0				0.8		3.8	
	パート					8.5	1.6			8.5	1.6
光明荘ヘルパーステーション	正職		1.0								1.0
	契約			3.0						3.0	
	パート					11.5	0.4		0.3	11.5	0.7
郡家・高槻荘ホームヘルパーステーション	正職		1.0		1.0						2.0
	契約			7.0						7.0	
	パート			2.0		67.0		2.0		71.0	
白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」	正職										
	契約		1.0	2.0	1.0					2.0	2.0
	パート					5.5	1.9			5.5	1.9
ヘルパーステーション「ふれあい」	正職		1.0								1.0
	契約			1.0						1.0	
	パート										
豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」	正職		1.0						1.0		2.0
	契約			4.0				4.0		8.0	
	パート			5.2				5.2		10.4	
合 計	正職		7.0	1.0	2.0		1.2		1.0	1.0	11.2
	契約		1.0	22.0	3.0		2.0		4.8	26.8	6.0
	パート			8.2		105.6	3.9	7.2	1.0	121.0	4.9

(平成26年3月の実績で記入)

④居宅介護支援事業 職員現員数

(単位:人)

施設名	職 種	管 理 者		介 護 支 援 専 門 員		事 務 員		合 計	
		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
美原荘居宅介護支援事業所	正職		1.0	1.0				1.0	1.0
	契約			2.0				2.0	
	パート			3.4			0.6	3.4	0.6
春日丘荘居宅介護支援事業所	正職								
	契約		0.5		0.5				1.0
	パート			3.2				3.2	
南茨木居宅介護支援事業所	正職								
	契約		0.5		0.5				1.0
	パート			2.7				2.7	
四條畷荘居宅介護支援事業所	正職		1.0		1.0				2.0
	契約			3.0				3.0	
	パート			0.9				0.9	
光明荘居宅介護支援事業所	正職		1.0		1.0				2.0
	契約			3.0				3.0	
	パート			1.2	0.2		0.3	1.2	0.5
高槻荘居宅介護支援事業所	正職		1.0						1.0
	契約			5.0				5.0	
	パート			2.2				2.2	
白鳥荘居宅介護支援事業所「はくしま」	正職								
	契約		1.0	2.0	1.0			2.0	2.0
	パート			0.3				0.3	
ケアプランセンター「ふれあい」	正職		1.0						1.0
	契約			1.0				1.0	
	パート								
豊寿荘居宅介護支援事業所「ゆたか」	正職								
	契約								
	パート								
万寿荘居宅介護支援事業所	正職								
	契約		1.0	1.0				1.0	1.0
	パート					0.1		0.1	
合 計	正職		4.0	1.0	2.0			1.0	6.0
	契約		3.0	16.0	2.0			16.0	5.0
	パート			13.9	0.2	0.1	0.9	14.0	1.1

(平成26年3月の実績で記入)

⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 職員現員数

(単位:人)

施設名	職 種	管 理 者		オ ペ レ ー タ ー		を 定 期 巡 回 訪 問 サ ー ビ ス 介 護 ビ ュ ー		を 随 時 対 応 型 訪 問 サ ー ビ ス 介 護 ビ ュ ー		計 画 作 成 担 当 者		合 計	
		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
	正職		1.0		2.2		0.3		2.2		0.5		6.2
	契約				1.0		1.0		1.0				3.0
	パート				0.4		3.0		0.4				3.8

(平成26年3月の実績で記入)

#### 4. 各種会議開催状況

##### (1) 専門職種会議

種別	開催頻度	内容と成果
施設長会議	偶数月	事業運営管理に必要な重要案件の審議
経営戦略会議	奇数月	南北施設に分かれ、経営上の諸問題の解決に向けた検討と施設間の連携についての検討
介護科長会議（介護主担者会議）	年3回	接遇自己チェック表の見直し・実施。介護サービス水準チェックリストの作成
在宅サービス科長会議	年4回	地域包括ケアシステム構築に向けたNPO法人なにわ和楽日の会との連携。在宅サービスネットワークの取組
介護総括主任（主任）会議	年3回	介護サービスマニュアル、サービスの標準化チェックリストの充実
看護職員会議	年3回	重度化への対応
栄養士会議	年2回	安全かつ満足して頂く食事の提供。非常災害時の食事提供体制作り
生活相談員会議	年3回	地域社会との関わり。社会福祉法人負担軽減制度のPR
機能訓練指導員会議	年3回	個別機能訓練、集団活動内容の充実。他職種との連携
施設介護支援専門員会議	年3回	モデルケアプランの作成
リスクマネージャー会議	年4回	重大事故5%減。災害発生時の地域連携体制の構築
デイサービス会議	年3回	機能訓練内容の充実。法人内デイサービス研修の統一化・標準化
居宅介護支援専門員会議	年3回	精神疾患、難病の理解。医療、介護との連携によるチームケア
ヘルパー会議	年3回	介護技術力の向上
ブロック栄養士 給食業務委託業者調整会議	南 年4回	仕入先評価基準の体制作り。非常災害時の体制作り。安全かつ満足頂く食事の提供
	北 年9回	書類関係の整備。非常災害時の体制作り。安全かつ満足頂く食事の提供

##### (2) プロジェクトチーム

退職金等諸手当検討会	年6回	正規職員比率見直しに伴う給与体系の整備
組織評価推進PT	年6回	組織評価内容の見直しと評価方法の検討
中長期経営計画推進PT	年4回	25年度達成目標の進捗状況のチェック及び計画内容の見直し
軽費老人ホームA型在り方検討会	年6回	軽費老人ホームA型の継続の適否についての検討
法人衛生委員会	年4回	労働災害防止等に関する総合的対策の計画的推進

## 5. 法人指導監査・実施指導状況

今年度に実施された法人監査及び実施指導について、各施設の所在する市への指導監査等の権限が委譲されており、各市による指導監査及び実施指導を受審しました。また、今年度は新たに光明荘と永寿園とよなか診療所において、近畿厚生局の個別指導を受審しています。

実施日	施設名	所管	指導種別	事業種別
7月4日	豊寿荘	豊中市	実施指導	特別養護老人ホーム・通所介護
7月18日	光明荘	近畿厚生局	個別指導	診療所
7月25日	豊寿荘	豊中市	指導監査	軽費老人ホーム
9月18日	美原荘	堺市	実施指導	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
10月1日	美原荘	堺市	指導監査	特別養護老人ホーム
	和風荘			軽費老人ホーム
10月3日	永寿園とよなか	豊中市	指導監査	特別養護老人ホーム
			実施指導	特別養護老人ホーム・通所介護
10月17日	永寿園とよなか	近畿厚生局	個別指導	診療所
11月14日	美原荘	堺市	実施指導	訪問介護（障がい）
12月25日	高槻荘	高槻市	指導監査	特別養護老人ホーム
			実施指導	短期入所生活介護・訪問介護（障がい）
1月9日	春日丘荘	茨木市	指導監査	特別養護老人ホーム
1月17日	光明荘	和泉市	実施指導	訪問介護（障がい）

6. 第三者評価受審状況

平成25年度受審分

施設名	評価決定日	評価実施機関
特別養護老人ホーム 美原荘	平成25年12月12日	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
美原荘デイサービスセンター	平成26年3月31日	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
特別養護老人ホーム光明荘	平成26年2月27日	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
春日丘荘グループホーム	平成26年2月13日	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブ・ライフ ナルク福祉調査センター
小規模多機能センター春日丘荘「彩の家」	受審日:平成26年3月19日 評価決定日:未定	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブ・ライフ ナルク福祉調査センター
軽費老人ホーム 万寿荘	平成26年2月26日	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

(平成25年度受審分)